



弓削商船高等専門学校

令和8年度
学校要覧





校章

College Badge

本校の校章は、船舶で用いるコンパスの文字盤の八方位を形どったもので、コンパスマークといわれている。中心の弓は、^{ゆげ}弓削を表している。

The College Badge takes the shape of the eight points of the compass used in ship navigation and is called the Compass Mark.
The figure bow (弓) in the center of the badge stands for Yuge (弓削).





校 長
President
内 田 誠
UCHIDA Makoto

校 訓 School Motto

みなぎる気力と、たゆまぬ努力で、めざそう、悔いなき学生生活
Make the most of your student life with full of energy and through untiring efforts

教 育 方 針 Mission of College

1. 自然科学および専門技術の基礎力を身につけ、高度化かつ多様化してゆく科学技術に柔軟に対応できる人材の育成。

To educate students to acquire fundamental faculties of natural science and techniques of their special fields and to be able to keep up with new technology which is getting higher and more various.

2. 身の回りの諸現象、特に海をとりまく自然・文化・歴史に好奇心を抱き、多角的に考えたり調べたりできる、創造力のある人材の育成。

To educate students to be curious about phenomena around, especially nature, culture and histories related to the sea and to be able to consider and research them from various points of view.

3. 日本および世界の文化や社会に関心をもち、国際的視野でものがみられ、しかも人間として、技術者として高い倫理観をもった人材の育成。

To educate students to be interested in the cultures and societies of Japan and overseas and to have international perspective and high morality as a human being and as an engineer.

教 育 目 標 Educational Goals

準学士課程

教 養 教 育 Liberal Arts Education

幅広い視野に立った総合的な判断能力、斬新な創造力を備えた実践的技術者育成のための基礎的能力の涵養と教養の育成
To develop overall reasoning capacity based on the broader view, and to nurture basic knowledge indispensable for practical engineer with novel creativity.

商 船 学 科 The Department of Maritime Technology

船員教育を基盤にした海事総合科学を身につけた技術者の育成

To train engineers who acquire general maritime science and technology based on seamen's training.

創 造 工 学 科 The Department of Creative Technology Engineering

機械・電気・情報の知識を総合的に学び、ものづくりの現場でハードとソフトの両面に対応できる実践力を備えた技術者の育成
To cultivate engineers who possess comprehensive knowledge in mechanical, electrical, and information engineering, and who have the practical ability to handle both hardware and software in manufacturing settings

情 報 工 学 科 The Department of Computer Science and Engineering

情報リテラシー、情報工学の知識に加え、問題分析、解決能力を備えたシステム技術者の育成

To develop information literacy, acquire knowledge of information engineering. In addition, to train system engineers who have abilities of problem-analysis and problem-solving.

専攻科課程

海上輸送システム工学専攻 Advanced Marine Transportation Systems Engineering Course

海上輸送システムや船舶機関システムに関する分野を中心とした専門的な技術を教育し、システムの運用、開発、商船学・工学的センスを身につけた実践的な海事管理技術者の育成

To acquire specialized knowledge and skills in the field of maritime transportation system and marine engine system, and train practical maritime administration engineer with knowledge and skills of developing and operating such systems, and to nurture the senses of commercial vessels and engineering.

生産システム工学専攻 Advanced Production Systems Engineering Course

機械・情報系を中心とした複合的工業分野における専門的な知識と技術を教育し、瀬戸内海地域に貢献できるものづくりやシステム開発の能力と国際感覚をもつ実践的専門技術者の育成

To educate specialized knowledge and skills of integrated engineering field mainly mechanics and information, to train capability to produce something good for the community in and around the Seto Inland Sea, as well as ability to develop such systems, also to nurture practical engineers with the sense of internationalism.

【準学士課程】商船学科

◎卒業認定方針 Diploma policy

商船学科は、本校が掲げる教育方針及び教育目標「幅広い視野に立った総合的な判断能力、斬新な創造力を備えた実践的技術者の育成」の下、船舶職員として必要とされる知識と技能を備え、倫理観と責任感をもって国内外の海事産業で活躍できる人材を育成します。そのために以下に示す能力を身に付け、学業成績の評価等に関する規定に定める基準を満たした学生に卒業を認定します。

(D1) 技術者として必要な基礎的能力(基礎力)

1-1:日本語や英語によるコミュニケーションの基礎となる知識や技能を習得し、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。

1-2:工学の基本的問題を解決するために必要な数学の知識や計算技術を習得し、工学における現象と関連づけて活用できる。

1-3:理学の基本知識を習得して自然現象を系統的・論理的に考えていく能力を養い、自然の諸現象を科学的に考察できる。

1-4:民主的な国家・社会の形成者として主体的に社会に参画するために必要な社会科学的な知識・理論・情報を利用できる。

(D2) 船舶職員として必要な基礎的知識と技能(専門基礎力・安全対応力・情報活用力)

2-1:海洋の自然的特性を理解し、海洋の有用性や危険性を正しく把握できる。

2-2:海事産業のあらましを理解し、船舶職員の社会的意義を把握できる。

2-3:保護具や安全装置の意義や非常用機器・設備の原理を理解し、正しく取り扱うことができる。

2-4:必要な情報を適切に収集・取得でき、情報セキュリティに配慮して活用できる。

(D3) 航海系船舶職員として必要な知識と技能(専門力【航海系】)

3-1:海図や航路標識、自船の位置を求めるための測定及び計算法、航海計器の原理や取扱いについて習得し、航海に必要な基本的な能力を身に付けている。

3-2:船舶職員として必要な船舶の構造や設備、気象及び海象、操縦性能、貨物の積付けについて習得し、操船者として必要な能力を身に付けている。

3-3:法体系や船舶・船員に係る法知識を習得し、それらを活用して船舶を運航するために必要な能力を身に付けている。

(D4) 機関系船舶職員として必要な知識と技能(専門力【機関系】)

4-1:内燃機関や蒸気動力プラントに関する知識・技術を習得し、実際に活用するために必要な基本的な能力を身に付けている。

4-2:船舶運航に携わる補助機械について必要な知識・技術を習得し、実際に活用するために必要な基本的な能力を身に付けている。

4-3:機械や構造物の動的挙動に関する知識・技術を習得し、それを実際に活用する能力を身に付けている。

(D5) 技術者として必要なリーダーシップ、チームワーク及びコミュニケーションスキル(リーダーシップ力・チームワーク力・コミュニケーション力)

5-1:他者との間で良好な人間関係を形成するための行動ができる。

5-2:チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。

5-3:適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。

5-4:チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。

(D6) 技術者として必要な業務完遂能力(自己完結力・問題解決力)

6-1:自分に求められる役割や行動を把握し、確認できる。

6-2:やるべきことを実行するための具体的行動や計画を考えることができる。

6-3:行う作業の内容を理解し、危険箇所を把握できる。

6-4:直面している事象や出来事を分析して、対応すべき問題を特定できる。

◎カリキュラム編成方針 Curriculum policy

<教育課程の編成方針と教育内容>

ディプロマ・ポリシーで示した能力を身に付けるために、海・船・港に関する知識と技術を総合的に学習し、世界で活躍できる海事技術者を育成します。具体的には、全国国立高専共通のモデルコアカリキュラム(MCC, MCC plus)をベースに、一般科目、専門科目、大型練習船実習からなる教育課程(カリキュラム)を体系的に編成します。

(1) 一般科目 国語、英語、物理、数学などを基盤とした基礎科目
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D1, D2, D5, D6

(2) 専門科目(共通) 航海・機関に共通して必要となる商船学の基盤となる専門科目
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D1, D2, D3/D4, D5, D6

(3) 専門科目(航海) 3年後期コース選択後に履修する船舶職員(航海系)に関する専門科目
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D2, D3

(4) 専門科目(機関) 3年後期コース選択後に履修する船舶職員(機関系)に関する専門科目
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D4

(5) 専門科目(MDASH) 数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する専門科目
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D1, D2

(6) 専門科目(実験・実習) 船員教育(航海・機関)として工学的実践技術を習得する専門科目
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D2, D3/D4, D5, D6

(7) 大型練習船実習
実践的な船舶の運航、運用能力を身に付けるために実施する合計1年の大型練習船実習
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D2, D3/D4, D5, D6

(8) 卒業研究
総合的能力(問題解決能力、論理的な思考力、チームワーク力、プレゼンテーション能力など)を開発するための科目
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D3/D4, D6

(9) キャリア教育
低学年の特別活動や大型練習船実習などを通じて海・船・港に関する職業を中心としたキャリア形成に向けた準備を行う課程
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D5, D6

講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせた授業でカリキュラムを編成します。3年次後期から航海コースと機関コースに分かれます。カリキュラムは、ディプロマ・ポリシー及びMCCごとに体系的に編成します。主体的・継続的に学習する力を育成するため、学修単位の科目を導入し、課題等に取り込む時間を含めた学習内容の設計を行います。

<教育の実施方法>

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を学生が身に付けるために、教育課程の編成方針に基づいて配置された科目を修得させます。各科目の授業は、履修方法を説明し、シラバスに基づいて行います。

(2) 授業のみならず、課題等により学生の自学学習を促すとともに、ルーブリック等を利用して学生の主体的学習を支援します。

(3) 定期試験等を実施します。

<学修成果の評価方法>

学業成績は、科目ごとにシラバスに示した評価方法に基づいて、100点法で評価します。

ただし、卒業研究、選択科目の一部については合格・不合格をもって評価することがあります。なお、学業成績の評定は、次の区分によるものとします。

優 80点~100点 良 70点~79点 可 60点~69点 不可 59点以下

◎入学受入方針 Admission policy

<求める学生像>

- ・中学校までの学習内容をしっかり理解しており、船や海に関する勉強をしたいと考えている人
- ・好奇心や探究心が強く、考える力や判断する力、自分の考えを論理的に述べる力を伸ばしてきた人
- ・自立心を持ち、いろいろな人と協力し合って行動できる、根気とチームワーク力のある人
- ・社会の役に立ちたいという意識を持っている人
- ・心身ともに健康で、海技士国家試験に係る身体検査基準を満たす人

<入学者選抜の基本方針>

入学者の選抜は、推薦による選抜と学力検査による選抜、帰国生徒特別選抜の3つの方法で行います。

(1) 推薦による選抜
本校へ入学する意志が堅く学業・人物共に優れ、在籍する学校長の推薦を受けた方を対象とし、調査書、健康診断証明書、推薦書及び面接(英語・国語・数学の口頭試問を含む。)の結果を総合して選抜します。

(2) 学力検査による選抜
学力検査、調査書及び健康診断証明書の結果を総合して選抜します。学力検査は国語、数学、英語、理科、社会の5科目による試験とします。

(3) 帰国生徒特別選抜
保護者の海外勤務等により外国において教育を受けた方で本校の募集要項に示す要件を満たす方を対象とし、学力検査、調査書、作文、面接及び健康診断証明書の結果を総合して選抜します。学力検査は数学、英語、理科の3科目による試験とします。

The Department of Maritime Technology, under the educational principles and objectives of this institution—"Fostering practical engineers with comprehensive judgment and innovative creativity from a broad perspective"—aims to cultivate individuals who possess the necessary knowledge and skills to serve as maritime officers and can contribute to the maritime industry both domestically and internationally with a sense of ethics and responsibility.

Graduation will be granted to students who acquire the following competencies and meet the standards set forth in academic performance evaluation regulations.

(D1) Basic Competencies Required of Engineers (Fundamental Skills)

1-1: Acquire fundamental knowledge and skills in Japanese and English communication and apply them appropriately according to purpose, context, and situation.

1-2: Learn mathematical knowledge and calculation skills necessary to solve basic engineering problems, and apply them in relation to engineering phenomena.

1-3: Acquire basic scientific knowledge and develop the ability to think systematically and logically about natural phenomena, enabling scientific analysis of such phenomena.

1-4: Utilize social science knowledge, theories, and information necessary to proactively participate in democratic society.

(D2) Foundational Knowledge and Skills Required of Maritime Officers (Basic Expertise, Safety Skills, Information Utilization)

2-1: Understand the natural characteristics of the ocean and accurately recognize its utility and dangers.

2-2: Understand the outline of the maritime industry and grasp the social significance of maritime officers.

2-3: Understand the significance of protective gear, safety devices, and the principles of emergency equipment, and handle them properly.

2-4: Appropriately gather and acquire necessary information and use it with consideration for information security.

(D3) Knowledge and Skills Required of Navigational Officers (Professional Skills - Navigation)

3-1: Learn chart reading, navigation aids, measurement and calculation methods for determining own ship's position, principles and handling of navigation instruments, and acquire basic navigational competencies.

3-2: Acquire knowledge of ship structures and equipment, meteorology and oceanography, maneuverability, and cargo stowage necessary for maritime officers, and develop required ship handling skills.

3-3: Learn legal systems and maritime laws related to ships and crew, and acquire the ability to apply them in ship operation.

(D4) Knowledge and Skills Required of Engineering Officers (Professional Skills - Engineering)

4-1: Acquire knowledge and skills related to internal combustion engines and steam power plants and the basic competencies needed to apply them.

4-2: Acquire knowledge and skills of auxiliary machinery used in ship operations and the ability to utilize them practically.

4-3: Acquire knowledge and techniques related to dynamic behavior of machinery and structures and the ability to apply them in practice.

(D5) Leadership, Teamwork, and Communication Skills Required of Engineers

5-1: Exhibit behaviors that foster good interpersonal relationships.

5-2: Act with an understanding of one's role within a team.

5-3: Encourage cooperative actions aligned with appropriate direction.

5-4: Communicate with self-control and respect for others to collaborate and cooperate within a team.

(D6) Competency to Accomplish Duties Required of Engineers (Self-Management and Problem-Solving Skills)

6-1: Understand and confirm the roles and actions expected of oneself.

6-2: Devise concrete actions and plans to accomplish required tasks.

6-3: Understand the nature of assigned tasks and identify hazardous areas.

6-4: Analyze events and situations encountered to identify issues needing resolution.

Curriculum Organization Policy and Educational Content

To cultivate the competencies outlined in the Diploma Policy, the department offers an integrated education covering knowledge and technologies related to the sea, ships, and ports, aiming to nurture maritime engineers capable of working globally. Specifically, the curriculum is systematically structured based on the Model Core Curriculum (MCC, MCC plus) shared by national colleges of technology, consisting of general education subjects, specialized subjects, and training on large training vessels.

(1) General Subjects

Foundational subjects such as Japanese, English, physics, and mathematics

DP competencies developed: D1, D2, D5, D6

(2) Specialized Subjects (Common)

Specialized subjects that form the foundation of maritime studies common to both navigation and engineering

DP competencies developed: D1, D2, D3/D4, D5, D6

(3) Specialized Subjects (Navigation)

Specialized subjects for navigational officers taken after selecting the Navigation Course in the latter half of the third year

DP competencies developed: D2, D3

(4) Specialized Subjects (Engineering)

Specialized subjects for engineering officers taken after selecting the Engineering Course in the latter half of the third year

DP competencies developed: D4

(5) Specialized Subjects (MDASH)

Subjects related to mathematics, data science, and AI education programs

DP competencies developed: D1, D2

(6) Specialized Subjects (Experiments & Practical Training)

Specialized subjects for acquiring engineering-based practical skills as part of seafarer education (navigation and engineering)

DP competencies developed: D2, D3/D4, D5, D6

(7) Training on Large Training Vessels

Total of one year of practical training on large vessels to acquire practical ship operation and management skills

DP competencies developed: D2, D3/D4, D5, D6

(8) Graduation Research

A subject to develop comprehensive abilities such as problem-solving, logical thinking, teamwork, and presentation skills

DP competencies developed: D3/D4, D6

(9) Career Education

Programs such as special activities in lower grades and training on large training vessels focused on career development in maritime fields

DP competencies developed: D5, D6

The curriculum combines lectures, exercises, and practical training appropriately and splits into navigation and engineering courses from the second semester of the third year. It is systematically organized according to the Diploma Policy and MCC. To foster autonomous and continuous learning, subjects are designed to include learning time for assignments and other activities.

Implementation of Education

(1) Students acquire the competencies listed in the Diploma Policy by completing subjects arranged according to the curriculum policy. Each class is conducted based on the syllabus with an explanation of how to take the course.

(2) In addition to lectures, assignments are used to promote independent learning, and tools such as rubrics are utilized to support student-driven learning.

(3) Regular examinations and other assessments are conducted.

Evaluation of Learning Outcomes

Academic performance is evaluated based on the methods stated in the syllabus for each subject using a 100-point scale.

However, for graduation research and some elective subjects, evaluations may be based on pass/fail. The grading scale is as follows:

•Excellent: 80-100 points •Good: 70-79 points •Satisfactory: 60-69 points •Unsatisfactory: 59 points or below

Desired Student Profile

•Individuals who have a solid understanding of junior high school level studies and are motivated to study topics related to ships and the sea

•Those with strong curiosity and an inquiring mind, who have developed thinking, reasoning, and the ability to express their ideas logically

•People who are self-reliant, possess perseverance, and are capable of cooperative actions with various people

•Those who are motivated by a desire to contribute to society

•Individuals who are physically and mentally healthy and meet the medical examination standards required for the National Examination for Marine Officers

Basic Policy on Student Selection

Student selection is conducted through three methods: recommendation-based selection, academic examination-based selection, and special selection for returnee students.

(1) Recommendation-Based Selection

Applicants who are firmly committed to enrolling at our school, demonstrate excellence in both academics and character, and have been recommended by the principal of their current school are eligible for consideration. The selection is based on a comprehensive evaluation of the applicant's academic transcript, health certificate, letter of recommendation, and interview results (including oral examinations in English, Japanese, and Mathematics).

(2) Academic Examination-Based Selection

Students are selected based on a comprehensive evaluation of academic examination results, academic transcripts, and medical certificates. The examination covers five subjects: Japanese, Mathematics, English, Science, and Social Studies.

(3) Special Selection for Returnee Students

For those who have received education abroad due to a parent's overseas assignment and who meet the criteria specified in the school's application guidelines. The selection is based on a comprehensive evaluation of academic examination results, academic transcripts, essays, interviews, and medical certificates. The exam includes three subjects: Mathematics, English, and Science.

【準学士課程】創造工学科

◎卒業認定方針 Diploma policy

創造工学科は、本校が掲げる教育方針及び教育目標「幅広い視野に立った総合的な判断能力、斬新な創造力を備えた実践的技術者の育成」の下、機械工学及び情報工学の理論や技術を様々な分野に応用し、倫理観と責任感を持って社会に貢献できる人材を育成します。そのために以下に示す能力を身に付け、学業成績の評価等に関する規定に定める基準を満たした学生に卒業を認定します。

(D1) 日本語及び英語のコミュニケーション能力（コミュニケーション力）
 1-1：日本語における適切な文章表現及び口頭の意味伝達ができる。
 1-2：日常的に使用される英語で書かれた文書の概要・要旨がつかめる。
 1-3：自分の考えを簡潔な英語で表現できる。

(D2) 情報通信に関する基本的技術及び工学への応用技術（専門基礎力）
 2-1：情報通信に関する基礎的技術を身に付けている。
 2-2：種々の情報を分析する技術を身に付けている。
 2-3：プレゼンテーションを通して、自分の意見を主張できる。

(D3) 機械工学と情報工学の融合分野における技術の基礎となる知識と技能を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力（専門応用力）
 3-1：工学の基礎となる数学・自然科学の基礎知識を身に付けている。
 3-2：多様な専門分野の関連性を理解することができる。
 3-3：基礎知識を活用して工学的問題を理解し、説明できる。
 3-4：基礎的な実験技術を身に付けている。

(D4) 知徳体の調和した人間性及び社会性・協調性（協働力）
 4-1：広い視野で物事を考えることができる。
 4-2：日本と世界との関わりに関心を持つことができる。
 4-3：社会参加のための、社会人基礎力を身に付けている。
 4-4：グループでの活動に参加し、その中で協調して役割を果たせる。
 4-5：たくましく生きるための健康や体力を身に付けている。

(D5) 社会に役立つ技術者としての倫理観（社会貢献力）
 5-1：技術者が持つべき倫理観の必要性を認識できる。
 5-2：社会における倫理的な問題を認識することができる。

(D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組む能力（創造力）
 6-1：好奇心と探究心を持って、得意とする専門分野の課題に取り組むことができる。
 6-2：得意とする専門分野の知識、技術を身に付け、社会との関連を理解できる。
 6-3：主体性を持って継続的に学習できる。

◎カリキュラム編成方針 Curriculum policy

＜教育課程の編成方針と教育内容＞
 ディプロマ・ポリシーで示した能力を身に付けるために、全国国立高専共通のモデルコアカリキュラム（MCC、MCC plus）をベースに、一般科目と専門科目からなる教育課程（カリキュラム）を体系的に編成します。

(1) 一般科目
 国語、英語、物理、数学などを基盤とした基礎科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D1、D2、D3、D4、D5

(2) 専門科目（機械系）
 設計製造のための基盤である機械設計製図、材料工学や工作・加工法、熱・流体・機械力学などの専門科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D3

(3) 専門科目（情報系）
 自動化・ロボット制御、機械学習など、現代の複合的な科学技術に対応するため、情報処理、プログラミング、機械学習などを習得する専門科目と知能情報、ネットワークなど、より高度な学習に対応する選択科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D3

(4) 専門科目（MDASH）
 数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する専門科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D3

(5) 専門科目（実験・実習）
 工学実験、ものづくり実習や学年・学科横断型のPBLなど、学んだことを応用できる実践的・創造的能力を身に付けるための科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D3、D4、D6

(6) 卒業研究
 総合的能力（問題解決能力、論理的な思考力、チームワーク力、プレゼンテーション能力など）を開発するための科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D3、D4、D5、D6

(7) キャリア教育
 社会に貢献できる技術者を目指すとともに、自分自身の生き方を設計、実現するために必要な学びを行うための科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D4、D5、D6

カリキュラムは、講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせ、ディプロマ・ポリシー及びMCCごとに体系的に編成します。主体的・継続的に学習する力を育成するため、学修単位の科目を導入し、課題等に取り組む時間を含めた学習内容の設計を行います。

＜教育の実施方法＞
 (1) ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を学生が身に付けるために、教育課程の編成方針に基づいて配置された科目を修得させます。各科目の授業は、履修方法を説明し、シラバスに基づいて行います。
 (2) 授業のみならず、課題等により学生の自学学習を促すとともに、ルーブリック等を利用して学生の主体的学習を支援します。
 (3) 定期試験等を実施します。

＜学修成果の評価方法＞
 学業成績は、科目ごとにシラバスに示した評価方法に基づいて、100点法で評価します。ただし、卒業研究、選択科目の一部については合格・不合格をもって評価することがあります。なお、学業成績の評定は、次の区分によるものとします。
 優 80点～100点 良 70点～79点 可 60点～69点 不可 59点以下

◎入学者受入方針 Admission policy

＜求める学生像＞
 ・中学校までの学習内容をしっかり理解しており、機械、電気、情報、ものづくりに関する勉強をしたいと考えている人
 ・好奇心や探究心が強く、考える力や判断する力、自分の考えを論理的に述べる力を伸ばしてきた人
 ・自立心を持ち、いろいろな人と協力し合って行動できる、根気とチームワーク力のある人
 ・社会の役に立ちたいという意識を持っている人

＜入学者選抜の基本方針＞
 入学者の選抜は、推薦による選抜と学力検査による選抜、帰国生徒特別選抜の3つの方法で行います。

(1) 推薦による選抜
 本校へ入学する意志が堅く学業・人物共に優れ、在籍する学校長の推薦を受けた方を対象とし、調査書、推薦書及び面接（英語・国語・数学の口頭試問を含む。）の結果を総合して選抜します。

(2) 学力検査による選抜
 学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。学力検査は国語、数学、英語、理科、社会の5科目による試験とします。

(3) 帰国生徒特別選抜
 保護者の海外勤務等により外国において教育を受けた方で本校の募集要項に示す要件を満たす方を対象とし、学力検査、調査書、作文及び面接の結果を総合して選抜します。学力検査は数学、英語、理科の3科目による試験とします。
 【4年次編入のアドミッション・ポリシー（AP：入学者の受入れに関する方針）】

＜求める学生像＞
 ・高等学校卒業程度の知識・技能を習得し、機械、電気、情報、ものづくりに関する勉強をしたいと考えている人
 ・好奇心や探究心が強く、考える力や判断する力、自分の考えを論理的に述べる力を伸ばしてきた人
 ・自立心を持ち、いろいろな人と協力し合って行動できる、根気とチームワーク力のある人
 ・社会の役に立ちたいという意識を持っている人

＜入学者選抜の基本方針＞
 調査書、学力検査、口頭試問及び面接の結果を総合して選抜します。

The Department of Creative Engineering, under the educational philosophy and objectives of this institution—"fostering practical engineers with comprehensive judgment and innovative creativity from a broad perspective"—aims to cultivate individuals who can apply the theories and technologies of mechanical engineering and information engineering to a wide range of fields, and who can contribute to society with a strong sense of ethics and responsibility. Graduation will be granted to students who have acquired the competencies listed below and who meet the standards prescribed in the regulations for academic performance evaluation.

(D1) Japanese and English Communication Competencies (Communication Skills)

1-1: Ability to express ideas appropriately in written Japanese and to communicate intentions effectively through oral presentation.

1-2: Ability to understand the outline and main points of documents written in commonly used English.

1-3: Ability to express one's own ideas concisely in English.

(D2) Fundamental Technologies Related to Information and Communication and Their Applications to Engineering (Fundamental Expertise)

2-1: Acquisition of fundamental technologies related to information and communication.

2-2: Acquisition of techniques for analyzing various types of information.

2-3: Ability to assert one's own opinions through presentations.

(D3) Knowledge and Skills Forming the Foundation of Integrated Fields of Mechanical and Information Engineering, and the Ability to Solve Problems from Multiple Perspectives (Applied Expertise)

3-1: Acquisition of fundamental knowledge in mathematics and natural sciences that forms the basis of engineering.

3-2: Ability to understand the relationships among diverse specialized fields.

3-3: Ability to understand and explain engineering problems by applying fundamental knowledge.

3-4: Acquisition of basic experimental techniques.

(D4) Well-Balanced Character and Social / Cooperative Skills (Collaborative Abilities)

4-1: Ability to consider matters from a broad perspective.

4-2: Ability to take interest in the relationship between Japan and the world.

4-3: Acquisition of fundamental skills required for participation in society.

4-4: Ability to participate in group activities and cooperatively fulfill assigned roles.

4-5: Acquisition of health and physical fitness necessary for maintaining a healthy and resilient life.

(D5) Ethical Awareness as an Engineer Who Contributes to Society (Social Contribution)

5-1: Ability to recognize the importance of ethical awareness required of engineers.

5-2: Ability to recognize ethical issues in society.

(D6) Intellectual Curiosity and the Ability to Address Problems Proactively and Creatively (Creativity)

6-1: Ability to approach challenges in one's specialized field with curiosity and an inquiring mind.

6-2: Acquisition of knowledge and technical skills in one's area of specialization, and understanding their relevance to society.

6-3: Ability to learn continuously with initiative.

Curriculum Organization Policy and Educational Content

To enable students to acquire the competencies outlined in the Diploma Policy, the curriculum is systematically organized based on the Model Core Curriculum shared by all National Colleges of Technology (MCC and MCC Plus). The curriculum consists of general subjects and specialized subjects.

(1) General Subjects

Foundational subjects based on Japanese language, English, physics, mathematics, and related disciplines.

Diploma Policy competencies developed: D1, D2, D3, D4, D5

(2) Specialized Subjects (Mechanical Engineering Field)

Specialized subjects forming the foundation for design and manufacturing, including mechanical design and drafting, materials engineering, manufacturing and processing methods, thermodynamics, fluid mechanics, and mechanical dynamics.

Diploma Policy competencies developed: D3

(3) Specialized Subjects (Information Engineering Field)

Specialized subjects designed to respond to modern complex scientific and technological systems, such as automation, robot control, and machine learning. These include subjects for acquiring skills in information processing, programming, and machine learning, as well as elective subjects supporting more advanced learning in areas such as intelligent information systems and networks.

Diploma Policy competencies developed: D2, D3

(4) Specialized Subjects (MDASH)

Specialized subjects related to the Mathematics, Data Science, and AI (MDASH) education programs.

Diploma Policy competencies developed: D2, D3

(5) Specialized Subjects (Experiments and Practical Training)

Subjects such as engineering experiments, manufacturing-oriented practical training, and cross-grade or cross-department project-based learning (PBL), designed to develop practical and creative abilities for applying acquired knowledge.

Diploma Policy competencies developed: D2, D3, D4, D6

(6) Graduation Research

A subject aimed at developing comprehensive abilities, including problem-solving skills, logical thinking, teamwork, and presentation skills.

Diploma Policy competencies developed: D2, D3, D4, D5, D6

(7) Career Education

Subjects designed to foster engineers who can contribute to society while acquiring the knowledge and skills necessary to design and realize their own life paths.

Diploma Policy competencies developed: D2, D4, D5, D6

The curriculum appropriately combines lectures, exercises, experiments, and practical training, and is systematically organized in accordance with the Diploma Policy and the MCC. To cultivate autonomous and continuous learning abilities, credit-based subjects are introduced, and learning activities are designed to include sufficient time for assignments and independent study.

Implementation of Education

(1) To ensure that students acquire the competencies stated in the Diploma Policy, students complete subjects arranged in accordance with the curriculum organization policy. Each class is conducted based on the syllabus, with explanations provided regarding course requirements and methods of study.

(2) In addition to classroom instruction, assignments are used to encourage independent learning, and tools such as rubrics are utilized to support student-centered learning.

(3) Regular examinations and other appropriate assessments are conducted.

Evaluation of Learning Outcomes

Academic performance is evaluated for each subject using a 100-point grading scale, based on the evaluation methods specified in the syllabus.

However, graduation research and some elective subjects may be evaluated on a pass/fail basis.

Grades are classified as follows: Excellent: 80-100 points Good: 70-79 points Satisfactory: 60-69 points Unsatisfactory: 59 points or below

Desired Student Profile

- Individuals who have a solid understanding of junior high school-level studies and are motivated to learn about machinery, electricity, information, and manufacturing.

- Individuals with strong curiosity and an inquiring mind, who have developed the ability to think, make judgments, and express their own ideas logically.

- Individuals who are self-reliant, possess perseverance and teamwork skills, and are capable of cooperating and acting collaboratively with others.

- Individuals who have a strong desire to contribute to society.

Basic Policy on Student Selection

Student selection is conducted using the following three methods: recommendation-based selection, academic examination-based selection, and special selection for returnee students.

(1) Recommendation-Based Selection

Applicants who are firmly committed to enrolling in this institution, demonstrate excellence in both academic achievement and personal character, and have been recommended by the principal of their current school are eligible for consideration. Selection is based on a comprehensive evaluation of the academic transcript, letter of recommendation, and interview results, including oral examinations in English, Japanese, and Mathematics.

(2) Academic Examination-Based Selection

Applicants are selected based on a comprehensive evaluation of the results of academic examinations and academic transcripts.

The academic examination consists of five subjects: Japanese, Mathematics, English, Science, and Social Studies.

(3) Special Selection for Returnee Students

This selection is for applicants who have received education abroad due to a parent or guardian's overseas assignment and who meet the requirements specified in the school's admission guidelines. Selection is based on a comprehensive evaluation of academic examination results, academic transcripts, written essays, and interview results. The academic examination consists of three subjects: Mathematics, English, and Science.

Admission Policy for Fourth-Year Transfer Students (AP: Policy on Student Admission)

Desired Student Profile

- Individuals who have acquired knowledge and skills equivalent to high school graduation and are motivated to study machinery, electricity, information, and manufacturing.

- Individuals with strong curiosity and an inquiring mind, who have developed the ability to think, make judgments, and express their own ideas logically.

- Individuals who are self-reliant, possess perseverance and teamwork skills, and are capable of cooperating and acting collaboratively with others.

- Individuals who have a strong desire to contribute to society.

Basic Policy on Student Selection

Selection is based on a comprehensive evaluation of academic transcripts, academic examinations, oral examinations, and interviews.

【準学士課程】情報工学科

◎卒業認定方針 Diploma policy

情報工学科は、本校が掲げる教育方針及び教育目標「幅広い視野に立った総合的な判断能力、斬新な想像力を備えた実践的技術者の育成」の下、情報工学の理論や技術を様々な分野に応用し、倫理観と責任感を持って多種多様な業種・職種で活躍し、社会に貢献できる人材を育成します。そのため以下に示す能力を身に付け、学業成績の評価等に関する規定に定める基準を満たした学生に卒業を認定します。

(D1) 日本語及び英語のコミュニケーション能力（コミュニケーション力）
 1-1：日本語における適切な文章表現及び口頭的意思伝達ができる。
 1-2：日常的に使用される英語で書かれた文書の概要・要旨がつかめる。
 1-3：自分の考えを簡潔な英語で表現できる。

(D2) 情報工学に関する基本的技術及び工学への応用技術（専門基礎力）
 2-1：情報工学に関する基礎的技術を身に付けている。
 2-2：工学の基礎となる数学・自然科学の基礎知識を身に付けている。
 2-3：種々の情報を分析する技術を身に付けている。
 2-4：プレゼンテーションを通して、自分の意見が主張できる。

(D3) 専門基礎力を活かし、複眼的な視点から問題を解決する能力（専門応用力）
 3-1：ネットワーク、人工知能など多様な専門分野の関連性を理解することができる。
 3-2：基礎知識を活用して学問的問題を理解し、説明できる。
 3-3：基礎的な実験技術を身に付けている。

(D4) 知徳体の調和した人間性及び社会性・協調性（協働力）
 4-1：広い視野で物事を考えることができる。
 4-2：日本と世界との関わりに関心を持つことができる。
 4-3：社会参加のための、社会人基礎力を身に付けている。
 4-4：グループでの活動に参加し、その中で協調して役割を果たせる。
 4-5：たくましく生きるための健康や体力を身に付けている。

(D5) 社会に役立つ技術者としての倫理観（社会貢献力）
 5-1：技術者が持つべき倫理観の必要性を認識できる。
 5-2：社会における倫理的な問題を認識することができる。

(D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組む能力（創造力）
 6-1：好奇心と探究心を持って、得意とする専門分野の課題に取り組むことができる。
 6-2：得意とする専門分野の知識、技術を身に付け、社会との関連を理解できる。
 6-3：主体性を持って継続的に学習できる。

◎カリキュラム編成方針 Curriculum policy

<教育課程の編成方針と教育内容>
 ディプロマ・ポリシーで示した能力を身に付けるために、全国国立高専共通のモデルコアカリキュラム（MCC、MCC Plus）をベースに、一般科目と専門科目からなる教育課程（カリキュラム）を体系的に編成します。

(1) 一般科目
 国語、英語、物理、数学などを基盤とした基礎科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D1、D2、D4

(2) 専門科目
 情報システムやインターネットなど、現代の複合的な科学技術に対応するため、プログラミング、ネットワーク、人工知能などを習得する科目と機械学習、サイバーセキュリティなど、より高度な学習に対応するコース選択科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D3、D5、D6

(3) 専門科目（MDASH）
 数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する専門科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D3

(4) 専門科目（実験・実習）
 情報工学実験や学年・学科横断型のPBLなど、学んだことを応用できる実践的・創造的能力を身に付けるための科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D2、D3、D4、D6

(5) 卒業研究
 総合的能力（問題解決能力、論理的な思考力、チームワーク力、プレゼンテーション能力など）を開発するための科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D1、D2、D3、D4、D5、D6

(6) 特別活動
 社会に貢献できる技術者を目指すとともに、自分自身の生き方を設計、実現するために必要な学びを行うための科目
 ディプロマ・ポリシーに示す能力：D1、D4、D5、D6

カリキュラムは、講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせ、ディプロマ・ポリシー及びMCCごとに体系的に編成します。主体的・継続的に学習する力を育成するため、学修単位の科目を導入し、課題等に取り組む時間を含めた学習内容の設計を行います。

<教育の実施方法>
 (1) ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を学生が身に付けるために、教育課程の編成方針に基づいて配置された科目を修得させます。各科目の授業は、履修方法を説明し、シラバスに基づいて行います。
 (2) 授業のみならず、課題等により学生の自学学習を促すとともに、ルーブリック等を利用して学生の主体的学習を支援します。
 (3) 定期試験等を実施します。

<学修成果の評価方法>
 学業成績は、科目ごとにシラバスに示した評価方法に基づいて、100点法で評価します。
 ただし、卒業研究、選択科目の一部については合格・不合格をもって評価することがあります。なお、学業成績の評定は、次の区分によるものとします。
 優 80点～100点 良 70点～79点 可 60点～69点 不可 59点以下

◎入学者受入方針 Admission policy

<求める学生像>
 ・中学校までの学習内容をしっかり理解しており、コンピュータの仕組みやものづくりへの応用に関する勉強をしたいと考えている人
 ・好奇心や探究心が強く、考える力や判断する力、自分の考えを論理的に述べる力を伸ばしてきた人
 ・自立心を持ち、いろいろな人と協力し合って行動できる、根気とチームワーク力のある人
 ・社会の役に立ちたいという意識を持っている人

<入学者選抜の基本方針>
 入学者の選抜は、推薦による選抜と学力検査による選抜、帰国生徒特別選抜の3つの方法で行います。

(1) 推薦による選抜
 本校へ入学する意志が堅く学業・人物共に優れ、在籍する学校長の推薦を受けた方を対象とし、調査書、推薦書及び面接（英語・国語・数学の口頭試問を含む。）の結果を総合して選抜します。

(2) 学力検査による選抜
 学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。学力検査は国語、数学、英語、理科、社会の5科目による試験とします。

(3) 帰国生徒特別選抜
 保護者の海外勤務等により外国において教育を受けた方で本校の募集要項に示す要件を満たす方を対象とし、学力検査、調査書、作文及び面接の結果を総合して選抜します。学力検査は数学、英語、理科の3科目による試験とします。
 【4年次編入のアドミッション・ポリシー（AP：入学者の受入れに関する方針）】

<求める学生像>
 ・高等学校卒業程度の知識・技能を習得し、コンピュータの仕組みやものづくりへの応用に関する勉強をしたいと考えている人
 ・好奇心や探究心が強く、考える力や判断する力、自分の考えを論理的に述べる力を伸ばしてきた人
 ・自立心を持ち、いろいろな人と協力し合って行動できる、根気とチームワーク力のある人
 ・社会の役に立ちたいという意識を持っている人

<入学者選抜の基本方針>
 調査書、学力検査、口頭試問及び面接の結果を総合して選抜します。

The Department of Computer Science and Engineering, under the educational principles and objectives of this institution---"Fostering practical engineers with comprehensive judgment and innovative creativity from a broad perspective"--aims to cultivate individuals who can apply the theories and technologies of information engineering to various fields and contribute to society with a sense of ethics and responsibility across diverse industries and occupations.

Graduation will be granted to students who acquire the following competencies and meet the standards set forth in academic performance evaluation regulations.

(D1) Japanese and English Communication Competencies (Communication Skills)

1-1: Ability to express oneself appropriately in written Japanese and convey thoughts verbally.

1-2: Ability to grasp the outline and main points of documents written in everyday English.

1-3: Ability to express one's ideas concisely in English.

(D2) Basic Technologies Related to Information Science and Technology and Their Applications to Engineering (Fundamental Expertise)

2-1: Acquisition of fundamental technologies related to information science and technology.

2-2: Acquisition of fundamental knowledge in mathematics and natural sciences that form the basis of engineering.

2-3: Acquisition of analytical techniques for various types of information.

2-4: Ability to assert one's opinions through presentations.

(D3) Ability to Solve Problems from Multiple Perspectives by Utilizing Fundamental Expertise (Applied Expertise)

3-1: Ability to understand the relationships between diverse specialized fields such as networks and artificial intelligence.

3-2: Ability to understand and explain engineering problems by utilizing fundamental knowledge.

3-3: Acquisition of basic experimental techniques.

(D4) Balanced Human Development and Social/Cooperative Skills (Collaborative Abilities)

4-1: Ability to consider matters from a broad perspective.

4-2: Ability to take interest in the relationship between Japan and the world.

4-3: Acquisition of fundamental skills required for social participation.

4-4: Ability to participate in group activities and cooperatively fulfill one's role.

4-5: Acquisition of health and physical strength necessary for robust living.

(D5) Ethical Awareness as an Engineer Contributing to Society (Social Contribution)

5-1: Ability to recognize the necessity of ethical awareness that engineers should possess.

5-2: Ability to recognize ethical issues in society.

(D6) Intellectual Curiosity and Ability to Address Problems Proactively and Creatively (Creativity)

6-1: Ability to approach challenges in one's specialized field with curiosity and an inquiring mind.

6-2: Acquisition of knowledge and technical skills in one's specialized field and understanding of their social relevance.

6-3: Ability to learn continuously with initiative.

Curriculum Organization Policy and Educational Content

To cultivate the competencies outlined in the Diploma Policy, the department systematically structures an educational curriculum based on the Model Core Curriculum (MCC, MCC Plus) shared by national colleges of technology, consisting of general subjects and specialized subjects.

(1) General Subjects

Foundational subjects such as Japanese, English, physics, and mathematics

DP competencies developed: D1, D2, D4

(2) Specialized Subjects

Subjects to acquire skills in programming, networking, and artificial intelligence, as well as course elective subjects for more advanced learning such as machine learning and cybersecurity, to respond to modern complex scientific technologies related to information systems and the internet

DP competencies developed: D2, D3, D5, D6

(3) Specialized Subjects (MDASH)

Specialized subjects related to mathematics, data science, and AI education programs

DP competencies developed: D2, D3

(4) Specialized Subjects (Experiments & Practical Training)

Information engineering experiments and cross-grade/department PBL to develop practical and creative abilities to apply learned knowledge

DP competencies developed: D2, D3, D4, D6

(5) Graduation Research

A subject to develop comprehensive abilities such as problem-solving, logical thinking, teamwork, and presentation skills

DP competencies developed: D1, D2, D3, D4, D5, D6

(6) Special Activities

Subjects aimed at fostering engineers who can contribute to society while designing and realizing their own life paths

DP competencies developed: D1, D4, D5, D6

The curriculum combines lectures, exercises, and practical training appropriately and is systematically organized according to the Diploma Policy and MCC. To foster autonomous and continuous learning, academic unit-based subjects are introduced, and learning content is designed to include time for assignments and other activities.

Implementation of Education

(1) Students acquire the competencies listed in the Diploma Policy by completing subjects arranged according to the curriculum policy. Each class is conducted based on the syllabus with an explanation of how to take the course.

(2) In addition to lectures, assignments are used to promote independent learning, and tools such as rubrics are utilized to support student-driven learning.

(3) Regular examinations and other assessments are conducted.

Evaluation of Learning Outcomes

Academic performance is evaluated based on the methods stated in the syllabus for each subject using a 100-point scale.

However, for graduation research and some elective subjects, evaluations may be based on pass/fail. The grading scale is as follows:

•Excellent: 80–100 points

•Good: 70–79 points

•Satisfactory: 60–69 points

•Unsatisfactory: 59 points or below

Desired Student Profile

•Individuals who have a solid understanding of junior high school level studies and are motivated to study of how computers work and their applications to manufacturing

•Those with strong curiosity and an inquiring mind, who have developed thinking, reasoning, and the ability to express their ideas logically

•People who are self-reliant, possess perseverance and teamwork skills, and are capable of cooperative actions with various people

•Those who are motivated by a desire to contribute to society

Basic Policy on Student Selection

Student selection is conducted through three methods: recommendation-based selection, academic examination-based selection, and special selection for returnee students.

(1) Recommendation-Based Selection

Applicants who are firmly committed to enrolling at our school, demonstrate excellence in both academics and character, and have been recommended by the principal of their current school are eligible for consideration. The selection is based on a comprehensive evaluation of the applicant's academic transcript, letter of recommendation, and interview results (including oral examinations in English, Japanese, and Mathematics).

(2) Academic Examination-Based Selection

Students are selected based on a comprehensive evaluation of academic examination results and academic transcripts. The examination covers five subjects: Japanese, Mathematics, English, Science, and Social Studies.

(3) Special Selection for Returnee Students

For those who have received education abroad due to a parent's overseas assignment and who meet the criteria specified in the school's application guidelines. The selection is based on a comprehensive evaluation of academic examination results, academic transcripts, essays, and interview results. The exam includes three subjects: Mathematics, English, and Science.

Admission Policy for Fourth-Year Transfer Students (AP: Policy on Student Admission)

Desired Student Profile

•Individuals who have acquired knowledge and skills equivalent to high school graduation and are motivated to study of how computers work and their applications to manufacturing

•Those with strong curiosity and an inquiring mind, who have developed thinking, reasoning, and the ability to express their ideas logically

•People who are self-reliant, possess perseverance and teamwork skills, and are capable of cooperative actions with various people

•Those who are motivated by a desire to contribute to society

Basic Policy on Student Selection

Selection is based on a comprehensive evaluation of academic transcripts, academic examinations, oral examinations, and interviews.

【専攻科課程】海上輸送システム工学専攻

◎修了認定方針 Diploma policy

海上輸送システム工学専攻は、本校が掲げる教育方針の下、海上輸送システムや船舶機関システムに関する分野を中心とした専門的な技術を教育し、システムの運用、開発、商船学・工学的センスを身に付けた実践的な海事管理技術者を育成します。

そのために以下に示す能力を身に付け、学業成績の評価等に関する規定に定める基準を満たした学生に修了を認定します。

(D1) 商船学に関する幅広い知識・技能を修得し、海と陸の複合領域で活躍できる技術者となる。(専門基礎力)

1-1: 運航管理や海運実務、関連法規を体系的に修得し、専門的学修の基盤として運用できる。

1-2: 海洋環境やエネルギー利用に関する基礎を修得し、自然環境と工学の関わりを理解して持続可能な海事システムを構想できる。

1-3: 機関・制御・材料・情報処理などの工学知識を応用し、実践的課題を解決できる。

1-4: 海事シミュレーションや数理的手法を活用し、交通流や運航管理の課題を分析できる。

(D2) 海上輸送システムにおける基礎知識と技能に加え、専門分野の高度な知識と能力を修得し、複眼的な視点で問題を解決し、産業技術分野に応用できる技術者となる。(専門応用力)

2-1: 海上輸送システムに関する高度な知識を修得し、実践に活用できる。

2-2: 複雑な課題に対して科学的・論理的に分析し、解決策を導き出すことができる。

2-3: 研究や実習を通じて培った知識・技術を応用し、持続可能な産業技術分野の発展に貢献できる。

2-4: 安全・環境・経済性などを統合的に捉え、多角的な観点から判断できる。

(D3) 海事分野における専門英語を理解し、国際的な視野と倫理観に基づいて価値判断を行い、多様な人々と協働できる技術者となる。(コミュニケーション・協働力)

3-1: 国際海事分野で必要となる専門英語を修得し、実務に活用できる。

3-2: 国際的な規範や文化の多様性を理解し、グローバルな視点で行動できる。

3-3: 専門的内容を的確に表現し、国内外の関係者と円滑に情報共有・協働できる。

3-4: チーム内外で円滑な人間関係を築き、安全かつ効率的に業務を遂行できる。

(D4) 船舶運航技術に関する知識・技能に加え、陸上からの安全管理や運航管理を含む幅広い視点を持ち、リスクに適切に対応できる技術者となる。(安全・管理対応力)

4-1: 運航管理や航行安全の確保に必要な知識・技能を修得し、適切に活用できる。

4-2: 機器技術や物理現象を理解し、機関の安全かつ効率的な運用に応用できる。

4-3: 船舶管理を体系的に理解し、総合的に実践するとともに、新たな仕組みや解決策を提案できる。

4-4: 事故やトラブル発生時に状況を的確に判断し、適切な対応を講じることができる。

◎カリキュラム編成方針 Curriculum policy

<教育課程の編成方針と教育内容>

ディプロマ・ポリシーで示した能力を身に付けるために、海・船・港に関する知識と技術を総合的に学習し、世界で活躍できる海事技術者を育成します。

具体的には、全国国立高専共通のモデルコアカリキュラム(MCC、MCC plus)をベースに、専門基礎科目と専門科目からなる教育課程(カリキュラム)を体系的に編成します。

(1) 専門基礎科目
数理工学、環境化学概論、技術英語1、文書表現論、技術英語2、情報処理応用論、物理学特論
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D1、D3

(2) 専門科目(海上輸送システム工学)
エネルギー変換学、高電圧工学、熱機関工学、コンピュータ機械設計、海事英語、材料学特論、船舶工学特論、海上交通工学特論、海事シミュレーション工学、海運経済特論、商船システム概論、船舶安全工学特論、海洋国際環境法規、機関システム工学、海上輸送工学
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D1、D2、D3、D4

(3) 専門科目(周辺技術等)
教育技術演習、短期インターンシップ、長期インターンシップ
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D3、D4

(4) 専門科目(実験・実習・研究)
特別研究1、特別研究2、海事科学実験、海事科学演習、特別研究3
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D2、D3、D4

カリキュラムは、講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせ、ディプロマ・ポリシー及びMCCごとに体系的に編成します。主体的・継続的に学習する力を育成するため、学修単位の科目を導入し、課題等に取り組む時間を含めた学習内容の設計を行います。

<教育の実施方法>

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を学生が身に付けるために、教育課程の編成方針に基づいて配置された科目を修得させます。各科目の授業は、履修方法を説明し、シラバスに基づいて行います。

(2) 授業のみならず、課題等により学生の自学学習を促すとともに、ルーブリック等を利用して学生の主体的学習を支援します。

(3) 定期試験等を実施します。ただし、平素の成績によって評価できる授業科目については、試験の全部又は一部を行わないことがあります。

<学修成果の評価方法>

学業成績は、科目ごとにシラバスに示した評価方法に基づいて、100点法で評価します。ただし、授業科目又は履修形態等によっては、合格・不合格又は認定・不認定の評価とすることがあります。なお、学業成績の評定は、次の区分によるものとします。

A 80点~100点
B 70点~79点
C 60点~69点
D 59点以下

◎入学者受入方針 Admission policy

<求める学生像>

- ・工学的素養を身に付け海事関係分野で活躍したい人
- ・海上輸送管理技術を身に付け社会で活躍したい人
- ・商船学の基本的な知識・技能を身に付けている人
- ・好奇心や探究心が強く、考える力や判断する力、自分の考えを論理的に述べる力を伸ばしてきた人
- ・自立心を持ち、いろいろな人と協力し合って行動できる、根気とチームワーク力のある人
- ・社会の役に立ちたいという意識を持っている人

<入学者選抜の基本方針>

入学者の選抜は、推薦による選抜と学力検査による選抜、社会人特別選抜の3つの方法で行います。

(1) 推薦による選抜
本校へ入学する意志が強く学業・人物共に優れ、在籍する学校長の推薦を受けた方を対象とし、推薦書、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。

(2) 学力検査による選抜
調査書、学力検査(専門科目(筆記)、数学(口頭試問))、英語(TOEICスコア)、面接の結果を総合して選抜します。

(3) 社会人特別選抜
企業等に在籍する人で本校の募集要項に示す要件を満たす方を対象とし、推薦書、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。

The Advanced Marine Transportation Systems Engineering Course, under the educational policy of this institution, provides education in specialized technologies mainly in the fields of marine transportation systems and ship machinery systems, and cultivates practical maritime management engineers who have acquired skills in system operation and development as well as a sense of merchant marine studies and engineering. For this purpose, completion is recognized for students who have acquired the abilities shown below and who satisfy the standards prescribed in the regulations concerning academic performance evaluation.

(D1) Acquire a wide range of knowledge and skills related to merchant marine studies, and become engineers who can play active roles in combined sea- and land-based fields. (Specialized Fundamental Competence)

1-1: Systematically acquire knowledge of operation management, maritime business practices, and related laws and regulations, and can utilize it as a foundation for specialized study.

1-2: Acquire basic knowledge of the marine environment and energy utilization, understand the relationship between the natural environment and engineering, and can conceive sustainable maritime systems.

1-3: Apply engineering knowledge such as machinery, control, materials, and information processing to solve practical problems.

1-4: Utilize maritime simulation and mathematical methods to analyze issues related to traffic flow and operation management.

(D2) In addition to basic knowledge and skills of marine transportation systems, acquire advanced knowledge and abilities in specialized fields, solve problems from multiple perspectives, and become engineers who can apply them to industrial technology fields. (Specialized Applied Competence)

2-1: Acquire advanced knowledge related to marine transportation systems and can utilize it in practice.

2-2: Scientifically and logically analyze complex issues and derive solutions.

2-3: Apply knowledge and technologies developed through research and practical training to contribute to the development of sustainable industrial technology fields.

2-4: Integrate safety, environmental, and economic perspectives and make judgments from multiple viewpoints.

(D3) Understand specialized English in the maritime field, make value judgments based on an international perspective and ethics, and become engineers who can collaborate with diverse people. (Communication and Collaboration Competence)

3-1: Acquire specialized English required in the international maritime field and can utilize it in practice.

3-2: Understand international norms and cultural diversity, and can act with a global perspective.

3-3: Accurately express specialized content and smoothly share information and collaborate with related parties in Japan and overseas.

3-4: Build smooth human relationships within and outside teams, and can perform duties safely and efficiently.

(D4) In addition to knowledge and skills related to ship operation technology, have a broad perspective including shore-based safety management and operation management, and become engineers who can appropriately respond to risks. (Safety and Management Competence)

4-1: Acquire the knowledge and skills necessary for operation management and ensuring navigational safety, and can utilize them appropriately.

4-2: Understand equipment technologies and physical phenomena, and apply them to the safe and efficient operation of machinery.

4-3: Systematically understand ship management, comprehensively practice it, and can propose new systems and solutions.

4-4: Accurately judge situations when accidents or troubles occur and can take appropriate measure

Curriculum Organization Policy and Educational Content

In order to enable students to acquire the abilities stated in the Diploma Policy, the program provides comprehensive education in knowledge and technologies related to the sea, ships, and ports, and cultivates maritime engineers who are capable of contributing actively on a global scale. Specifically, the curriculum is systematically organized based on the common Model Core Curriculum (MCC and MCC Plus) of the National Institute of Technology, and consists of specialized fundamental subjects and specialized subjects.

(1) Specialized Fundamental Subjects

The specialized fundamental subjects include Mathematical Engineering, Introduction to Environmental Chemistry, Technical English I, Technical Writing, Technical English II, Applied Information Processing, and Advanced Physics.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D1, D3

(2) Specialized Subjects (Marine Transportation Systems Engineering)

The specialized subjects in Marine Transportation Systems Engineering include Energy Conversion Engineering, High Voltage Engineering, Thermal Engine Engineering, Computer-Aided Mechanical Design, Maritime English, Advanced Materials Science, Advanced Naval Architecture, Advanced Maritime Traffic Engineering, Maritime Simulation Engineering, Advanced Shipping Economics, Introduction to Merchant Ship Systems, Advanced Ship Safety Engineering, International Marine Environmental Law, Machinery Systems Engineering, and Marine Transportation Engineering.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D1, D2, D3, D4

(3) Specialized Subjects (Related Technologies)

The specialized subjects related to surrounding and related technologies include Educational Technology Practice, Short-Term Internship, and Long-Term Internship.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D3, D4

(4) Specialized Subjects (Experiments, Practical Training, and Research)

The specialized subjects involving experiments, practical training, and research include Special Research I, Special Research II, Maritime Science Experiments, Maritime Science Exercises, and Special Research III.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D2, D3, D4

The curriculum is systematically organized by appropriately combining lectures, exercises, and experiments or practical training in accordance with the Diploma Policy and the MCC. To cultivate the ability for independent and continuous learning, credit-based subjects are introduced, and learning activities are designed to include sufficient time for assignments and other learning tasks.

Implementation of Education

(1) In order for students to acquire the abilities stated in the Diploma Policy, they are required to complete the subjects arranged based on the curriculum organization policy. Each subject is conducted in accordance with the syllabus, after explaining the course requirements and methods of study.

(2) In addition to classroom instruction, students are encouraged to engage in self-directed learning through assignments and other activities. Rubrics and similar tools are used to support students' proactive and independent learning.

(3) Periodic examinations are conducted. However, for subjects that can be evaluated based on regular academic performance, all or part of the examinations may be omitted.

Evaluation of Learning Outcomes

Academic performance is evaluated for each subject based on the evaluation methods specified in the syllabus, using a 100-point scale. Depending on the subject or learning format, evaluation may be conducted on a pass/fail or certified/not certified basis. Academic grades are classified as follows:

A: 80–100 points

B: 70–79 points

C: 60–69 points

D: 59 points or below

Desired Student Profile

- Individuals who wish to acquire fundamental engineering knowledge and skills and play active roles in maritime-related fields.

- Individuals who wish to acquire marine transportation management technologies and contribute to society.

- Individuals who possess basic knowledge and skills in merchant marine studies.

- Individuals with strong curiosity and an inquisitive mindset, who have developed the ability to think, make judgments, and express their ideas logically.

- Individuals who have a sense of independence, can cooperate with a wide range of people, and possess perseverance and teamwork skills.

- Individuals who have a strong desire to contribute to society.

Basic Policy on Student Selection

Student selection is conducted using three methods: selection by recommendation, selection by academic examination, and special selection for working adults.

(1) Selection by Recommendation

This selection is intended for applicants who have a strong desire to enroll in this institution, demonstrate excellent academic achievement and personal qualities, and have received a recommendation from the principal of their current school. Student selection is made comprehensively based on the recommendation letter, academic transcript, and the results of an interview.

(2) Selection by Academic Examination

Student selection is made comprehensively based on the academic transcript, the results of academic examinations (written examination in specialized subjects and an oral examination in mathematics), English proficiency (TOEIC score), and an interview.

(3) Special Selection for Working Adults

This selection is intended for applicants who are employed by companies or other organizations and who meet the requirements specified in the admission guidelines of this institution. Student selection is made comprehensively based on the recommendation letter, academic transcript, and the results of an interview.

【専攻科課程】生産システム工学専攻

◎修了認定方針 Diploma policy

生産システム工学専攻は、本校が掲げる教育方針の下、情報・機械系を中心とした複合的工業分野における専門的な知識と技術を教育し、地域に貢献できるものづくりやシステム開発の能力と国際感覚を持つ実践的専門技術者を育成します。

そのために以下に示す能力を身に付け、学業成績の評価等に関する規定に定める基準を満たした学生に修了を認定します。

(D1) 日本語及び英語のコミュニケーション能力（コミュニケーション力）

1-1: 日本語における適切な文章表現及び口頭的意思伝達ができる。

1-2: 英語で書かれた技術文書の概要・要旨がつかめる。

1-3: 研究の英文概要を書くことができ、発表資料などに英語を用いることができる。

(D2) 情報工学に関する基本的技術及び工学への応用技術（専門基礎力）

2-1: 情報工学を活用した計測技術を使い実験データを収集することができる。

2-2: 収集したデータや情報に対し、数理的処理を用いて分析し専門工学での問題解決に繋げることができる。

(D3) 情報工学と機械工学の融合分野における技術の基礎となる知識と技能及びその分野の専門技術に関する高度な知識と能力、さらに複眼的な視点から問題を解決し、産業技術分野への活用を実践できる能力（専門応用力）

3-1: 数学・自然科学の基礎知識を、専門分野の課題で活用することができる。

3-2: 多様な専門分野の関連性を理解し、多面的に捉えることができる。

3-3: 基礎知識を活用して工学の問題を理解し、説明できる。

3-4: 基礎的な実験技術を用いて、実験を企画・実行して結果の分析・評価ができる。

(D4) 知性と徳性の調和した人間性及び社会性・協調性（協働力）

4-1: 幅広い知識を身に付け、地球的視点から問題を捉えることができる。

4-2: 異文化を理解し、価値観の多様性を認識することができる。

4-3: 社会参加への意欲と関心を持つことができる。

4-4: グループでの活動に参加し、他のメンバーと協調して課題に取り組むことができる。

(D5) 社会に役立つ技術者としての倫理観（社会貢献力）

5-1: 科学技術に関する倫理的問題について理解し、指摘することができる。

5-2: 実務上の問題を理解し、技術的・倫理的知識を適用することができる。

(D6) 知的探求心を持ち、問題解決へ向けて主体的、創造的に問題に取り組む能力（創造力）

6-1: 好奇心と探究心を持って、幅広い分野の課題に取り組むことができる。

6-2: 得意とする専門分野の知識、技術と情報を駆使して、社会の要求に応じた問題解決の方法を企画、デザインすることができる。

6-3: 研究や学習状況を把握・記録して自主的・継続的に学習できる。

◎カリキュラム編成方針 Curriculum policy

<教育課程の編成方針と教育内容>

ディプロマ・ポリシーで示した能力を身に付けるために、全国国立高専共通のモデルコアカリキュラム（MCC、MCC plus）をベースに、専門基礎科目と専門科目からなる教育課程（カリキュラム）を体系的に編成します。

- (1) 専門基礎科目
文書表現論、技術英語1、技術英語2、物理学特論、環境化学概論、数理工学、情報処理応用論
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D1、D2、D3、D4
- (2) 専門科目（情報工学・機械工学）
数値解析特論、コンピュータ機械設計、画像応用システム工学、人工知能特論、計算機制御システム、システム制御、ロボット工学特論、感性工学、ソフトウェア工学特論
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D3
- (3) 専門科目（情報工学）
データ構造、離散数学特論、信号処理論、電子回路応用、コンピュータネットワーク
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D3
- (4) 専門科目（機械工学）
弾塑性学、材料強度学、材料科学特論、精密加工学、エネルギー変換学
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D3
- (5) 専門科目（周辺技術等）
技術文献ゼミ、短期インターンシップ、長期インターンシップ、教育技術演習
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D4
- (6) 専門科目（実験・実習・研究）
生産システム工学実験、生産システム工学演習、特別研究1、特別研究2、特別研究3
ディプロマ・ポリシーに示す能力: D2、D3、D4、D5、D6

カリキュラムは、講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせて、ディプロマ・ポリシー及びMCCごとに体系的に編成します。主体的・継続的に学習する力を育成するため、学修単位の科目を導入し、課題等に取り組む時間を含めた学習内容の設計を行います。

<教育の実施方法>

- (1) ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を学生が身に付けるために、教育課程の編成方針に基づいて配置された科目を修得させます。各科目の授業は、履修方法を説明し、シラバスに基づいて行います。
- (2) 授業のみならず、課題等により学生の自学学習を促すとともに、ルーブリック等を利用して学生の主体的学習を支援します。
- (3) 定期試験等を実施します。ただし、平素の成績によって評価できる授業科目については、試験の全部又は一部を行わないことがあります。

<学修成果の評価方法>

学業成績は、科目ごとにシラバスに示した評価方法に基づいて、100点法で評価します。ただし、授業科目又は履修形態等によっては、合格・不合格又は認定・不認定の評価とすることがあります。なお、学業成績の評定は、次の区分によるものとします。

- A 80点～100点
- B 70点～79点
- C 60点～69点
- D 59点以下

◎入学者受入方針 Admission policy

<求める学生像>

- ・手と頭脳が同時に働く実践的技術者を目指す人
- ・コミュニケーション能力と国際感覚を備えたい人
- ・工学の基本的な知識・技能を身に付けている人
- ・好奇心や探究心が強く、考える力や判断する力、自分の考えを論理的に述べる力を伸ばしてきた人
- ・自立心を持ち、いろいろな人と協力し合って行動できる、根気とチームワーク力のある人
- ・社会の役に立ちたいという意識を持っている人

<入学者選抜の基本方針>

入学者の選抜は、推薦による選抜と学力検査による選抜、社会人特別選抜の3つの方法で行います。

- (1) 推薦による選抜
本校へ入学する意志が堅く学業・人物共に優れ、在籍する学校長の推薦を受けた方を対象とし、推薦書、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。
- (2) 学力検査による選抜
調査書、学力検査（専門科目（筆記）、数学（口頭試問））、英語（TOEICスコア）、面接の結果を総合して選抜します。
- (3) 社会人特別選抜
企業等に在籍する人で本校の募集要項に示す要件を満たす方を対象とし、推薦書、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。

Advanced Production Systems Engineering Course certifies completion to students who, under the educational policy of this institution, have acquired specialized knowledge and technologies in interdisciplinary industrial fields centered on information engineering and mechanical engineering, and who have satisfied the standards prescribed in the regulations concerning the evaluation of academic performance by acquiring the abilities listed below.

(D1) Communication Skills in Japanese and English. (Communication Competence)

1-1: Ability to express ideas appropriately in written Japanese and communicate intentions orally.

1-2: Ability to grasp the outline and summary of technical documents written in English.

1-3: Ability to write an English abstract of research and use English in presentation materials and related contexts.

(D2) Fundamental Technologies in Information Engineering and Their Application to Engineering. (Fundamental Professional Competence)

2-1: Ability to collect experimental data using measurement technologies based on information engineering.

2-2: Ability to analyze collected data and information using mathematical processing and apply the results to problem solving in specialized engineering fields.

(D3) Advanced Expertise in the Interdisciplinary Field of Information Engineering and Mechanical Engineering. (Applied Professional Competence)

This includes fundamental knowledge and skills that form the basis of technologies in the integrated field of information engineering and mechanical engineering, as well as advanced knowledge and abilities in specialized technologies. Students are expected to solve problems from multiple perspectives and practically apply the results to industrial technology fields.

3-1: Ability to apply fundamental knowledge of mathematics and natural sciences to issues in specialized fields.

3-2: Ability to understand relationships among diverse specialized fields and consider issues from multiple perspectives.

3-3: Ability to understand and explain engineering problems by applying fundamental knowledge.

3-4: Ability to plan and conduct experiments using basic experimental techniques, and analyze and evaluate the results.

(D4) Human Qualities, Social Skills, and Cooperativeness Based on a Balance of Intellect and Morality. (Collaboration Competence)

4-1: Ability to acquire broad knowledge and address problems from a global perspective.

4-2: Ability to understand different cultures and recognize the diversity of values.

4-3: Ability to demonstrate motivation for and interest in participation in society.

4-4: Ability to participate in group activities and work cooperatively with other members to address assigned tasks.

(D5) Ethical Awareness as an Engineer Who Contributes to Society. (Social Contribution Competence)

5-1: Ability to understand and identify ethical issues related to science and technology.

5-2: Ability to understand practical problems and appropriately apply technical and ethical knowledge.

(D6) Intellectual Curiosity and Creative Engagement in Problem Solving. (Creativity)

6-1: Ability to address issues in a wide range of fields with curiosity and an inquisitive mindset.

6-2: Ability to plan and design problem-solving approaches that meet societal needs by effectively utilizing knowledge, skills, and information in one's area of expertise.

6-3: Ability to monitor and record research and learning progress, and engage in independent and continuous learning.

Curriculum Organization Policy and Educational Content

In order to enable students to acquire the abilities stated in the Diploma Policy, the curriculum is systematically organized based on the common Model Core Curriculum (MCC and MCC Plus) of the National Institute of Technology, and consists of specialized fundamental subjects and specialized subjects.

(1) Specialized Fundamental Subjects

The specialized fundamental subjects include Technical Writing, Technical English I, Technical English II, Advanced Physics, Introduction to Environmental Chemistry, Mathematical Engineering, and Applied Information Processing.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D1, D2, D3, D4

(2) Specialized Subjects (Information Engineering and Mechanical Engineering)

The specialized subjects in information engineering and mechanical engineering include Advanced Numerical Analysis, Computer-Aided Mechanical Design, Image Applied Systems Engineering, Advanced Artificial Intelligence, Computer Control Systems, System Control, Advanced Robotics, Kansei Engineering, and Advanced Software Engineering.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D3

(3) Specialized Subjects (Information Engineering)

The specialized subjects in information engineering include Data Structures, Advanced Discrete Mathematics, Signal Processing Theory, Applied Electronic Circuits, and Computer Networks.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D3

(4) Specialized Subjects (Mechanical Engineering)

The specialized subjects in mechanical engineering include Elastoplasticity, Strength of Materials, Advanced Materials Science, Precision Machining Engineering, and Energy Conversion Engineering.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D3

(5) Specialized Subjects (Related Technologies)

The specialized subjects related to surrounding and related technologies include Technical Literature Seminar, Short-Term Internship, Long-Term Internship, and Educational Technology Practice.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D4

(6) Specialized Subjects (Experiments, Practical Training, and Research)

The specialized subjects involving experiments, practical training, and research include Production Systems Engineering Experiments, Production Systems Engineering Exercises, Special Research I, Special Research II, and Special Research III.

Abilities indicated in the Diploma Policy: D2, D3, D4, D5, D6

The curriculum is systematically organized by appropriately combining lectures, exercises, and experiments or practical training in accordance with the Diploma Policy and the MCC. To foster the ability for independent and continuous learning, credit-based subjects are introduced, and learning activities are designed to include sufficient time for assignments and other learning tasks.

Methods of Educational Implementation

(1) In order for students to acquire the abilities stated in the Diploma Policy, they are required to complete the subjects arranged based on the curriculum organization policy. Each subject is conducted in accordance with the syllabus, after explaining the course requirements and methods of study.

(2) In addition to classroom instruction, students are encouraged to engage in self-directed learning through assignments and other activities. Rubrics and similar tools are used to support students' proactive and independent learning.

(3) Periodic examinations are conducted. However, for subjects that can be evaluated based on regular academic performance, all or part of the examinations may be omitted.

Evaluation of Learning Outcomes

Academic performance is evaluated for each subject based on the evaluation methods specified in the syllabus, using a 100-point scale. Depending on the subject or course format, evaluation may be conducted on a pass/fail or certified/not certified basis. Academic grades are classified as follows:

A: 80-100 points

B: 70-79 points

C: 60-69 points

D: 59 points or below

Desired Student Profile

- Individuals who aim to become practical engineers capable of working effectively with both hands-on skills and intellectual ability.

- Individuals who wish to develop communication skills and an international perspective.

- Individuals who possess basic knowledge and skills in engineering.

- Individuals with strong curiosity and an inquisitive mindset, who have developed the ability to think, make judgments, and express their ideas logically.

- Individuals who have a sense of independence, can cooperate with a wide range of people, and possess perseverance and teamwork skills.

- Individuals who have a strong desire to contribute to society.

Basic Policy on Student Selection

Student selection is conducted using three methods: selection by recommendation, selection by academic examination, and special selection for working adults.

(1) Selection by Recommendation

This method of student selection is intended for applicants who have a strong commitment to enrolling in this institution, demonstrate excellent academic achievement and personal qualities, and have received a recommendation from the principal of their current school. Student selection is made comprehensively based on the recommendation letter, academic transcript, and the results of an interview.

(2) Selection by Academic Examination

Student selection is made comprehensively based on the academic transcript, the results of academic examinations (written examinations in specialized subjects and an oral examination in mathematics), English proficiency (TOEIC score), and the results of an interview.

(3) Special Selection for Working Adults

This method of student selection is intended for applicants who are employed by companies or other organizations and who meet the requirements specified in the admission guidelines of this institution. Student selection is made comprehensively based on the recommendation letter, academic transcript, and the results of an interview.

目次 Contents

令和 8 年度学事予定 School Affairs Schedule in 2026	1	クラブ活動状況等 Situation of Club Activities	28
沿革 Brief History	3	学生会 Student Association	28
組織 Organization	5	初年次教育支援室 The First-Year Experience Education Support Section	30
組織図 Organization Chart	5	地域創生推進室 Regional Revitalization Promotion Office	30
役職員 Executives	6	地域共同研究推進センター Research Center for Regional Collaboration	30
学級担任 Home Room Teacher	6	地域社会との連携 Cooperation with Communities	31
教職員数 Number of Staff	7	令和 7 年度公開講座一覧 Establishment of Open Class in 2025	31
学科及び学生定員 Departments and Authorized Students	7	技術振興会（しまなみテクノパートナーズ） Association for advancement of technology	31
名誉教授 Emeritus Professor	7	国際交流推進室 International Affairs Section	32
学科と教育課程 Department and Curriculum	8	学術支援センター「メディコ」 Academic Support Center "Medico"	33
商船学科 The Department of Maritime Technology	8	図書館 Library	33
創造工学科 The Department of Creative Technology Engineering	11	保健室 Health Center	34
情報工学科 The Department of Computer Science and Engineering	13	学生相談室 Counseling Room	34
一般教育 General Education	15	情報処理教育センター Computer Education Center	35
主な実験・実習設備 Main Experimental, Practical Equipment	17	起業家工房センター Entrepreneurs' Workshop Center	35
専攻科 Advanced Engineering Course	18	操船シミュレータ室 Ship Handling Simulator	36
海上輸送システム工学専攻・生産システム工学専攻 Advanced Marine Transportation Systems Engineering Course・Advanced Production Systems Engineering Course	18	ECDIS 講習室 Electronic Chart Display and Information System Laboratory	36
教員一覧 Faculty List	20	練習船・係留場 Training Ship・Moorings	37
商船学科 The Department of Maritime Technology	20	練習船「弓削丸」 Training Ship "YUGE MARU"	37
創造工学科 The Department of Creative Technology Engineering	21	実習船「はまかぜ」 Training Ship "HAMAKAZE"	37
情報工学科 The Department of Computer Science and Engineering	21	係留場 Moorings	37
練習船 Teaching Staff of Training Ship	22	実習工場 Training Workshop	38
非常勤講師 Part-time Lecturer	22	視聴覚教育施設 Audio & Visual Systems Facilities	38
学生の概況 General Situation of Students	23	福祉施設 Welfare Facilities	39
学生数 Number of Students	23	福祉施設「白雲館」 Welfare Facilities "Hakuun kan"	39
国別外国人留学生数 Number of International Students (by country)	23	史料館 College Museum of History	39
出身学校都道府県別学生数 Number of Students by Alma Mater and Prefecture	24	学寮 Dormitory	40
入学試験の実施状況 Situation of Selective Examination for Applicants	25	施設の概況 General Situation of Facilities	41
専攻科入学試験実施状況 Situation of Selective Examination for Applicants	25	土地及び建物 Site and Building	41
令和 7 年度日本学生支援機構等奨学生状況 Scholarship in 2025	26	建物等別内訳 Items of Buildings	41
卒業生・修了生の進路状況 Situation of Course of Graduates	26	建物配置図 Arrangement Map of Buildings	42
大学編入学状況 Situation of Entry in University	26	財務状況 Finances	43
大学院進学状況 Situation of Entry in Graduate School	26	財務状況 Finances	43
令和 7 年度求人・就職状況 Job-order and Employment Situation in 2025	27	外部資金受け入れ状況 Grant Form Outside	43
令和 7 年度卒業生・修了生の就職先一覧 List of Alumni Employers in 2025	27	本校へのアクセス Access	



入学式（4月）[Entrance Ceremony]



商船高専生のための仕事研究セミナー（5月）
[Job Research Seminar for Students]



瀬戸内2校定期戦（6月）
[Regularly Game by Two College on The Inland Sea]



第1回オープンキャンパス（7月）[Open Campus]



瀬戸内商船高等専門学校漕艇大会（10月）
[Cutter Race of (Setouchi) Colleges of Maritime Technology]



商船祭（11月）STU48と記念撮影※令和6年度
[School Festival]



四国地区高等専門学校総合文化祭（12月）
[Cultural Festival of Colleges in Shikoku District]



卒業式・修了式（3月）[Graduation Ceremony]

1日(水)～4日(土)

1(Wed)～4(Sat)

春季休業

Spring Vacation

5日(日)

5(Sun)

始業式・入寮式

Opening Ceremony, Entrance Ceremony for Dormitory

6日(月)

6(Mon)

入学式(本科・専攻科)

Entrance Ceremony

7日(火)

7(Tue)

新入生オリエンテーション

Orientation for new Students

15日(水)

15(Wed)

健康診断

Periodical Medical Examination

29日(水)

29(Wed)

校内体育大会

Athletic Meet

April

16日(土)

16(Sat)

商船高専生のための仕事研究セミナー

Job Research Seminar for Students

30日(土)～31日(日)及び

30(Sat)～31(Sun) and

6月5日(金)～8日(月)

June. 5(Fri)～8(Mon)

愛媛県高校総体

Game of High School in Ehime

May

8日(土)～9月23日(水)

8(Sat)～Sep. 23(Wed)

夏季休業

Summer Vacation

24日(月)

24(Mon)

令和9年度編入学選抜

Examination for Admission into a Higher Class in 2027

August

1日(火)

1(Tue)

専攻科入学選抜(海上・生産 学力)

Entrance Examination for Advanced Engineering

Course

(Advanced Marine Transportation Systems Engineering

Course)

Entrance Examination for Advanced Engineering Course

(Advanced Production Systems Engineering Course)

18日(金)

18(Fri)

商船学科卒業式・専攻科(海上輸送システム工学専攻)修了式

Graduation Ceremony (The Department of Maritime

Technology, Advanced Marine Transportation

Systems Engineering Course)

24日(木)

24(Thu)

全校集会

All school meetings

September

18日(金)

18(Fri)

四国地区高等専門学校総合文化祭

Cultural Festival of Colleges in Shikoku District

26日(土)～1月5日(火)

26(Sat)～Jan. 5(Tue)

冬季休業

Winter Vacation

December

9日(土)

9(Sat)

令和9年度入学選抜(推薦)

Entrance Examination in 2027(Recommendation)

11日(月)

11(Mon)

創立記念日

Anniversary of the Founding of our School

25日(月)～29日(金)

25(Mon)～29(Fri)

卒業試験(電子機械工学科・情報工学科)

Graduation Examination(The Department of Mechanical Engineering

Department, The Department of Computer Science and Engineering)

25日(月)～29日(金)

25(Mon)～29(Fri)

商船学科席上課程修了試験

Graduation Examination (The Department of Maritime Technology)

25日(月)～29日(金)

25(Mon)～29(Fri)

後期期末試験

Latter Terminal Examination

January

9日(火)～15日(月)

9(Tue)～15(Mon)

前期中間試験

Former Midterm Examination

20日(土)

20(Sat)

瀬戸内2校定期戦

Regularly Game by Two College on The Inland Sea

21日(日)

21(Sun)

専攻科入学者選抜(海上・生産 推薦)

Entrance Examination through the Recommendation Process for Advanced Engineering Course Entrance Examination for Advanced Engineering Course (Advanced Marine Transportation Systems Engineering Course)

Entrance Examination through the Recommendation Process for Advanced Engineering Course Entrance Examination for Advanced Engineering Course (Advanced Production Systems Engineering Course)

June

2日(木)

2(Thu)

キャンパスクリーン

Campus Clean

11日(土)～12日(日)

11(Sat)～12(Sun)

第1回オープンキャンパス(商船系)

Open Campus

16日(木)

16(Thu)

キャンパスクリーン

Campus Clean

18日(土)～19日(日)

18(Sat)～19(Sun)

全国商船高等専門学校漕艇大会

Cutter race of National Institute of Technology

(主管校 弓削商船)

(National Institute of Technology, Yuge College)

第1回オープンキャンパス(工業系)

Open Campus

29日(水)～8月4日(火)

29(Wed)～Aug.4(Tue)

前期期末試験

Former Terminal Examination

July

1日(木)

1(Thu)

専攻科入学式(海上輸送システム工学専攻)

Entrance Ceremony

(Advanced Marine Transportation Systems Engineering Course)

10日(土)～11日(日)

10(Sat)～11(Sun)

プログラミングコンテスト

Programming Contest

11日(日)

11(Sun)

ロボットコンテスト四国地区大会

Robot Contest in Shikoku District

18日(日)

18(Sun)

第2回オープンキャンパス(工業系)

Open Campus

瀬戸内商船高等専門学校漕艇大会

Cutter Race of (Setouchi) Colleges of Maritime Technology

(主管校 大島商船)

(Superintendence College Oshima College)

October

6日(金)

6(Fri)

キャンパスクリーン

Campus Clean

7日(土)～8日(日)

7(Sat)～8(Sun)

商船祭,第2回オープンキャンパス(商船系)

School Festival, Open Campus

15日(日)

15(Sun)

ロボットコンテスト全国大会

All Japan Robot Contest

17日(火)～24日(火)

17(Tue)～24(Tue)

後期中間試験

Latter Midterm Examination

28日(土)

28(Sat)

キャリア教育フォーラム

Career Education Forum

November

3日(水)

3(Wed)

終業式

Closing Ceremony

9日(火)～3月31日(水)

9(Tue)～Mar. 31(Wed)

学年末休業

Spring Vacation

14日(日)

14(Sun)

令和9年度入学者選抜(学力)

Entrance Examination in 2027(Achievement)

February

12日(金)

12(Fri)

電子機械工学科・情報工学科卒業式・専攻科(生産システム工学専攻)修了式

Graduation Ceremony (The Department of Mechanical Engineering Department, The Department of Computer Science and Engineering, Advanced Production Systems Engineering Course)

March

組合立時代

Municipal Days

明治34.1.11 Jan.11,1901	愛媛県越智郡弓削村外1ヶ村学校組合立 弓削海員学校設置 Yuge Seamen's School was established.
明治34.3.13 Mar.13,1901	校長に小林善四郎が任命された President KOBAYASHI Zenshiro.
明治35.3.26 Mar.26,1902	甲種商船学校制度により弓削村外5ヶ村学校組合立 弓削甲種商船学校と改称 Yuge Cooperative First Grade Mercantile Marine School.

県立時代

Prefectural Days

明治41.4.1 Apr.1,1908	愛媛県に移管、愛媛県立 弓削商船学校と改称 Ehime Prefectural Yuge Mercantile Marine School.
大正9.12.27 Dec.27,1920	校長に長谷川治作が任命された President HASEGAWA Jisaku.
大正15.6.21 Jun.21,1926	校長に竹内済二郎が任命された President TAKEUCHI Saijro.
昭和5.4.1 Apr.1,1930	機関科を設置 Engne Department was established.
昭和10.9.30 Sep.30,1935	校長に赤城三千が任命された President SEKIJŌ Mitate.

国立(文部省)時代

National Days

昭和15.7.1 Jul.1,1940	文部省直轄となる School under the Direct Control of the Ministry of Education.
昭和15.7.1 Jul.1,1940	校長に田口義剛が任命された President TAGUCHI Yoshitake.

国立(運輸省所管)時代

National Days

昭和18.11.1 Nov.1,1943	官制改正により運輸通信省所管となる The authorities concerned is the Ministry of Transportation and Communications.
昭和20.5.18 May 18,1945	官制改正により運輸省所管となる The authorities concerned is the Ministry of Transportation.
昭和21.3.29 Mar.29,1946	校長に池村政吉が任命された President IKEMURA Seikichi.
昭和21.4.1 Apr.1,1946	粟島商船学校を統合 Integration of Awashima Mercantile Marine School.
昭和23.4.21 Apr.21,1948	校長に佐野道機が任命された President SANO Michiki.

国立(文部省所管)時代

National Days

昭和26.4.1 Apr.1,1951	文部省へ移管、 弓削商船高等学校と改称 Transfer of Control to the Ministry of Education Yuge Mercantile Marine High School.
昭和26.10.18 Oct.18,1951	創立50周年記念式典挙行 Celebration of the 50th Anniversary.
昭和28.3.20 Mar.20,1953	校長に小口義彦が任命された President OGUCHI Yoshihiko.
昭和36.11.3 Nov.3,1961	創立60周年記念式典挙行 Celebration of the 60th Anniversary.
昭和41.4.1 Apr.1,1966	校長に久次哲夫が任命された President HISATSUGU Tetsuo.

昭和42.6.1 Jun.1,1967	国立学校設置法の一部を改正する法律(昭和42年法律第18号)の施行により 弓削商船高等専門学校設置 (入学定員・航海学科40名・機関学科40名) Yuge National College of Maritime Technology (Authorized Numbers are Nautical Course 40 and Marine Engineering Course 40.)
------------------------	--

国立(文部省所管)商船高等専門学校
National Days

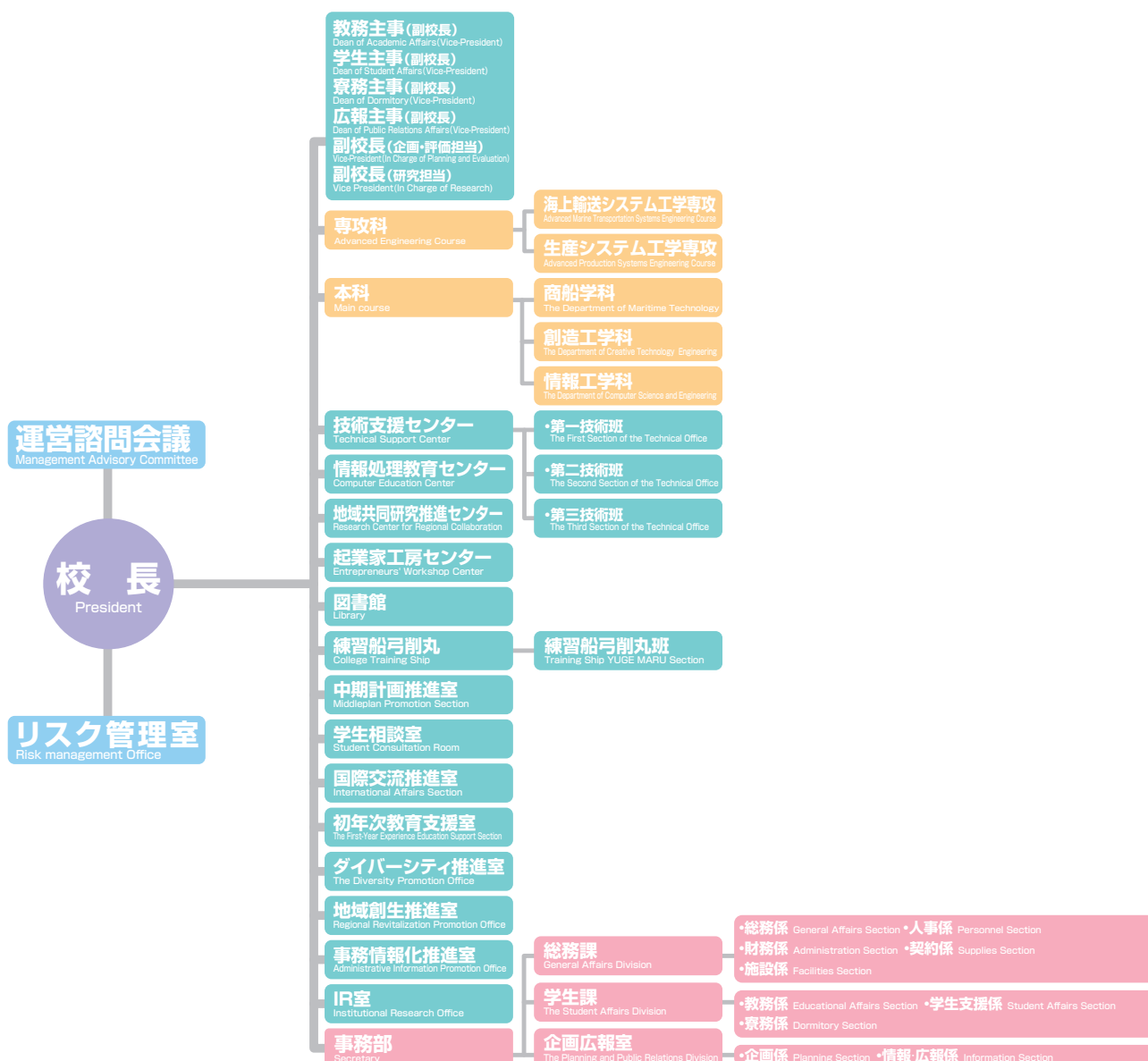
昭和42.6.16 Jun.16,1967	初代校長に本荘幸雄 (元神戸商船大学教授)が任命された President HONJŌ Yukio.
昭和44.4.1 Apr.1,1969	国立学校設置法施行規則の一部改正により 機関学科1学級増設 (文部省令第8号、入学定員40名) Authorized Numbers are Nautical Course 40 and Marine Engineering Course 80
昭和44.8.20 Aug.20,1969	校舎第一期工事完成 (校舎RC-4 8,099㎡) The first construction work of College Building (RC-4 8,099㎡) is completed.
昭和45.2.16 Feb.16,1970	練習船弓削丸(336.02トン型)進水 College Training Ship "YUGE MARU" (336.02ton) is launched.
昭和45.3.10 Mar.10,1970	校舎第二期工事完成 (校舎RC-4 1,470㎡) The Second Construction Work of College Building (RC-4 1,470㎡) is completed.
昭和45.4.1 Apr.1,1970	事務部制施行により庶務課及び会計課の2課が設置された General Affairs Division and Finance Division are set up.
昭和45.8.7 Aug.7,1970	寄宿舎第一期工事完成 (低学年棟RC-2 7,261㎡) The first construction work of Dormitory (RC-2 7,261㎡) is completed.
昭和46.1.30 Jan.30,1971	武道場完成 (S1 310㎡) Martial Arts Hall (S1 310㎡) is completed.
昭和46.11.6 Nov.6,1971	新校舎落成及び創立70周年記念式典挙行 Celebration of the completion of a College Building and the 70th Anniversary.
昭和47.3.23 Mar.23,1972	舟艇管理室(海上)完成 (RC-2 166㎡) The control office for ship (RC-2 166㎡) is completed.
昭和47.5.24 May.24,1972	坪内剣道場完成 (S1 298㎡、寄附) Tsubouchi Kendō Hall (S1 298㎡) is completed. (donation)
昭和48.3.8 Mar.8,1973	寄宿舎第二期工事完成 (低学年棟RC-5 555㎡) The second construction work of dormitory (RC-5 555㎡) is completed.
昭和48.4.1 Apr.1,1973	事務部に学生課が設置され、3課となる Student Affairs Division is set up.
昭和48.10.30 Oct.30,1973	栈橋等完成 The pier and the moorings are completed.
昭和48.11.30 Nov.30,1973	図書館完成 (RC-2 1,765㎡) The library (RC-2 1,765㎡) is completed.
昭和48.11.30 Nov.30,1973	合宿研修施設を設置(旧寄宿舎を改修) The boarding house is established.
昭和49.3.20 Mar.20,1974	プール完成 (25m×15m 7コース) The Swimming pool (25m×15m 7course) is completed.
昭和49.3.20 Mar.20,1974	荒天航泊実験室棟完成 (S1 563㎡) The Experimental Water Tank with Wind Tunnel Laboratory is completed.
昭和49.12.25 Dec.25,1974	ガスタービン実験室棟完成 (RC-1 100㎡) The Gas Turbine Laboratory (RC-1 100㎡) is completed.
昭和50.12.15 Dec.15,1975	電子計算機室完成 (S1 304㎡) The Electronic Computer Center (S1 304㎡) is completed.
昭和53.4.1 Apr.1,1978	2代校長に上坂太郎 (東京商船大学名誉教授)が任命された President KOSAKA Taro.
昭和55.3.31 Mar.31,1980	野球場夜間照明設備完成 Night illumination equipment of baseball ground is completed.
昭和55.3.31 Mar.31,1980	施設開放管理センター完成 (S1 112㎡) Institution Opening Control Center (S1 112㎡) is completed.
昭和56.2.20 Feb.20,1981	内燃機関総合実験室完成 (RC-1 140㎡) Internal Combustion Engine Laboratory is completed.
昭和56.9.30 Sep.30,1981	福利施設完成 (RC-2 594㎡) Welfare Facilities (RC-2 594㎡) is completed.
昭和56.11.3 Nov.3,1981	創立80周年記念式典挙行 Celebration of the 80th Anniversary.
昭和57.3.10 Mar.10,1982	第2体育館完成 (S+R 879㎡) The second gym (S+R 879㎡) is completed.
昭和58.3.25 Mar.25,1983	艇庫完成 (S1 553㎡) The boat-house (S1 553㎡) is completed.
昭和60.4.1 Apr.1,1985	国立学校設置法施行規則の一部改正により 機関学科1学級が電子機械工学科に改組 (文部省令第9号・入学定員40名) One Marine Engineering Course is reorganized into The Department of Electronic Mechanical Engineering.
昭和61.4.1 Apr.1,1986	3代校長に前田文郎 (元神戸商船大学教授)が任命された President MAEDA Fumio.
昭和62.3.23 Mar.23,1987	電子機械工学科棟完成 (RC-4 1,762㎡) The building of The Department of Electronic Mechanical Engineering (RC-4 1,762㎡) is completed.

昭和63.1.10 Jan. 10, 1988	4代校長に樽美幸雄 (元神戸商船大学教授) が任命された President TARUMI Yukio.
昭和63.4.1 Apr. 1, 1988	国立学校設置法施行規則の一部改正により 航海学科及び機関学科が商船学科及び情報工学科に改組 (文部省令第7号、入学定員各40名) Nautical Course and one Marine Engineering Course is reorganized into The Department of Maritime Technology 40 and The Department of Computer Science and Engineering 40.
平成3.3.25 Mar. 25, 1991	情報工学科棟完成 (RC-4 969㎡) The building of The Department of Information Science and Engineering (RC-4 969㎡) is completed.
平成6.3.30 Mar. 30, 1994	練習船弓削丸 (240トン型) 竣工 Completion of the college training ship "YUGE MARU" (240ton).
平成6.4.1 Apr. 1, 1994	5代校長に黒澤昭 (元神戸商船大学教授) が任命された President KUROSAWA Akira.
平成6.4.1 Apr. 1, 1994	情報処理教育センター設置 Computer Education Center is established.
平成6.4.8 Apr. 8, 1994	練習船弓削丸 (240トン型) 竣工式 Ceremony for the completion of the new college training ship "YUGE MARU" (240ton) .
平成8.3.27 Mar. 27, 1996	校内LANシステム構築 All computers in whole college were connected to the Internet.
平成8.6.28 Jun. 28, 1996	公務員宿舎完成 (RC-4 1,099㎡) The official residence (RC-4 1,099㎡) is completed.
平成9.6.1 Jun. 1, 1997	「弓削商船高専30年誌」を刊行 "The Thirty Years' History of Yuge National College of Maritime Technology" is completed.
平成11.3.19 Mar. 19, 1999	寄宿舎に女子棟設置 Women's dormitory (two separated floors for female students) is opened.
平成11.4.1 Apr. 1, 1999	6代校長に森田駿樹 (元神戸商船大学教授) が任命された President MORITA Toshiaki.
平成11.6.30 Jun. 30, 1999	太陽光発電設備完成 The photovoltaic power generation facility is completed.
平成12.3.30 Mar. 30, 2000	実習船「はまかぜ」竣工 Completion of the college training ship "HAMAKAZE" .
平成12.12.22 Dec. 22, 2000	福祉施設「白雲館」完成 (RC-2 925㎡) Completion of Welfare Facilities "Hakuun Kan" (RC-2 925㎡) .
平成13.1.6 Jan. 6, 2001	省庁再編により文部省は文部科学省となる Ministry of Education was renamed Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in accordance with the reorganization of ministries and agencies.
平成13.6.8 Jun. 8, 2001	公務員宿舎完成 (RC-4 595㎡) The official residence (RC-4 595㎡) is completed.
平成13.11.2 Nov. 2, 2001	創基100周年記念式典挙行 Celebration of the 100th Anniversary.
	「百周年記念誌」を刊行 The 100th Anniversary Memorial Book was published.
平成14.1.10 Jan. 10, 2002	7代校長に西垣 和 (元神戸商船大学教授) が任命された President NISHIGAKI Kazu.
平成14.10.18 Oct. 18, 2002	地域共同研究推進センター設置 The Research Center for Regional Collaboration is established.
独立行政法人国立高等専門学校機構(現在) National Institute of Technology (KOSEN)	
平成16.4.1 Apr. 1, 2004	独立行政法人国立高等専門学校機構法により、 独立行政法人国立高等専門学校機構弓削商船高等専門学校 となる Yuge National College of Maritime Technology was changed into institute of National College of Technology (KOSEN). Yuge National College of Maritime Technology.
平成17.4.1 Apr. 1, 2005	専攻科海上輸送システム工学専攻、生産システム工学専攻が設置された Established Advanced Courses of Marine Transportation Systems Engineering Course, Production Systems Engineering Course.
平成17.11.12 Nov. 12, 2005	専攻科設置記念式典挙行 Establishment Commemorative Ceremony of Advanced Engineering Course.
平成19.3.1 Mar. 1, 2007	8代校長に落合敏邦 (元国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官) が任命された President OCHIAI Toshikuni.
平成19.3.3 Mar. 3, 2007	技術振興会「しまなみテクノパートナーズ」が設立された Shimanami Techno-Partners, an association for advancement of technology, was founded.
平成19.4.1 Apr. 1, 2007	事務部が総務課、学生課、企画広報室に改組された The administration Division was reorganized into General Affairs Division, Student Affairs Division, and Planning and Public Relations Division.
平成20.3.18 Mar. 18, 2008	ものづくり教育研究棟完成 (RC-3 734㎡) Completion of the Manufacturing Education and Research Building (RC-3 734㎡) .

平成20.4.1 Apr. 1, 2008	事務部に技術室が設置され、2課2室となる The Technical Office is established in the Administrative Division.
平成21.4.1 Apr. 1, 2009	広報主事が設置され、4主事体制となる Dean of Public Relations Affairs is established. The four - dean system is fixed.
平成21.10.1 Oct. 1, 2009	事務部の技術室再編により技術支援センター及び練習船弓削丸班が設置された The Technical Support Center and the Training Ship YUGE MARU Section were established in accordance with the reorganization of the Technical Office in the Administrative Division.
平成23.1.31 Jan. 31, 2011	新艇庫完成 (S-2 718㎡) Completion of the New Boathouse (S-2 718㎡) .
平成24.3.1 Mar. 1, 2012	「創立110周年記念誌」を刊行 Published the commemorative book for the 110th anniversary of the foundation.
平成24.4.2 Apr. 2, 2012	9代校長に木村隆一 (元神戸大学教授) が任命された President KIMURA Ryuichi.
平成25.4.1 Apr. 1, 2013	副校長 (企画・評価担当) が設置され、4主事1副校長体制となる Set up the post of Vice President (in charge of planning and evaluation) and established the four-Deans and one-Vice President system.
平成27.3.27 Mar. 27, 2015	新浮き桟橋完成 (PCH-600㎡) Completion of the New Floating Pier (PCH-600㎡) .
平成27.4.1 Apr. 1, 2015	副校長 (研究担当) が設置され、4主事2副校長体制となる Set up the post of Vice President (in charge of research) and established the four-Deans and two-Vice Presidents system.
平成29.4.1 Apr. 1, 2017	10代校長に井瀬潔 (元鈴鹿工業高等専門学校教授) が任命された President ISE Kiyoshi.
平成31.4.1 Apr. 1, 2019	11代校長に石田邦光 (元鳥羽商船高等専門学校教授) が任命された President ISHIDA Kunimitsu.
令和2.3.17 Mar. 17, 2020	寄宿舎女子棟完成 (RC-3 1,585㎡) The building of women's dormitory (RC-3 1,585㎡) is completed.
令和3.11.12 Nov. 12, 2021	創基120周年・高専創立50周年記念式典挙行 Celebration of the 120th Anniversary of Foundation of the School and the 50th Anniversary as KOSEN.
	「120周年記念誌」を刊行 Published the Commemorative Book for the 120th Anniversary of the Foundation.
令和4.12.21 Dec. 21, 2022	弓道場完成 (36㎡) Japanese archery range(36㎡) is completed.
令和5.3.15 Mar. 15, 2023	学術支援センター「メディコ」設置 (図書館棟を改修) Academic Support Center "Medico" is established.
令和5.4.1 Apr. 1, 2023	技術支援センターに第3技術班が設置され、3班体制となる The Third Technical Section has been established in the Technical Support Center, resulting in a three-section structure.
令和5.4.1 Apr. 1, 2023	起業家工房センター設置 Entrepreneurs' Workshop Center is established.
令和6.3.11 Mar. 11, 2024	練習船弓削丸 (380トン型) 竣工 Completion of the college training ship "YUGE MARU" (380ton).
令和6.3.23 Mar. 23, 2024	練習船弓削丸 (380トン型) 竣工記念式典挙行 Completion Ceremony of the college training ship "YUGE MARU" (380ton).
令和6.4.1 Apr. 1, 2024	12代校長に内田誠 (元神戸大学教授) が任命された President UCHIDA Makoto.
令和8.4.1 Apr. 1, 2026	電子機械工学科が創造工学科に改組された The Department of Electronic Mechanical Engineering is reorganized into The Department of Creative Technology Engineering.

組 織 図

Organization Chart



各種委員会等 Various committees, etc.

- 運営委員会
Steering Committee
- 教員会議
Teaching Staff Conference
- 自己点検評価委員会
Self-evaluation Committee
- 人事委員会
Personnel Committee
- 教務委員会
Educational Affairs Committee
- 入学試験委員会
Entrance Exam Committee
- 厚生補導委員会
Committee of Student's Welfare and Guidance
- 学級担任委員会
Homeroom Teacher Committee
- 船舶運航委員会
Committee for Navigating Ship
- 就職指導委員会
Committee of Job Placement
- 情報処理教育センター運営委員会
Committee for Adminstrating Computer Education Center
- 情報ネットワーク管理専門部会
Information Network Management Committee
- 地域共同研究推進センター運営委員会
Steering Committee on Research Center for Regional Collaboration
- 図書委員会
Library Committee
- 安全衛生委員会
Health and Safety Committee
- 将来計画委員会
Future planning Committee
- 広報委員会
Public Relations Committee
- 弓削商船だより編集小委員会
"Yuge Shosen Dayori" Editorial Subcommittee
- 電子メディア小委員会
Electronic Media Subcommittee
- 寮務委員会
Dormitories Committee
- 事務情報化推進委員会
Office Work Computerization Promotion Committee
- 環境マネジメント委員会
Environmental Management Committee
- 専攻科委員会
Advanced Faculty Committee
- 施設整備等検討委員会
Institution Maintenance Examination Committee
- 国際交流委員会
International Exchange Committee
- 学生募集対策委員会
The student Recruitment Measures Committee
- FD委員会
Faculty Development Committee
- 公開講座委員会
Committee for Extension Courses
- 宿舍貸与選考委員会
Residence Committee
- 施設管理運営委員会
Institution Management Steering Committee
- 知的財産委員会
Intellectual Property Committee
- 外国人留学生委員会
Overseas Students Committee
- 学生相談室運営委員会
Student Consultation Room Steering Committee
- 技術支援センター運営委員会
Director of Steering Committee-Technical Support Center
- 情報セキュリティ管理委員会
Information Security Management Committee
- 情報セキュリティ推進委員会
Information Security Promotion Committee
- いじめ対策委員会
Anti-Bullying Committee
- 起業家工房センター運営委員会
Entrepreneurs' Workshop Center Management Committee
- 生命倫理委員会
Bioethics Committe

役 職 員

Executives

職 名 Title	氏 名 Name	職 名 Title	氏 名 Name
校長 President	内 田 誠 UCHIDA Makoto	専攻科長 Head of Advanced Engineering Course	ダヴァ ガンバット DAVAA Ganbat
教務主事（副校長） Dean of Academic Affairs (Vice-President)	村 上 知 弘 MURAKAMI Tomohiro	商船学科長 Head of The Department of Maritime Technology	秋 葉 貞 洋 AKIBA Sadahiro
学生主事（副校長） Dean of Student Affairs (Vice-President)	田 房 友 典 TABUSA Tomonori	創造工学科長 Head of The Department of Creative Technology Engineering	瀬 濤 喜 信 SETO Yoshinobu
寮務主事（副校長） Dean of Dormitory (Vice-President)	水 崎 一 良 MIZUSAKI Kazuyoshi	情報工学科長 Head of The Department of Computer Science and Engineering	徳 田 誠 TOKUDA Makoto
広報主事（副校長） Dean of Public Relations Affairs (Vice-President)	福 田 英 次 FUKUDA Hidetsugu	技術支援センター長 Director of Technical Support Center	湯 田 紀 男 YUDA Norio
副校長（企画・評価担当） Vice-President (In Charge of Planning and Evaluation)	長 井 弘 志 NAGAI Hiroyuki	情報処理教育センター長 Director of Computer Education Center	峯 脇 さやか MINEWAKI Sayaka
副校長（研究担当） Vice-President (In Charge of Research)	ダヴァ ガンバット DAVAA Ganbat	地域共同研究推進センター長 Director of Research Center for Regional Collaboration	田 房 友 典 TABUSA Tomonori
教務主事補 Assistant Dean of Academic Affairs	池 田 真 吾 IKEDA Shingo	起業家工房センター長 Director of Entrepreneurs' Workshop Center	榎 本 浩 義 ENOMOTO Hiroyoshi
	政 家 利 彦 MASAIE Toshihiko	図書館長 Director of Library	雙 知 延 行 SOCHI Nobuyuki
	峯 脇 さやか MINEWAKI Sayaka	練習船船長 Captain of College Training Ship	加 藤 博 KATO Hiroshi
学生主事補 Assistant Dean of Student Affairs	二 村 彰 FUTAMURA Akira	中期計画推進室長 Director of Middleplan Promotion Section	長 井 弘 志 NAGAI Hiroyuki
	早 川 晃 平 HAYAKAWA Kohei	学生相談室長 Director of Student Consultation Room	伊 藤 武 志 ITO Takeshi
	富 永 亮 TOMINAGA Ryo	国際交流推進室長 Director of International Affairs Section	野 口 隆 NOGUUCHI Takashi
	稲 垣 惇 史 INAGAKI Atsushi	初年次教育支援室長 Director of The First-Year Experience Education Support Section	雙 知 延 行 SOCHI Nobuyuki
	本 間 孝 拓 HONMA Takahiro	ダイバーシティ推進室長 Director of the Diversity Promotion Office	村 上 知 弘 MURAKAMI Tomohiro
寮務主事補 Assistant Dean of Dormitory	野々山 和 宏 NONOYAMA Kazuhiro	地域創生推進室長 Director of Regional Revitalization Promotion Office	長 井 弘 志 NAGAI Hiroyuki
	西 田 充 宏 NISHIDA Mitsuhiro	IR 室長 Director of Institutional Research Office	峯 脇 さやか MINEWAKI Sayaka
	松 浦 真衣子 MATSUURA Maiko	事務部長 Secretary General	渡 邊 真 一 WATANABE Shinichi
	金 田 伸 KANEDA Shin	総務課長 Director of the General Affairs Division	山 中 雄 偉 YAMANAKA Yuki
	梅 木 陽 UMEKI Yo	学生課長 Director of the Student Affairs Division	村 上 統 紀 MURAKAMI Tsunaki
広報主事補 Assistant Dean of Public Relations	中 村 真 澄 NAKAMURA Masumi		
	山 崎 慎 也 YAMASAKI Shinya		
	瀬 濤 喜 信 SETO Yoshinobu		
	岩 瀬 大 佑 IWASE Daisuke		

学級担任

Home Room Teacher

	商船学科 The Department of Maritime Technology	創造工学科 The Department of Creative Technology Engineering 電子機械工学科 The Department of Electronic Mechanical Engineering	情報工学科 The Department of Computer Science and Engineering
1 年生 1st year	松 浦 真衣子 MATSUURA Maiko	※濱 田 活 仁 HAMADA Katsuhito	八 原 瑠 里 YAHARA Ruri
2 年生 2nd year	西 田 充 宏 NISHIDA Mitsuhiro	要 弥由美 KANAME Yayumi	梅 木 陽 UMEKI Yo
3 年生 3rd year	山 崎 慎 也 YAMASAKI Shinya	長 井 弘 志 NAGAI Hiroyuki	本 間 孝 拓 HONMA Takahiro
4 年生 4th year	松 内 美 緒 MATSUUCHI Mio	大 澤 茂 治 OSAWA Shigeji	久 保 康 幸 KUBO Yasuyuki
5 年生 5th year	二 村 彰 FUTAMURA Akira	森 耕太郎 MORI Kotaro	榎 田 温 子 MASUDA Haruko
実習生 Trainee Students	二 村 彰 FUTAMURA Akira		

※令和8年度より、電子機械工学科が創造工学科に改組

(令和8年5月1日現在)
As of May 1, 2026

教職員数

Number of Staff

区分 Classification	教育職員 Teaching Staffs							事務系職員 Officials	合計 Total
	校長 President	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Research Associates	Sub-Total 合計		
現員 Present Number	1	10	23	3	10	0	47	43	90

学科及び学生定員

Departments and Authorized Students

	学 科 Department	入学定員 Authorized Number	学生総定員 Total of Students	修業年限 Required years	修得単位数 Credits of Acquisition
本科 Regular Course	商船学科 The Department of Maritime Technology	40 人	240 人	5年6月(大型練習船実習1年含む) 5 years and 6 months (including 1 year of Sea going training)	航海コース 149 単位以上 Navigation Course Over 149 Credits 機関コース 147 単位以上 Engine Course Over 147 Credits
	創造工学科 The Department of Electronic Mechanical Engineering	40	200	5 年 5 years	167 単位以上 Over 167 Credits
	情報工学科 The Department of Computer Science and Engineering	40	200	5 年 5 years	167 単位以上 Over 167 Credits
	計 Total	120	640		
専攻科 Advanced Engineering Course	海上輸送システム工学専攻 Advanced Marine Transportation Systems Engineering Course	4	8	2 年 2 years	62 単位以上 Over 62 Credits
	生産システム工学専攻 Advanced Production Systems Engineering Course	8	16	2 年 2 years	62 単位以上 Over 62 Credits
	計 Total	12	24		

名誉教授

Emeritus Professor

授与年月日 Presentation Date	氏 名 Name	退職時の職名 Official Title of Retirement	授与年月日 Presentation Date	氏 名 Name	退職時の職名 Official Title of Retirement
昭和50年4月2日 Apr. 2, 1975	久次 哲夫 HISATSUGU Tetsuo	機関学科教授 Professor of Marine Engineering Department	平成18年4月1日 Apr. 1, 2006	小川 量也 OGAWA Kazuya	情報工学科教授 Professor of The Department of Computer Science and Engineering
昭和53年4月2日 Apr. 2, 1978	本荘 幸雄 HONJO Yukio	校 長 President	平成19年2月21日 Feb. 21, 2007	西垣 和 NISHIGAKI Kazu	校 長 President
昭和55年4月2日 Apr. 2, 1980	田中 武 TANAKA Takeshi	機関学科教授 Professor of Marine Engineering Department	平成19年4月1日 Apr. 1, 2007	多田 勝 TADA Masaru	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology
昭和60年4月1日 Apr. 1, 1985	小畑 秀之 OBATA Hideyuki	機関学科教授 Professor of Marine Engineering Department	平成19年4月1日 Apr. 1, 2007	高尾 健一 TAKAO Kenichi	電子機械工学科教授 Professor of The Department of Electronic Mechanical Engineering
昭和61年4月1日 Apr. 1, 1986	上坂 太郎 KOSAKA Taro	校 長 President	平成23年4月1日 Apr. 1, 2011	田原 正信 TAHARA Masanobu	情報工学科教授 Professor of The Department of Computer Science and Engineering
昭和63年5月6日 May. 6, 1988	西本 金三 NISHIMOTO Kinzo	航海学科教授 Professor of Nautical Department	平成24年4月1日 Apr. 1, 2012	勘久保広一 KANKUBO Koichi	電子機械工学科教授 Professor of The Department of Electronic Mechanical Engineering
昭和63年5月6日 May. 6, 1988	山岡 正美 YAMAOKA Masami	航海学科教授 Professor of Nautical Department	平成24年4月1日 Apr. 1, 2012	上岡 範雄 UEOKA Norio	総合教育科教授 Professor of General Education
平成1年5月15日 May. 15, 1989	児玉 高成 KODAMA Takashige	情報工学科教授 Professor of The Department of Computer Science and Engineering	平成24年4月1日 Apr. 1, 2012	山尾 徳雄 YAMAO Tokuo	総合教育科教授 Professor of General Education
平成2年6月25日 Jun. 25, 1990	村上 貢 MURAKAMI Mitsugi	一般科目教授 Professor of General Education	平成25年4月1日 Apr. 1, 2013	鶴 秀登 TSURU Hideto	電子機械工学科教授 Professor of The Department of Electronic Mechanical Engineering
平成6年4月20日 Apr. 20, 1994	樽美 幸雄 TARUMI Yukio	校 長 President	平成26年4月1日 Apr. 1, 2014	友田 進 TOMODA Susumu	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology
平成9年5月15日 May. 15, 1997	阿部 頼之 ABE Yoriyuki	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology	平成27年4月1日 Apr. 1, 2015	濱中 俊一 HAMANAKA Shunichi	総合教育科教授 Professor of General Education
平成11年4月16日 Apr. 16, 1999	黒澤 昭 KUROSAWA Akira	校 長 President	平成29年4月1日 Apr. 1, 2017	木村 隆一 KIMURA Ryuichi	校 長 President
平成11年4月16日 Apr. 16, 1999	光岡 宏 MITSUOKA Hiroshi	電子機械工学科教授 Professor of The Department of Electronic Mechanical Engineering	平成31年4月1日 Apr. 1, 2019	上江 憲治 KAME Kenji	総合教育科教授 Professor of General Education
平成12年4月1日 Apr. 1, 2000	横井 信正 YOKOI Nobumasa	一般科目教授 Professor of General Education	令和3年4月1日 Apr. 1, 2021	多田 光男 TADA Mitsuo	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology
平成13年4月1日 Apr. 1, 2001	野村 士平 NOMURA Shihei	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology	令和3年4月1日 Apr. 1, 2021	葛田 幸一 KUZUME Koichi	情報工学科教授 Professor of The Department of Computer Science and Engineering
平成14年1月10日 Jan. 10, 2002	森田 駿樹 MORITA Toshiki	校 長 President	令和6年4月1日 Apr. 1, 2024	石田 邦光 ISHIDA Kunimitsu	校 長 President
平成15年4月1日 Apr. 1, 2003	堀 富士男 HORI Fujio	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology	令和6年4月1日 Apr. 1, 2024	高岡 俊輔 TAKAOKA Shunsuke	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology
平成16年4月1日 Apr. 1, 2004	岩堀 宏治 IWAHORI Koji	商船学科教授 Professor of The Department of Maritime Technology	令和6年4月1日 Apr. 1, 2024	藤本 隆士 FUJIMOTO Takashi	電子機械工学科教授 Professor of The Department of Electronic Mechanical Engineering
平成17年4月1日 Apr. 1, 2005	村上 健二 MURAKAMI Kenji	総合教育科教授 Professor of General Education	令和7年4月1日 Apr. 1, 2025	長尾 和彦 NAGAO Kazuhiko	情報工学科教授 Professor of The Department of Computer Science and Engineering



弓削丸実習 [Training Ship Practice]



実験実習 [Experiments and Practice]



操艇・通信 [Boatmanship and Signaling]



救命講習 [Lifesaving Training]

安定した物流は、国際経済に欠かすことのできない重要な要素である。中でも海上輸送部門が果たす役割は非常に重要である。

商船学科は120年の歴史をベースに3年生前期(9月)まで船舶運航技術者の基礎領域として単一クラスとし、後期から船長を目指す「航海コース」と機関長を目指す「機関コース」にわかれ、海事総合科学技術を学び、海上労働の国際化、企業の国際化及び省エネルギーや環境問題にも対応できる海上輸送システムのスペシャリストの養成を目的としている。

さらに、実習課程は2年生時に1ヶ月、4年生時に5ヶ月、5年生実習時に6ヶ月の海技教育機構での練習船実習をおこない、世界各地を回る洋上実習で見聞を広め、理論と技術を兼ね備えた人材を育成する技術者教育を行う。

これらの全課程を修了した者には、三級海技士(航海)、または三級海技士(機関)の海技免許に対する筆記試験が免除される。また、一級海上特殊無線技士の免許も取得できる。

Stable logistics is one of the most indispensable factors for the global economy, among which, marine transportation, in particular, plays a pivotal role.

The Department of Maritime Technology has 120 years history. Based on the extensive background, all students will learn in a general course of ship navigation engineer for the first two and a half years. From the latter term of the 3rd year, they will be divided into two specialized courses: "Navigation" to become a captain and "Engine" to become a chief engineer. They will learn general marine science and technology to become specialists of marine transportation system that has to cover globalization of maritime labor and business operations, energy-saving and environmental aspects.

Besides, for a month in the 2nd year, five months in the 4th year and six months in the 6th year, the students will join the training ship owned by the Japan agency of Maritime Education and Training for Seafarers(JMETS), travel around the world to experience the actual maritime operations, broaden their horizons and grow up to be maritime specialists with the knowledge and skills.

Those who complete all the programs are exempt from the written examination of the 3rd-grade marine officer (navigation) and/or 3rd-grade marine engineer officer (engine). They can also obtain the license of the special maritime radio engineer.



弓削丸実習 [Training Ship Practice]

専門科目教育課程表（商船学科）

Curriculum Subjects (The Department of Maritime Technology)

授業科目 Subjects		単位数 Credits	学年別配当 Credits by Grade					備考 Note
			1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	
必修科目 Required Subjects	応用数学 Applied Mathematics	2					2	
	基礎力学 Mechanics	1		1				
	材料力学 1 Material Mechanics 1	1			1			
	熱力学 Thermodynamics	1			1			
	水力学 Hydraulics	2					2	
	情報処理 1 Information Processing 1	2	2					
	情報処理 2 Information Processing 2	1		1				
	電磁気学 Electromagnetics	2		2				
	電気工学 1 Electrical Engineering 1	1			1			
	電気工学 2 Electrical Engineering 2	1				1		
	電子工学 1 Electronics 1	2				2		
	計測・制御 1 Instrument and Control Engineering 1	2			2			
	商船学概論 Introduction to Maritime Technology	2	2					
	船舶工学 1 Ship Engineering 1	1			1			
	船舶工学 2 Ship Engineering 2	1				1		
	船舶安全工学 Marine Safety Engineering	2					2	
	海事法規 1 Maritime Law 1	1			1			
	海事法規 2 Maritime Law 2	1					1	
	通信工学 Communication Engineering	1		1				
	通信法規 Communication Law	1		1				
	専門英語 1 Technical English 1	1		1				
	専門英語 2 Technical English 2	1					1	
	操縦・通信 Boatmanship and Signaling	2	2					
	実験実習 1 Experiments and Practice 1	2		2				
	実験実習 2 Experiments and Practice 2	2			2			
	校内練習船実習 1 College Training Ship 1	1	1					
	校内練習船実習 2 College Training Ship 2	1		1				
	校内練習船実習 3 College Training Ship 3	1			1			
	校内練習船実習 4 College Training Ship 4	1				1		
	校内練習船実習 5 College Training Ship 5	1					1	
	小計 Sub-total	41	7	10	10	5	8	
	航海学 1 Navigation 1	1			1			
	航海学 2 Navigation 2	1				1		
	航海学 3 Navigation 3	1					1	
	航海計測学 1 Nautical Instrument 1	1			1			
	航海計測学 2 Nautical Instrument 2	1				1		
	天文・電波測位学 1 Astronomy and Radio Positioning Sciences 1	1			1			
	天文・電波測位学 2 Astronomy and Radio Positioning Sciences 2	1				1		
	船体運動力学 1 Ship-movement Dynamics 1	1			1			
	船体運動力学 2 Ship-movement Dynamics 2	1				1		
	運送管理学 1 Shipping Management 1	1			1			
	運送管理学 2 Shipping Management 2	1				1		
	運送管理学 3 Shipping Management 3	1					1	
	海上交通法 1 Marine Transport Law 1	1			1			
	海上交通法 2 Marine Transport Law 2	1				1		

必修科目	航海コース	海上交通法 3 Marine Transport Law 3	1					1			
		海事法規 3 Maritime Law 3	1					1			
		海上交通工学 Marine Transport Engineering	1					1			
		海洋気象学 Marine Meteorology	1					1			
		海洋環境論 Ocean Environment Theory	1					1			
		海運経済論 Shipping Economics	2					2			
		航海学演習 Navigation Practice	2					2			
		海技演習 1 Maritime Practice 1	1				1				
		海技演習 2 Maritime Practice 2	1					1			
		航海学実験 Navigation Experiments	3					3			
卒業研究 Graduation Research	4					4					
必修科目	機械コース	小計 Sub-total	32			6	7	19			
		材料工学 1 Materials Science and Engineering 1	1				1				
		材料工学 2 Materials Science and Engineering 2	1					1			
		熱工学 1 Thermodynamics 1	1			1					
		熱工学 2 Thermodynamics 2	1				1				
		材料学 Materials Science	1					1			
		電気工学 3 Electrical Engineering 3	1				1				
		電気工学 4 Electrical Engineering 4	1					1			
		計測・制御 2 Instrument and Control Engineering 2	1				1				
		計測・制御 3 Instrument and Control Engineering 3	1					1			
必修科目	造船コース	電子工学 2 Electronics 2	1					1			
		内燃機関学 1 Internal Combustion Engine Science 1	1			1					
		内燃機関学 2 Internal Combustion Engine Science 2	1				1				
		内燃機関学 3 Internal Combustion Engine Science 3	2					2			
		蒸気工学 1 Steam Engineering 1	1			1					
		蒸気工学 2 Steam Engineering 2	1				1				
		設計製図 Design and Drawing	2					2			
		流体機械工学 Fluids Mechanical Engineering	1			1					
		潤滑工学 Lubrication Engineering	1			1					
		推進論 Propulsion	1			1					
選択科目	共通科目	機関学演習 Marine Engineering Practice	2					2			
		工学実験 Experiments and Practice	3					3			
		卒業研究 Graduation Research	4					4			
		小計 Sub-total	30			6	6	18			
		商船学セミナー Maritime Technology Seminar	1					1			
		地域創生演習 Regional Revitalization Practice	1					1			
		小計 Sub-total	2					2			
		専門科目開設単位数計 Total of Technical Subjects		航海コース	75	7	10	16	12	29	73 単位以上修得
				機関コース	73	7	10	16	11	28	71 単位以上修得
		一般科目との開設単位数計 Total		航海コース	151	33	32	33	17	35	149 単位以上修得
		機関コース	149	33	32	33	16	34	147 単位以上修得		
大型練習船実習 Practice on Training Ship by Institute of Nautical Training			上記単位数以外で12月実施する 12 months								

(注) 大型練習船実習12月のうち、卒業年次の6月については、やむを得ない事由がある場合は、別に定める。

令和8年度以降入学者から適用

主な実験・実習設備（商船学科）

Main Experimental, Practical Equipment (The Department of Maritime Technology)

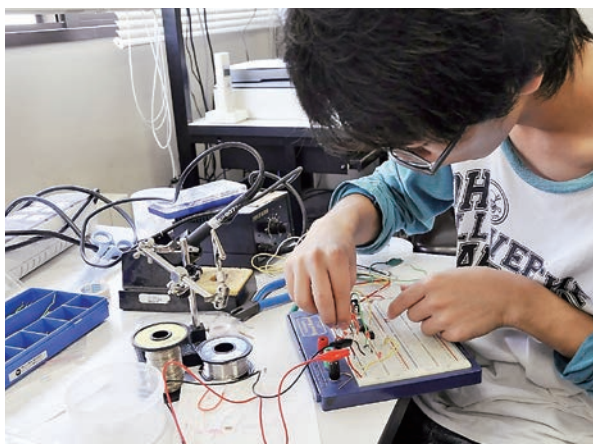
室 名 Room Name	主 な 設 備 Main Equipment
操船シミュレータ室 Ship Handling Simulator	操船シミュレータ装置 Ship Handling Simulator Equipment
ECDIS 講習室 Electronic Chart Display and Information System Laboratory	電子海図表示シミュレータ装置 Electronic Chart Display and Information System Simulator Equipment
総合航海計器室 Overall Nautical Instrument Laboratory	スペリー式及び北辰式ジャイロコンパスとオートパイロット、自差修正実習装置等航海計器 Sperry Type and Hokusin Type Gyrocompass and Auto-Pilot, Deviation Correcting Practice Device
レーダーシミュレータ室 Radar Simulator	レーダーシミュレータ装置、ARPA 装置 Radar Simulator equipment, Automatic Radar Plotting Aids
航海学演習室、多目的室 Navigation Exercise Room, Multipurpose Room	灯台模型、主要航路の海図及び水路書誌、海峡模型 Lighthouse Model, Chart of Main Sea Route and Hydrography Map, Strait Model
荒天航泊実験室 Rough Sea Laboratory	水平循環型回流水槽、造波装置付き密閉型洞水槽、錨把駐力試験水槽、模型ロープ引張り試験機 Horizontal Circulation Tank, Wave-making Resistance Closed Tank, Anchor Holding Power Test Tank, Model Testing Device of Pulling Rope
運用学実験室 Shipping Management Laboratory	タンカー荷役シミュレータ装置、貨物積付水槽 Tanker Loading Simulator, Cargo loading Test tank
防火実験室 Fire-Prevention Laboratory	各種火災探知装置、燃焼実験装置、静電気測定器 Various Fire Alarm Device, Combustion Experimental Device, Static Electricity Measuring Device
気象・環境工学実験室 Meteorological and Environmental Engineering Laboratory	総合気象観測装置 Meteorological Observation Equipment
補機実験室、先端工作工房 Auxiliary Machine Laboratory, Advanced Workshop	空調実験装置、冷凍空調トレーニングユニット Air-Conditioning Experimental Device, Refrigerator-Air-Conditioning Training Unite
内燃機関総合実験室 Internal Combustion Engine Laboratory	ディーゼルエンジン、プログラム制御装置、燃焼解析装置 Diesel Engine, Program Controlled Device, Combustion Analysis Device
熱流体実験室 Heat and Flow Laboratory	フーリエ変換赤外分光光度計、光学用高圧装置、35mW ヘリウムネオンレーザー Fourier Transform Infrared Spectroscopy(FFIR), Optical High Pressure Cell, 35mW Helium Neon Laser
ボイラー室（実験） Boiler Laboratory	蒸気ボイラー実験装置 Steam Boiler Experimental Device
蒸気機関実験室 Steam Engine Laboratory	蒸気タービン実験装置 Steam Turbine Experimental Device
ガスタービン実験室 Gas Turbine Laboratory	船用ガスタービン実験装置 Marine Gas Turbine Experimental Device
材料力学実験室 Material Dynamics Laboratory	応力凍結装置、光弾性実験装置、万能材料試験機 Stress-Freeze Device, Photo-Elasticity Experimental Device, Almighty-Material Dynamics Experimental Device
材料実験室 Material Testing Laboratory	X 線回折装置、イオンクロマトグラフ X-Ray Diffraction Device, Ion-Chromatograph
自動制御実験室 Automatic Control System Laboratory	自動制御モデルプラント、半導体回路、パルス実験装置 Automatic Control Model Plant, Semi-Conductor Circuit Device, Pulse Experimental Device
電気工学実験室 Electrical Engineering Laboratory	定電圧自励装置、M-G 自動制御装置、SCR 回路実験装置、発電機並列運転実習盤 Self-Voltage Stabilizer Device, M-G Automatic Controller Device, SCR Circuit Device, Generator Parallel Running Training Device



Ene-1 GP 大会の表彰式 [Awards Ceremony Ene-1 GP]



高専ロボコン [ROBOCON KOSEN]



卒業研究 [Graduation Research]



卒業研究発表 [Presentation of Graduation Research]

創造工学科は、機械工学、電気・電子工学、制御工学、情報工学を融合的に学ぶ学科である。

近年の製品や生産設備は、機械要素に加え、コンピュータ、センサ、ネットワーク、ソフトウェア等を組み込んだ高度なシステムとして構成されており、技術者には複数分野の知識を横断的に活用する力が求められている。

本学科では、基礎力学、材料力学、機械工作法、機械設計等の機械系科目に加え、電気・電子系及び制御系の科目を配置する。また、情報リテラシー、情報処理、データサイエンス、アルゴリズム等の情報系科目を学修し、機械、電気・電子、制御、情報の知識を総合的に活用できる能力を養う。さらに、実験・実習や卒業研究を通じて、機械装置や製品をシステムとして設計・製作、管理・運用する実践力を身に付ける。

これにより、ものづくりの現場における省力化、高度化、デジタル化に対応し、新たな価値を創出する実践的技術者の育成を目的とする。

The Department of Creative Technology Engineering provides interdisciplinary education across the fields of mechanical engineering, electrical and electronic engineering, control engineering, and information engineering. In recent years, products and industrial equipment have become highly sophisticated systems that incorporate not only mechanical elements but also computers, sensors, networks, and software. Engineers are therefore required to apply knowledge and technologies across multiple fields.

The department offers courses in mechanical engineering, including engineering mechanics, strength of materials, manufacturing processes, and machine design, as well as subjects in electrical and electronic engineering and control engineering. In addition, students study information-related subjects such as information literacy, information processing, data science, and algorithms, thereby developing the ability to utilize knowledge comprehensively across the fields of mechanics, electronics, control, and information technology. Through experiments, practical training, and graduation research, students also acquire practical skills in designing, manufacturing, managing, and operating machinery and products as integrated systems.

The department aims to cultivate practical engineers who can contribute to the advancement, automation, and digital transformation of manufacturing while creating new value in society.



実習風景 [Students in Training Workshop]

専門科目教育課程表（創造工学科）

Curriculum Subjects (The Department of Creative Technology Engineering)

授 業 科 目 Subjects	単 位 数 Credits	学 年 別 配 当 Credits by Grade					備 考 Note
		1 年 1st year	2 年 2nd year	3 年 3rd year	4 年 4th year	5 年 5th year	
応 用 数 学 1 Applied Mathematics 1	2				2		
応 用 数 学 2 Applied Mathematics 2	2				2		
応 用 物 理 Applied Physics	2				2		
設 計 製 図 1 Design and Drawing 1	2	2					
設 計 製 図 2 Design and Drawing 2	2		2				
設 計 製 図 3 Design and Drawing 3	2			2			
機 械 設 計 1 Machine Design 1	2				2		
機 械 設 計 2 Machine Design 2	2					2	
基 礎 力 学 Mechanics	2			2			
材 料 力 学 Material Mechanics	2			2			
振 動 工 学 Mechanical Vibrations	2					2	
流 体 力 学 1 Hydrodynamics 1	2				2		
流 体 力 学 2 Hydrodynamics 2	2					2	
熱 力 学 1 Thermodynamics 1	2				2		
熱 力 学 2 Thermodynamics 2	2					2	
エネルギー工学概論 Introduction to Energy Engineering	2	2					
機 械 工 作 法 Manufacturing Technology	2			2			
材 料 学 Materials Science	2				2		
情 報 リテラシー Information Literacy	1	1					
データサイエンス基礎 Basic Data Science	1	1					
情 報 処 理 1 Information Processing 1	2		2				
情 報 処 理 2 Information Processing 2	2			2			
情 報 処 理 3 Information Processing 3	2				2		
情 報 処 理 4 Information Processing 4	1					1	
データサイエンス応用 Applied Data Science	1					1	
ア ル ゴ リ ズ ム Algorithm	1				1		
ネ ッ ト ワ ー ク 1 Network 1	1					1	
プロジェクト管理 Project Management	1				1		
情報セキュリティ1 Information Security 1	1					1	
計 測 工 学 Instrumentation Engineering	2			2			
シーケンス制御 Sequence Control	2		2				
制 御 工 学 1 Control Engineering 1	2				2		
制 御 工 学 2 Control Engineering 2	2					2	
ロボットシステム工学 Robot System Engineering	2					2	

必修科目 Required Subjects	電 磁 気 学 Electromagnetics	2		2				
	電 気 回 路 Electric Circuits	2				2		
	電 子 回 路 Electronic Circuits	2					2	
	ものづくり実習1 Fabrication Practice 1	2	2					
	ものづくり実習2 Fabrication Practice 2	2		2				
	ものづくり実習3 Fabrication Practice 3	2			2			
	工 学 実 験 1 Engineering Experiments 1	4				4		
	工 学 実 験 2 Engineering Experiments 2	4					4	
	卒 業 研 究 Graduation Research	10						10
	必修科目単位数計 Sub-total	90	8	10	14	26	32	
選択科目 Elective Subjects	電 気 電 子 機 器 Electrical Electronic Apparatus	2					2	
	特 別 講 義 1 Special Lecture 1	1				1		
	特 別 講 義 2 Special Lecture 2	1				1		
	特 別 講 義 3 Special Lecture 3	1					1	
	特 別 講 義 4 Special Lecture 4	1					1	
	地域創生演習1 Regional Revitalization Practice 1	1			1			
	地域創生演習2 Regional Revitalization Practice 2	1					1	
	ハードウェア設計 Hardware Design	1				1		※
	デ ー タ ベ ー ス Database	2				2		※
	メディア情報処理 Media Information Processing	2				2		※
専門科目 Specialized Subjects	人 工 知 能 1 Artificial Intelligence 1	2				2		※
	ネ ッ ト ワ ー ク 2 Network 2	2				2		※
	情報セキュリティ2 Information Security 2	2				2		※
	通 信 シ ス テ ム 1 Telecommunication System Science 1	2				2		※
	通 信 シ ス テ ム 2 Telecommunication System Science 2	2				2		※
	ウ ェ ブ デ ザ イ ン Web Design	2				2		※
	人 工 知 能 2 Artificial Intelligence 2	2				2		※
	人 工 知 能 3 Artificial Intelligence 3	2				2		※
	選択科目開設単位数計 Sub-total	8			1	2	5	
	専門科目開設単位数計 Specialized Subjects Credits	98	8	10	15	28	37	90単位以上修得
一般科目との開設単位数計 Total		175	30	29	32	38	46	167単位以上修得

※の科目は開設単位数計に含まず、進級要件及び卒業単位数に算入しない。
履修した場合は、当該学年に単位数を加算する。

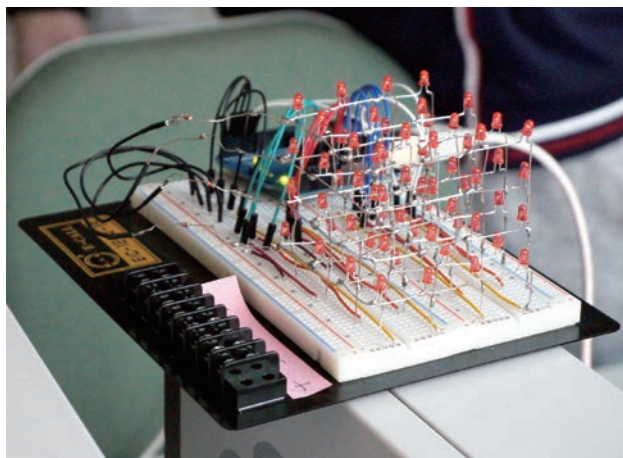
令和8年度以降入学者から適用



実験 [Experiment]



演習風景 [Students in Tech Class]



創造性実験の作品 [Work of the originality experiment]



プログラミングコンテスト [Programming Contest]

マルチメディアやネットワークシステムに代表されるように、今や情報技術（IT）やネットワーク技術は現代社会において必要不可欠なものになっており、コンピュータとその利用に関する専門知識や技術を有する人材のニーズが高まっている。

情報工学科では、ネットワーク、プログラミング、情報処理、論理回路、人工知能、データサイエンス、情報セキュリティなどのコンピュータ技術とその応用分野の教育を行っている。また、情報工学実験を通じてこれらの科目を実践的に理解習得させ、高度情報化社会に即戦力として適応する情報技術者を育成することを目的としている。

特にプログラミングコンテストに代表されるプロジェクト型演習の取り組みは、情報処理学会等で優秀教育賞を受賞するなど高い評価を得ている。平成21年には情報工学科学生がものづくり日本大賞内閣総理大臣賞、平成28年度には、プログラミングコンテスト競技部門で優勝、令和3年度には、プログラミングコンテスト競技部門で優勝、令和4年度には、プログラミングコンテスト競技部門で準優勝している。

本学科の学生は、卒業後、コンピュータ産業、電気・電子機器産業、ソフトウェア、情報・通信産業、機械・機器サービス産業、流通・輸送関連産業などの現代社会のあらゆる分野で活躍している。

Information technology (IT) and network technology have become indispensable in today's society, and there is a growing need for personnel with expertise and skills in computers.

The Department of Computer Science and Engineering provides education in computer technology and its applications, including networking, programming, information processing, logic circuits, artificial intelligence, data science, and information security. In addition, The Department of Computer Science and Engineering aims to foster practical understanding and mastery of these subjects through information engineering experiments, and to nurture information technology engineers who can immediately adapt to the advanced information society.

We are particularly proud of the project-type practices such as participating in a programming contest as we won the outstanding education award of the Information Processing Society of Japan. Our students won the Prime Minister's Award of the Monodzukuri Nippon Grand Award in 2009. In 2016 our students won the first prize in the Competition Section of the Programming Contest. In 2021 our students won the first prize in the Competition Section of the Programming Contest. In 2022 our students won the second prize in the Competition Section of the Programming Contest.

The graduates of this department have been working actively in a wider variety of fields such as computer industry, electric/electronic industry, software, information and communication industry, machine and mechanical services, distribution and logistics.

専門科目教育課程表（情報工学科）

Curriculum Subjects (The Department of Computer Science and Engineering)

授 業 科 目 Subjects		単位数 Credits	学年別配当 Credits by Grade					備考 Note
			1 年 1st year	2 年 2nd year	3 年 3rd year	4 年 4th year	5 年 5th year	
必修科目 Required Subjects	情報リテラシー Information Literacy	2	2					
	データサイエンス基礎 Basic Data Science	2	2					
	論 理 回 路 1 Logical Circuit 1	1		1				
	論 理 回 路 2 Logical Circuit 2	2	1	1				
	アルゴリズム Algorithm	1			1			
	システム工学 System Engineering	2			2			
	ネットワーク 1 Network 1	1		1				
	応 用 数 学 1 Applied Mathematics 1	2				2		
	応 用 数 学 2 Applied Mathematics 2	2				2		
	応 用 数 学 3 Applied Mathematics 3	2				2		
	応 用 物 理 Applied Physics	2					2	
	ハードウェア設計 Hardware Design	1			1			
	OS	2				2		
	情報セキュリティ 1 Information Security 1	2				2		
	データベース Database	2				2		
	メディア情報処理 Media Information Processing	2			2			
	技術者倫理 Engineering Ethics	2					2	
	離 散 数 学 Discrete Mathematics	2					2	
	人 工 知 能 1 Artificial Intelligence 1	2				2		
	データサイエンス応用 Applied Data Science	2					2	
	プログラミング 1 Programming 1	4		4				
	プログラミング 2 Programming 2	3			3			
	キャリア研修 Career Training	1			1			
	情報工学実験 1 Information Engineering Experiments 1	3	3					
	情報工学実験 2 Information Engineering Experiments 2	1	1					
	情報工学実験 3 Information Engineering Experiments 3	2		2				
	情報工学実験 4 Information Engineering Experiments 4	2		2				
	情報工学実験 5 Information Engineering Experiments 5	2			2			
	情報工学実験 6 Information Engineering Experiments 6	2			2			
	情報工学実験 7 Information Engineering Experiments 7	2				2		
	情報工学実験 8 Information Engineering Experiments 8	2				2		
	卒業研究 Graduation Research	12					12	
	小 計 Sub-total	71	8	11	14	18	20	
知能情報コース Intelligent Information Course	プロジェクト管理 Project Management	2				2		
	ウェブデザイン Web Design	2				2		
	人 工 知 能 2 Artificial Intelligence 2	2					2	
	人 工 知 能 3 Artificial Intelligence 3	2					2	
	小 計 Sub-total	8				4	4	

必修科目 Required Subjects	ネットワーク 2 Network 2	2				2		
	情報セキュリティ 2 Information Security 2	2					2	
	通信システム 1 Telecommunication System Science 1	2				2		
	通信システム 2 Telecommunication System Science 2	2					2	
	小 計 Sub-total	8				4	4	
必修科目単位数計 Sub-total	知能情報コース Intelligent Information Course	79	8	11	14	22	24	
	情報通信コース Information and Communications Course	79	8	11	14	22	24	
共通科目 Common Subjects	電気電子工学 Electrical and Electronic Engineering	2				2		
	C A D C A D	2				2		
	地域創生演習 1 Regional Revitalization Practice 1	1				1		
	地域創生演習 2 Regional Revitalization Practice 2	1					1	
	キャリア設計 1 Career Design 1	1	1					
	キャリア設計 2 Career Design 2	1		1				
	キャリア設計 3 Career Design 3	1			1			
	キャリア設計 4 Career Design 4	1				1		
	キャリア設計 5 Career Design 5	1					1	
	インターンシップ Internship	1				1		
	機 械 設 計 Machine Design	2					2	※
	熱 力 学 Thermodynamics	2					2	※
	材 料 学 Materials Science	2				2		※
	ロボットシステム工学 Robot System Engineering	2					2	※
	小 計 Sub-total	12	1	1	2	6	2	
選択科目 Elective Subjects	ネットワーク 2 Network 2	2				2		
	情報セキュリティ 2 Information Security 2	2					2	
	通信システム 1 Telecommunication System Science 1	2				2		
	通信システム 2 Telecommunication System Science 2	2					2	
	小 計 Sub-total	8				4	4	
情報通信コース Information and Communications Course	プロジェクト管理 Project Management	2				2		
	ウェブデザイン Web Design	2				2		
	人 工 知 能 2 Artificial Intelligence 2	2					2	
	人 工 知 能 3 Artificial Intelligence 3	2					2	
	小 計 Sub-total	8				4	4	
選択科目単位数計 Sub-total	知能情報コース Intelligent Information Course	20	1	1	2	10	6	11 単位以上修得
	情報通信コース Information and Communications Course	20	1	1	2	10	6	11 単位以上修得
専門科目開設単位数計 Specialized Subjects Credits	知能情報コース Intelligent Information Course	99	9	12	16	32	30	90 単位以上修得
	情報通信コース Information and Communications Course	99	9	12	16	32	30	90 単位以上修得
一般科目との開設単位数計 Total	知能情報コース Intelligent Information Course	176	31	31	33	42	39	167 単位以上修得
	情報通信コース Information and Communications Course	176	31	31	33	42	39	167 単位以上修得

4 年終了時までには 8 単位以上選択科目を修得すること。

※の科目は開設単位数計に含まず、進級要件及び卒業要件に算入しない。履修した場合は、当該学年に単位数を加算する。

令和8年度以降入学者から適用

情報工学科

一般教育課程では、現代社会に通用する技術者育成の基盤として幅広い基礎・教養科目の教育を担っている。人文社会、自然科学、語学、保健体育など多岐にわたる分野の授業を通して、柔軟な思考力や、高い倫理観、国際性、未来に目を向けた創造力などを養っていくことを目的としている。

専門科目との関連から、5年間一貫教育のなかで、くさび型にカリキュラムが編成されている。学習内容は、基礎学力の定着から専門分野に対応できる応用力・実践力養成へと段階的に組まれている。

学生一人ひとりの習熟度に応じた教育のために、スタッフがオフィスアワーを設け、きめ細やかな指導にあたっている。また、語学（英語）に関しては少人数制も導入されており、より充実した授業が展開されている。

高い専門性だけではなく豊かな人間性を備えた技術者を育成するために、スタッフ間で連携をはかりながら教育に臨んでいる。

General Education provides knowledge base in wide variety of fields required for the engineers of the current world, which includes humanities, sociologies, natural sciences, languages and physical education. These subjects will help young people to acquire sound ethics, sense of internationalism and flexible ways of thinking as well as creativities toward the future.

During five-year school curriculum, general subjects and specialized subjects are taught complementary; students are first to acquire basic knowledge, then apply them gradually to specialized subjects and put the learning into practice.

In order to tailor for the level of individual students, school staff set the office hour to take time for attentive guidance. Also, regarding language (English) education, small class sizes have been introduced, and more enriching lessons are being conducted.

All the staff communicates mutually to nurture highly-specialized engineers with magnanimous human nature.



国語 [Japanese]



化学 [Chemistry]



体育 [Physical Education]



数学 [Mathematics]

一般科目教育課程表（商船学科）

Curriculum Subjects (The Department of Maritime Technology)

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Credits by Grade					備 考 Note
		1 年 1st year	2 年 2nd year	3 年 3rd year	4 年 4th year	5 年 5th year	
国 語 1 Japanese 1	2	2					
国 語 2 Japanese 2	2	2					
国 語 3 Japanese 3	2		2				
国 語 4 Japanese 4	2			2			
国 語 5 Japanese 5	1				1		
公 民 1 Civics 1	2			2			
公 民 2 Civics 2	2			2			
地 歴 1 Geography and History 1	2	2					
地 歴 2 Geography and History 2	2		2				
法 学 Law	2					2	
アースサイエンス Earth Science	2	2					
生物概論 Introduction to Biology	1				1		
数 学 1 Mathematics 1	4	4					
数 学 2 Mathematics 2	2	2					
数 学 3 Mathematics 3	4		4				
数 学 4 Mathematics 4	2		2				
数 学 5 Mathematics 5	4			4			
数 学 6 Mathematics 6	2			2			
化 学 1 Chemistry 1	2	2					
化 学 2 Chemistry 2	2		2				
物 理 1 Physics 1	2	2					
物 理 2 Physics 2	2		2				
保 健 Health	1		1				
体 育 1 Physical Education 1	2	2					
体 育 2 Physical Education 2	2		2				
体 育 3 Physical Education 3	2			2			
体 育 4 Physical Education 4	1				1		
体 育 5 Physical Education 5	2					2	
総合英語 1 General English 1	2	2					
総合英語 2 General English 2	2		2				
総合英語 3 General English 3	2			2			
総合英語 4 General English 4	1				1		
英語表現 1 English Expression 1	3	3					
英語表現 2 English Expression 2	2		2				
基礎英語 1 Basic English 1	1	1					
基礎英語 2 Basic English 2	1		1				
基礎英語 3 Basic English 3	1			1			
英語講読 1 English Reading 1	1				1		
英語講読 2 English Reading 2	2					2	
科目単位数計 Total	76	26	22	17	5	6	76単位以上 修 得

特別活動：1～3年において毎週1単位時間（標準50分）以上実施する。

※令和8年度以降入学者から適用

一般科目教育課程表（創造工学科・情報工学科共通）

Curriculum Subjects (The Department of Creative Technology Engineering・The Department of Computer Science and Engineering)

授業科目 Subjects	単位数 Credits	学年別配当 Credits by Grade					備 考 Note
		1 年 1st year	2 年 2nd year	3 年 3rd year	4 年 4th year	5 年 5th year	
国 語 1 Japanese 1	2	2					
国 語 2 Japanese 2	2	2					
国 語 3 Japanese 3	2		2				
国 語 4 Japanese 4	2			2			
国 語 5 Japanese 5	1				1		
公 民 1 Civics 1	2			2			
公 民 2 Civics 2	2			2			
地 歴 1 Geography and History 1	2				2		
地 歴 2 Geography and History 2	2					2	
法 学 Law	2					2	
アースサイエンス Earth Science	2				2		
生物概論 Introduction to Biology	1					1	
数 学 1 Mathematics 1	4	4					
数 学 2 Mathematics 2	2	2					
数 学 3 Mathematics 3	4		4				
数 学 4 Mathematics 4	2		2				
数 学 5 Mathematics 5	4			4			
数 学 6 Mathematics 6	2			2			
化 学 1 Chemistry 1	2	2					
化 学 2 Chemistry 2	2		2				
物 理 1 Physics 1	2	2					
物 理 2 Physics 2	2		2				
体 育 1 Physical Education 1	2	2					
体 育 2 Physical Education 2	2		2				
体 育 3 Physical Education 3	2			2			
体 育 4 Physical Education 4	2				2		
体 育 5 Physical Education 5	2					2	
総合英語 1 General English 1	2	2					
総合英語 2 General English 2	2		2				
総合英語 3 General English 3	2			2			
総合英語 4 General English 4	2				2		
英語表現 1 English Expression 1	3	3					
英語表現 2 English Expression 2	2		2				
基礎英語 1 Basic English 1	1	1					
基礎英語 2 Basic English 2	1		1				
基礎英語 3 Basic English 3	1			1			
英語講読 1 English Reading 1	1				1		
英語講読 2 English Reading 2	2					2	
科目単位数計 Total	77	22	19	17	10	9	77単位以上 修 得

特別活動：1～3年において毎週1単位時間（標準50分）以上実施する。

※令和8年度以降入学者から適用

主な実験・実習設備（創造工学科）

Main Experimental, Practical Equipment (The Department of Creative Technology Engineering)

室 名 Room Name	主 な 設 備 Main Equipment
応用物理実験室 Applied Physics Laboratory	ダイナミック超微小硬度計, 走査電子顕微鏡, 3D プリンタ Micro-Load Hardness Tester, SEM, 3D Printer
機械学実験室 Mechanical Laboratory	木質バイオマスガス化システム Woody Biomass Gasification System
機械工作総合実験室 Machine Tools Laboratory	実践教育用 C N C 旋盤, 横形マシニングセンター Computerized Numerically Controlled Lathe, Machining Center (Horizontal Type)
計算機システム実験室 Computer System Laboratory	数値解析用計算機 Personal Computers for Numerical Analysis
弾塑性工学実験室 Elasto-plastic Engineering Laboratory	レーザープログラミング加工機, 精密万能材料試験機, N C 工作機プログラミングシステム LASER Programming Machine, Precision universal material testing machine, NC Machining Programming System
電気基礎実験室 Basic Electric Laboratory	論理回路実習装置, ラップ盤 Logical Circuit Apparatus, Lapping Machine
電子実験室 Electronics Laboratory	プリント基板加工システム Prototyping Printed Board Maker

主な実験・実習設備（情報工学科）

Main Experimental Practical Equipment (The Department of Computer Science and Engineering)

室 名 Room Name	主 な 設 備 Main Equipment
演習回路実験室 Exercise Circuit Laboratory	基板加工機, 3D プリンタ, NC フライス加工機, 論理回路実習装置, Board Processing Machine, 3D Printer, NC Milling Machine, Logical Circuit Apparatus, デジタルオシロスコープ, ファンクションジェネレータ, 電子回路設計 CAD Digital Oscilloscope, Function Generator, Electronic Circuit Design CAD
情報伝達実験室 Signal Processing Laboratory	ロジックアナライザー, F P G A 開発装置, プロッター Logic Analyzer, FPGA Equipment for Development, Plotter
画像処理実験室 Image Processing Laboratory	高速度カメラ, 撮影スタジオ, ビデオ画像編集装置 High Speed Camera, Video Studio, Video Image Editing Device
知能制御実験室 Intelligent Control Laboratory	自律型マシン用 AI コンピュータ, 組み込み系小型コンピュータ AI Computer for Autonomous Machines, Small Embedded Computers

主な実験・実習設備（一般教育）

Main Experimental, Practical Equipment (General Education)

室 名 Room Name	主 な 設 備 Main Equipment
物理実験室 Physics Laboratory	シャイプ式ウェーブ・マシン, 電子の比電荷測定器, オプト実験シリーズ, Shive's Wave Machine, e/m Measuring Apparatus, Optical Experiment Series, 原子力安全教育設備 Apparatus of Nuclear Safety Education
化学実験室 Chemistry Laboratory	純水製造装置, ドラフトチャンバー, ガスクロマトグラフィー, Water Purification Systems, Fume Chamber, Gas Chromatography, オートクレーブ Autoclave

海上輸送システム工学専攻（航海系・機関系）と生産システム工学専攻（機械系・情報系）からなる。2専攻とも、実際のシステムの運用・管理や開発能力、「ものづくり」「ものづくり」に必要な基礎理論の応用力などを身につけた技術者の育成を目標としている。

海上輸送システム工学専攻は、グローバル化している総合物流システムの中の、海上輸送システムに対応できる運航管理技術者と船用機関システム管理技術者、さらに船舶運航システム管理技術をベースに、海洋環境保全技術を踏まえた海事関連技術分野にも対応できる多種多様な関連技術を有する技術者の育成を目指している。

生産システム工学専攻は、技術者教育の基本としてきた「ものづくり」をさらに発展させ、ローテクからハイテクまでの各種テーマについて基本原理だけでなく、ソフトウェアエンジニアリングや「ものづくり」関連の機械的及び電気的システム運用なども精深に教授し、柔軟な応用力を身につけさせる。また、創造工学科と情報工学科を融合させることで、人工知能や画像処理などのIT化による高知能・高精度化された「ものづくり」に対応できる技術者の育成を目指している。

これらの課程の修了後、大学改革支援・学位授与機構への申請により、学士（商船学または工学）の学位が授与される。

Advanced Engineering Course is comprised of Marine Transportation System Engineering (navigation/engineering) and Production System Engineering (machine/information). Both majors aim to cultivate engineers who have practical skill and experience in the operation, management, and development of actual systems, as well as the applied knowledge of fundamental theories necessary for "transporting" and "manufacturing".

The programs of the advanced marine transportation system engineering are based on the requirements for the navigation control engineer, marine system engineer, and maritime navigation system engineer to work for a variety of general logistic systems in the global business circumstances. The purpose is to provide multifaceted skills and abilities to tackle with maritime-related engineering field including maritime environmental preservation technologies.

The programs of the advanced production system engineering teach basics of "manufacturing" with so-called both low-tech and high-tech. The curriculum covers not only basic principles but also software related, mechanical and electric system related subjects to nurture flexible abilities in the real settings. By integrating electronic mechanical engineering course and information engineering course, we are proud of providing various skills and know-how of artificial intelligence and advanced image processing for the future engineers to deal with the advanced AI and IT production.

Those who complete the curriculums are awarded a bachelor degree (merchant vessel/engineering) by applying to National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education.



特別研究審査発表会
[Presentation Meeting for Advanced Engineering Course Research]



PCルームでの講義 [Lecture in the PC Room]



実験風景 [Experiment Scene]

専攻科 Advanced Engineering Course

海上輸送システム工学専攻

Advanced Marine Transportation Systems Engineering Course

授 業 科 目 Subjects		単位数 Credits	学年別配当 Credits by Grade			
			1 年 1st year		2 年 2nd year	
			前期 1st	後期 2nd	前期 1st	後期 2nd
専 門 基 礎 科 目	文 書 表 現 論 Document Representation Theory	2	2			
	数 理 工 学 Mathematical Engineering	2	2			
	物 理 学 特 論 Theory of Physics	2		2		
	環 境 化 学 概 論 Introduction to Environmental Science	2	2			
	技 術 英 語 1 Technical English 1	2	2			
	技 術 英 語 2 Technical English 2	2		2		
	情 報 処 理 応 用 論 Applied Information Processing Theory	2		2		
専門基礎科目必修単位数計 Sub-total		14	8	6		
専 門 選 科 目	特 別 研 究 1 Special Research 1	2	2			
	特 別 研 究 2 Special Research 2	2		2		
	特 別 研 究 3 Special Research 3	12			12	
	海 事 科 学 実 験 Maritime Science Experiments	4	2	2		
	海 事 科 学 演 習 Maritime Science Practice	2	1	1		
	専門科目必修単位数計 Sub-total	22	5	5		12
	短期インターンシップ Junior Internship	1				1
	長期インターンシップ Long-term Internship	3				3
	教 育 技 術 演 習 Educational Technology Lab	1				1
	海 事 英 語 Maritime English	2	2			
	商 船 シ ス テ ム 概 論 Introduction to Maritime Systems	2	2			
	海 上 輸 送 工 学 Maritime Transport Engineering	2			2	
	船 舶 安 全 工 学 特 論 Advanced Ship Safety Engineering	2		2		
	海 洋 国 際 環 境 法 規 Law of the Sea and Environment	2		2		
	船 舶 工 学 特 論 Advanced Marine Engineering	2	2			
	海事シミュレーション工学 Maritime Simulation Engineering	2		2		
	海上交通工学特論 Advanced Marine Traffic Engineering	2	2			
	海 運 経 済 特 論 Advanced Maritime Economy	2		2		
	エ ネ ル ギ ー 変 換 学 Energy Conversion Science	2		2		
専 門 科 目 選 択	熱 機 関 工 学 Heat Engine Engineering	2		2		
	コンピュータ機械設計 Computer Machine Design	2	2			
	機関システム工学 Institutions and Systems Engineering	2			2	
	材 料 学 特 論 Advanced Material Science	2		2		
	高 電 圧 工 学 High Voltage Engineering	2	2			
	専門科目選択単位数計 Sub-total	35	12	14	4	5
専門科目単位数計 Specialized Subjects Credits		57	17	19	4	17
合 計 Total		71	25	25	4	17

生産システム工学専攻

Advanced Production Systems Engineering Course

授 業 科 目 Subjects		単位数 Credits	学年別配当 Credits by Grade			
			1 年 1st year		2 年 2nd year	
			前期 1st	後期 2nd	前期 1st	後期 2nd
専 門 基 礎 科 目	文 書 表 現 論 Document Representation Theory	2		2		
	数 理 工 学 Mathematical Engineering	2				2
	物 理 学 特 論 Theory of Physics	2			2	
	環 境 化 学 概 論 Introduction to Environmental Science	2				2
	技 術 英 語 1 Technical English 1	2		2		
	技 術 英 語 2 Technical English 2	2	2			
	情 報 処 理 応 用 論 Applied Information Processing Theory	2	2			
専門基礎科目必修単位数計 Sub-total		14	4	4	2	4
専 門 選 科 目	特 別 研 究 1 Special Research 1	6	6			
	特 別 研 究 2 Special Research 2	4		4		
	特 別 研 究 3 Special Research 3	10			10	
	技 術 文 献 ゼ ミ Technical Literature Seminar	2		2		
	生産システム工学実験 Production Systems Engineering Experiments	2	2			
	生産システム工学演習 Advanced Production Systems Engineering Practice	2				2
	専門科目必修単位数計 Sub-total	26	8	6		12
	短期インターンシップ Junior Internship	1				1
	長期インターンシップ Long-term Internship	3				3
	教 育 技 術 演 習 Educational Technology Lab	1				1
	感 性 工 学 Sensitivity Engineering	2				2
	シ ス テ ム 制 御 System Control	2			2	
	数 値 解 析 特 論 Advanced Numerical Analysis	2		2		
	計算機制御システム Computer Control System	2			2	
	ソフトウェア工学特論 Advanced Software Engineering	2				2
	画像応用システム工学 Images of Applied System Engineering	2		2		
	人 工 知 能 特 論 Advanced Artificial Intelligence	2		2		
	ロ ボ ッ ト 工 学 特 論 Advanced Robot Engineering	2				2
	精 密 加 工 学 Precision Machining	2				2
専 門 科 目 選 択	エ ネ ル ギ ー 変 換 学 Energy Conversion Science	2			2	
	材 料 強 度 学 Strength and Fracture of Materials	2		2		
	弾 塑 性 学 Elasto-Plasticity	2		2		
	コンピュータ機械設計 Computer Machine Design	2		2		
	材 料 学 特 論 Advanced Material Science	2	2			
	信 号 処 理 論 Signal Processing Theory	2				2
	電 子 回 路 応 用 Application of Electronic Circuit	2				2
専 門 科 目 選 択	離 散 数 学 特 論 Advanced Discrete Mathematics	2			2	
	コンピュータネットワーク Computer Network	2			2	
	デ ー タ 構 造 Data Structure	2	2			
	専門科目選択単位数計 Sub-total	43	4	12	10	17
専門科目単位数計 Specialized Subjects Credits		69	12	18	10	29
合 計 Total		83	16	22	12	33

教員組織（商船学科）

Faculty members (The Department of Maritime Technology)

職名 Rank 学位	氏名 Name	主な担当科目 Teaching Subjects
教授 Professor 博士(理学)	雙 知 延 行 SOCHI Nobuyuki	数学 1・2 Mathematics 1・2
教授 Professor 博士(工学)	二 村 彰 FUTAMURA Akira	情報処理 1, 天文・電波測位学 1, 海洋環境論, ※海事科学演習 Information Processing 1, Astronomy and Radio Positioning Sciences 1, Ocean Environment Theory, ※ Maritime Science Practice
教授 Professor 修士(教育学)	水 崎 一 良 MIZUSAKI Kazuyoshi	体育 1, 体育, 保健 Physical Education 1, Physical Education, Health Education
教授 Professor 博士(工学)	村 上 知 弘 MURAKAMI Tomohiro	熱力学, 蒸気工学, ※材料科学特論, ※海事科学実験 Thermodynamics, Steam Engineering, ※ Advanced Material Science, ※ Maritime Science Experiments
教授 Professor 博士(工学)	湯 田 紀 男 YUDA Norio	水力学, 船舶工学 1・2, 船体運動力学, 船舶安全工学 Hydraulics, Marine Engineering 1・2, Ship-movement Dynamics, Marine Safety Engineering
准教授 Associate Professor 博士(工学)	秋 葉 貞 洋 AKIBA Sadahiro	内燃機関学 1・2・3, 潤滑工学, 実験実習 1, ※熱機関工学 Internal Combustion Engine Science 1・2・3, Lubrication Engineering, Experiments and Practice 1, ※ Heat Engineering
准教授 Associate Professor 博士(工学)	池 田 真 吾 IKEDA Shingo	材料力学 1, 材料工学 1・2, 材料科学, 電気工学 2 Strength Materials 1, Materials Science and Engineering 1・2, Materials Science, Electrical Engineering 2
准教授 Associate Professor 修士(文学)	日 下 佳 春 KUSAKA Yoshiharu	アースサイエンス, 地歴 1・2, 公民 2, 法学 Earth Science, Geography and History 1・2, Civics 2, Law
准教授 Associate Professor 博士(海事科学)	中 村 真 澄 NAKAMURA Masumi	計測・制御 1・2・3, 実験実習 1, ※海事科学実験, ※機関システム工学 Instrument and Control Engineering 1・2・3, Experiments and Practice 1, ※ Maritime Science Experiments, ※ Engine System Engineering
准教授 Associate Professor 修士(文学)	野 口 隆 NOGUCHI Takashi	総合英語, 英語表現 1, 英語表現, 英語講読 General English, English Expression 1, English Expression, English Reading
准教授 Associate Professor 修士(経済学)	野々山 和 宏 NONOYAMA Kazuhiro	海運経済論, 海事法規, ※海運経済特論, ※海洋国際環境法規 Shipping Economics, Maritime Law, ※ Advanced Maritime Economy, ※ Law of the Sea and Environment
准教授 Associate Professor 修士(文学)	松 浦 真衣子 MATSUURA Maiko	アースサイエンス, 地歴 1・2, 公民 2, 法学 Earth Science, Geography and History 1・2, Civics 2, Law
准教授 Associate Professor 博士(海事科学)	山 崎 慎 也 YAMASAKI Shinya	操艇・通信, 海上交通工学, 海技演習 1・2, ※海上交通工学 Boatmanship and Signaling, Marine Transport Engineering, Maritime Practice 1・2, ※ Marine Transport Engineering
講師 Lecturer 学士(商船学)	松 内 美 緒 MATSUUCHI Mio	操艇・通信, 運送管理学 1・2・3, 実験実習 2, 航海学実験 Boatmanship and Signaling, Shipping Management 1・2・3, Experiments and Practice 2, Navigation Experiments
助教 Assistant Professor 博士(理学)	西 田 充 宏 NISHIDA Mitsuhiro	電磁気学, 電子工学 1・2, ※海事科学実験 Electromagnetics, Electronics 1・2, ※ Maritime Science Experiments
助教 Assistant Professor 修士(海洋科学)	早 川 晃 平 HAYAKAWA Kohei	操艇・通信, 海洋環境論 Boatmanship and Signaling, Ocean Environment Theory

※は専攻科科目を表す。

教員組織（創造工学科）

Faculty members (The Department of Creative Technology Engineering)

職名 Rank 学 位	氏 名 Name	主な担当科目 Teaching Subjects
教授 Professor 博士(工学)	伊 藤 武 志 ITO Takeshi	化学 1, 化学, ※環境化学概論 Chemistry 1, Chemistry, ※ Introduction to Environmental Chemistry
教授 Professor 博士(工学)	ダヴァ ガンバット DAVAA Ganbat	熱力学, 流体力学, エネルギー工学, ※エネルギー変換学 Thermodynamics, Hydrodynamics, Energy Engineering, ※ Energy Conversion Science
教授 Professor 博士(工学)	長 井 弘 志 NAGAI Hiroyuki	情報処理 2・3, 振動工学, ※生産システム工学実験, ※感性工学 Information Processing 2・3, Mechanical Vibrations, ※ Production systems engineering laboratory, ※ Kansei Engineering
准教授 Associate Professor 博士(工学)	大 澤 茂 治 OSAWA Shigeji	設計製図 1・2, 制御工学 1・2, 工作実習 2, ※ロボット工学特論 Design and Drawing 1・2, Control Engineering 1・2, Workshop Practice 2, ※ Advanced Robot Engineering
准教授 Associate Professor 修士(文学)	要 弥由美 KANAME Yayumi	国語, 国語 1 Japanese, Japanese 1
准教授 Associate Professor 博士(工学)	瀬 濤 喜 信 SETO Yoshinobu	電磁気学, 電気回路, 電子回路, ※電子回路応用 Electromagnetism, Electric Circuits, Electronic Circuits, ※ Applied Electronic Circuit
准教授 Associate Professor 博士(工学)	福 田 英 次 FUKUDA Hidetsugu	設計製図 5, ものづくり実習 1, 工学実験 2, 地域創生演習 1・2, ※精密加工学 Design and Drawing 5, Manufacturing Practice 1, Engineering Experiments 2, Regional Revitalization Practice 1・2, ※ Theory of Precision Machining
准教授 Associate Professor 博士(工学)	政 家 利 彦 MASAIE Toshihiko	材料学, 材料力学 1・2, 応用数学 1, ※材料強度学 Material Science, Strength of Materials 1・2, Applied Mathematics 1, ※ Strength and Fracture of Materials
講師 Lecturer 博士(教育学)	富 永 亮 TOMINAGA Ryo	体育 1, 体育, 保健 Physical Education 1, Physical Education, Health Education
講師 Lecturer 博士(工学)	森 耕太郎 MORI Kotaro	エネルギー工学概論, 基礎機械制御工学, 情報処理 1, 地域創生演習 1・2 Introduction to Energy Engineering, Basic Machinery and Control, Information Processing 1, Regional Revitalization Practice 1・2
助教 Assistant Professor 博士(理学)	金 田 伸 KANEDA Shin	数学 1, 数学 2 Mathematics 1, Mathematics 2
助教 Assistant Professor 教職修士(専門職)	濱 田 活 仁 HAMADA Katsuhito	総合英語, 英語表現 1, 英語講読 General English, English Expression 1, English Reading

※は専攻科目を表す。

教員組織（情報工学科）

Faculty members (The Department of Computer Science and Engineering)

職名 Rank 学 位	氏 名 Name	主な担当科目 Teaching Subjects
教授 Professor 博士(工学)	田 房 友 典 TABUSA Tomonori	プログラミング 1, データベース, ウェブデザイン, ※画像応用システム工学 Programming 1, Database, Web Design, ※ Image Application Systems Engineering
教授 Professor 博士(工学)	峯 脇 さやか MINEWAKI Sayaka	プログラミング 2, 人工知能, データサイエンス, データサイエンス基礎, ※人工知能特論 Programming 2, Artificial Intelligence, Data Science, Basic Data Science, ※ Advanced Artificial Intelligence
准教授 Associate Professor 博士(教育学)	稲 垣 惇 史 INAGAKI Atsushi	電気電子工学, 応用物理, 情報工学実験, ※情報処理応用論 Electrical and Electronic Engineering, Applied Physics, Information Engineering Experiments, ※ Advanced Information Processing
准教授 Associate Professor 博士(工学)	榎 本 浩 義 ENOMOTO Hiroyoshi	プログラミング 1, ネットワーク 1・2, OS Programming 1, Network 1・2, OS
准教授 Associate Professor 博士(学術)	徳 田 誠 TOKUDA Makoto	情報理論, 通信システム, 離散数学, ※システム制御, ※コンピュータネットワーク Information Theory, Telecommunication System Science, Discrete Maths, ※ System Control, ※ Computer Network
准教授 Associate Professor 博士(工学)	益 崎 智 成 MASUZAKI Tomonari	情報セキュリティ, メディア情報処理, 情報工学実験 Information Security, Media Information Processing, Information Engineering Experiments
准教授 Associate Professor 博士(工学)	栴 田 温 子 MASUDA Haruko	情報リテラシー, システム工学 2, 情報工学実験, ※生産システム工学演習 Info. Literacy, System Engineering 2, Information Engineering Experiments, ※ Production System Engineering Practice
准教授 Associate Professor 博士(文学)	八 原 瑠 里 YAHARA Ruri	国語, 国語 1・2, ※文書表現論 Japanese, Japanese 1・2, ※ Styles of Writing in Japanese
准教授 Associate Professor 修士(教育学)	山 本 健 太 YAMAMOTO Kenta	総合英語, 英語表現, ※技術英語 1・2 General English, English Expression, ※ Technological English 1・2
助教 Assistant Professor 修士(情報工学)	岩 瀬 大 佑 IWASE Daisuke	CAD, 技術者倫理, 情報工学実験, ※信号処理論 CAD, Engineering, Ethics, Information Engineering Experiments, ※ Theory of Digital Signal Processing
助教 Assistant Professor 博士(工学)	梅 木 陽 UMEKI Yo	論理回路 1・2, プログラミング 2, 情報工学実験 Logical Circuit 1・2, Programming 2, Information Engineering Experiments
助教 Assistant Professor 学士(教育学)	田 原 雪 TAHARA Yuki	プログラミング 1, システム工学 1, ※生産システム工学実験 Programming 1, System Engineering 1, ※ Production System Engineering Experiments
助教 Assistant Professor 博士(理学)	本 間 孝 拓 HONMA Takahiro	数学 1・2, ※離散数学特論, ※数理工学 Mathematics 1・2, ※ Special Lecture Discrete Mathematics, ※ Mathematical Engineering
特任准教授 Spec. Apptd. Associate Professor 修士(理学)	久 保 康 幸 KUBO Yasuyuki	数学 1・2 Mathematics 1・2

※は専攻科目を表す。

教員組織（練習船）

Faculty members (Teaching Staff of Training Ship)

職名 Rank 学 位	氏 名 Name	主な担当科目 Teaching Subjects
准教授 Associate Professor 準商船学士	加 藤 博 KATO Hiroshi	海上交通法 3, 航海学実験, 校内練習船実習, 商船学概論 Maritime Transport Law3, Navigation Experiments, College Training Ship, Introduction to Maritime Technology
准教授 Associate Professor 学士(工学)	松 永 直 也 MATSUNAGA Naoya	商船学概論, 推進論, 校内練習船実習 Introduction to Maritime Technology, Propulsion, College Training Ship
助教 Assistant Professor 準商船学士	森 瑛太郎 MORI Eitaro	航海学 3, 実験実習 2, 海技演習 1・2, 校内練習船実習 Navigation3, Experiment and Practice2, Maritime Practice1・2, College Training Ship
助教 Assistant Professor 準商船学士	山 下 訓 史 YAMASHITA Satoshi	実験実習 1, 校内練習船実習, 設計製図 Experiment and Practice 1, College Training Ship, Design and Drawing

教員組織（非常勤講師）

Faculty members (Part-time Lecturer)

職名 Rank 学 位	氏 名 Name	主な担当科目 Teaching Subjects
非常勤講師 P/T Lect.	秋 川 元 宏 AKIKAWA Motohiro	情報リテラシー, データサイエンス基礎 Information Literacy, Fundamentals of Data Science
非常勤講師 P/T Lect.	井 上 博 文 INOUE Hirofumi	電気工学 1, 情報工学実験 Electrical Engineering1, Information Engineering Experiments
非常勤講師 P/T Lect.	岡 藤 留 美 OKAFUJI Rumi	英語表現 1 English Expression 1
非常勤講師 P/T Lect.	沖 俊 任 OKI Toshitaka	機構学, ロボットシステム工学, ※コンピュータ機械設計 Mechanism, Robot System Engineering, ※ CAD/CAM
非常勤講師 P/T Lect.	金 島 和 司 KANESHIMA Kazushi	体育 1, 体育 Physical Education 1, Physical Education
非常勤講師 P/T Lect.	釜 井 由 景 KAMAI Yoshikage	海事法規 2, 海上交通法 1・2 Maritime Law2, Marine Transport Law1・2
非常勤講師 P/T Lect.	上 江 憲 治 KAMIE Kenji	基礎英語 1, 英語表現 1, 第二外国語 Basic English 1, English Expression 1, German
非常勤講師 P/T Lect.	ガリー クレイグ パート Gary Craig BAIRD	英語表現 1 English Expression 1
非常勤講師 P/T Lect.	神 田 卓 弥 KANDA Takuya	生物概論 Introduction to Biology
非常勤講師 P/T Lect.	冠 美 穂 KANMURI Miho	基礎英語 Basic English
非常勤講師 P/T Lect.	菊 森 詩 織 KIKUMORI Shiori	総合英語 1, 英語講読, 専門英語 1・2 General English 1, English Reading, Technical English 1・2
非常勤講師 P/T Lect.	串 田 悠 彰 KUSHIDA Hiroaki	計算機制御工学, 工学実験 1 Computer Control Engineering, Engineering Experiments 1
非常勤講師 P/T Lect.	葛 目 幸 一 KUZUME Koichi	電子工学, 電気工学 3・4, 情報工学実験, ※技術文献ゼミ, ※生産システム工学実験 Electronics, Electrical Engineering 3・4, Information Engineering Experiments, ※ Technical Literature Seminar, ※ Production System Engineering Practice
非常勤講師 P/T Lect.	黒 瀬 泉 KUROSE Izumi	日本語, 日本事情 Japanese, Japanese Circumstances
非常勤講師 P/T Lect.	坂 本 正 明 SAKAMOTO Masaaki	公民 1 Civics 1
非常勤講師 P/T Lect.	瀬 尾 敦 生 SEO Atsuki	アルゴリズム, コンパイラ, プログラミング3, ※ソフトウェア工学特論 Algorithm, Compiler, Programming3, ※ Advanced Software Engineering
非常勤講師 P/T Lect.	高 岡 俊 輔 TAKAOKA Shunsuke	航海計測学 1・2, 天文電波測位学 1・2, 通信工学, 航海学 2 Nautical Instrument1・2, Astronomy and Radio Positioning Sciences2, Communication Engineering, Navigation2
非常勤講師 P/T Lect.	塚 本 秀 史 TSUKAMOTO Hideshi	応用数学3, 数値解析, 情報工学実験 Applied Mathematics3, Numerical Analysis, Information Engineering Experiments
非常勤講師 P/T Lect.	筒 井 壽 博 TSUTSUI Toshihiro	計測工学, 機械工作法, 設計製図 4, ※商船システム概論 Instrumentation Engineering, Manufacturing Technology, Design and Drawing 4, ※ Introduction to Maritime Systems
非常勤講師 P/T Lect.	戸 部 康 弘 TOBE Yasuhiro	設計製図 3, 応用物理 1 Design and Drawing 3, Applied Physics 1
非常勤講師 P/T Lect.	中 島 望 NAKASHIMA Nozomi	海洋気象学 Marine Meteorology
非常勤講師 P/T Lect.	南 郷 毅 NANGO Tsuyoshi	応用数学, 応用数学 1・2 Applied Mathematics, Applied Mathematics 1・2
非常勤講師 P/T Lect.	浜 田 宜 治 HAMADA Yoshiharu	物理, 物理 1, 物理学特論 1 Physics, Physics 1, Theory of Physics
非常勤講師 P/T Lect.	益 崎 真 治 MASUZAKI Shinji	日本事情, ものづくり実習 1, 工作実習 2, 情報処理 4 Japanese Circumstances, Manufacturing Practice 1, Workshop Practice 2, Information Processing 4
非常勤講師 P/T Lect.	松 尾 直 子 MATSUO Naoko	基礎力学, 航海学 1 Mechanics, Navigation 1
非常勤講師 P/T Lect.	山之上 卓 YAMANOE Takashi	ハードウェア設計 1 Hardware Design 1

※は専攻科科目を表す。

学生の概況 General Situation of Students

学 生 数

Number of Students

(令和8年5月1日現在)
As of May 1, 2026

学科別／学年	1 学年 1st year	2 学年 2nd year	3 学年 3rd year	4 学年 4th year	5 学年 5th year	5 学年実習 Student apprentice	専攻科 1 学年 Advanced Course 1st year	専攻科 2 学年 Advanced Course 2nd year	計 Total
商 船 学 科	44<6>	49<8>	(1) 38<9>	(1) 45<5>	(2) 27<5>	32<7>			(4) 235<40>
創 造 工 学 科	46<4>								【0】 46<4>
電 子 機 械 工 学 科		37<3>	37<1>	40<3>	37<3>				【0】 151<10>
情 報 工 学 科	41<13>	40<21>	【2】 45<21>	【2】 36<7>	(1) 【2】 41<23>				(1) 【6】 203<85>
専 攻 科 (生産システム工学専攻)							9<4>	5<0>	14<4>
専 攻 科 (海上輸送システム工学専攻)							0<0>	4<2>	4<2>
計	131<23>	126<32>	(1) 【2】 120<31>	(1) 【2】 121<15>	(3) 【2】 105<31>	32<7>	9<4>	9<2>	(5) 【6】 653<145>

(注) < >は、女子で内数を示す。()は、休学者で外数を示す。【 】は、留学生で内数を示す。

国別外国人留学生数

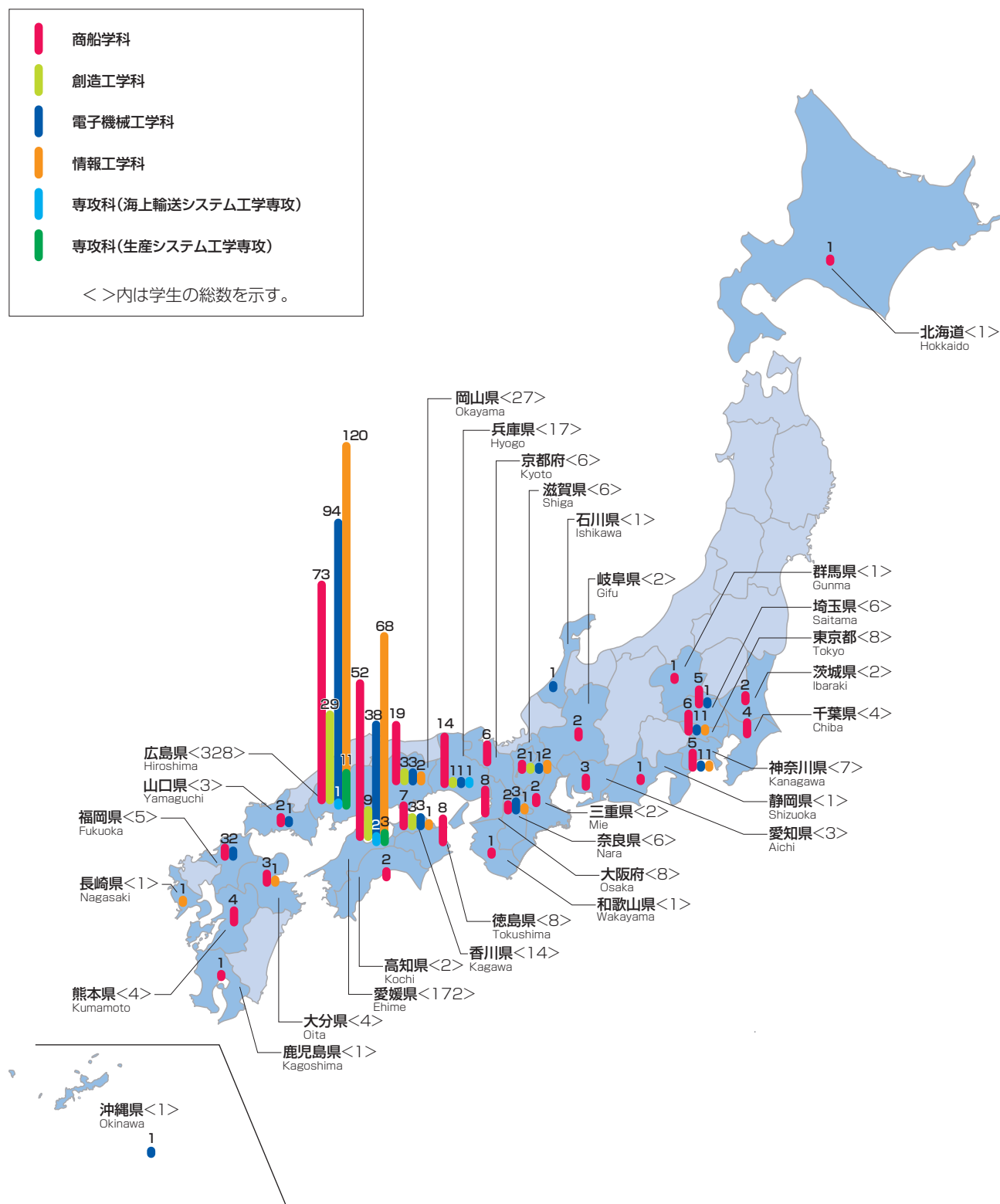
Number of International Students (by country)

国名	令和 8 年	令和 7 年	令和 6 年	令和 5 年	令和 4 年
モンゴル MONGOLIA	1	1	1	2	4
ラオス LAOS	-	-	1	1	1
マレーシア MALAYSIA	2	1	1	-	-
カンボジア CAMBODIA	-	1	1	1	-
インド INDIA	1	-	-	-	-
インドネシア INDONESIA	1	1	-	-	-
タイ THAILAND	1	1	-	-	-

出身学校都道府県別学生数

Number of Students by Alma Mater and Prefecture

(令和8年5月1日現在)
As of May 1, 2026



(注) 休学生は数に含む。留学生は含まない。

学生の概況 General Situation of Students

入学試験の実施状況

Situation of Selective Examination for Applicants

■検査地（推薦）Place (Recommendation entrance examination)

本校 Our school

■検査地（学力検査）Place (Entrance examination)

本校，松山市，今治市，福山市，尾道市，広島市
最寄地会場（各高专等）

Our school, Matsuyama, Imabari, Fukuyama, Onomichi, Hiroshima, City
Nearest KOSEN

■推薦による募集人員 Number of students admitted by recommendation

入学定員のうち80%を超えない程度

Under about 80% of the enrollment capacity

■検査日 Examination Date

推薦（令和8年1月10日）

Recommendation entrance examination (January 10, 2026)

学力検査（令和8年2月8日）

Entrance examination (February 8, 2026)

事項 年度	学 科 名	入学定員 Authorized students	全志願者数 Applicants	推薦志願者数内数 Applicants of Recommendation	志願倍率 Magnification	受験者数 Examinees	合格者数 Successful Applicants	入学者数 Incoming students		
								学 力 Achievement	推 薦 Recommendation	計 Total
令和8年度	商 船 学 科	40名	73(8)名	63(6)名	1.8倍	73(8)名	45(6)名	12(3)名	32(3)名	44(6)名
	創 造 工 学 科	40	48(4)	38(3)	1.2	48(4)	44(4)	10(1)	32(3)	42(4)
	情 報 工 学 科	40	50(14)	34(13)	1.3	49(14)	46(14)	9(1)	32(12)	41(13)
	計	120	171(26)	135(22)	1.4	170(26)	135(24)	31(5)	96(18)	127(23)
令和7年度	商 船 学 科	40	50(9)	50(8)	1.3	50(9)	44(8)	10(0)	32(7)	42(7)
	電 子 機 械 工 学 科	40	52(8)	22(3)	1.3	52(8)	50(8)	24(2)	17(3)	41(5)
	情 報 工 学 科	40	56(23)	52(25)	1.4	55(23)	49(22)	9(1)	33(20)	42(21)
	計	120	158(40)	124(36)	1.3	157(40)	143(38)	43(3)	82(30)	125(33)
令和6年度	商 船 学 科	40	64(10)	53(8)	1.6	63(10)	43(9)	9(1)	32(8)	41(9)
	電 子 機 械 工 学 科	40	56(2)	28(1)	1.4	56(2)	44(2)	16(0)	24(1)	40(1)
	情 報 工 学 科	40	76(28)	55(23)	1.9	76(28)	56(22)	7(4)	33(16)	40(20)
	計	120	196(40)	136(32)	1.6	195(40)	143(33)	32(5)	89(25)	121(30)

※志願者数及び受験者数には，複数校志望受験制度における第2，第3志望者も含む。※（ ）内は，女子で内数を示す。

専攻科入学試験実施状況

Situation of Selective Examination for Applicants

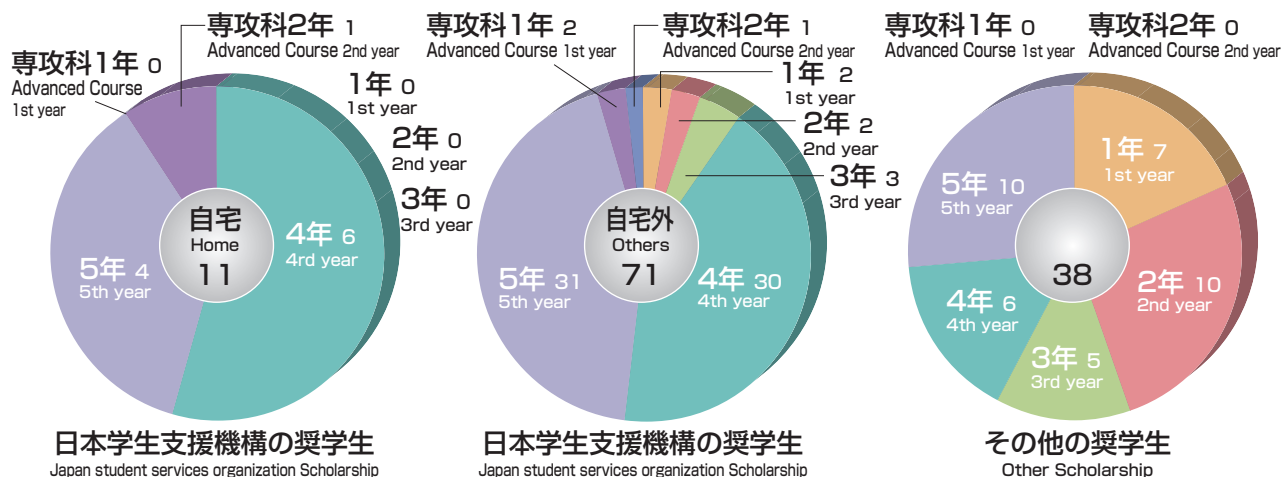
(令和8年4月1日現在)

As of Apr 1, 2026

事項 年度	専 攻 名	入学定員 Authorized students	全志願者数 Applicants	志願倍率 Magnification	受験者数 Examinees	合格者数 Successful Applicants	入学者数 Incoming students
令和8年度	生産システム工学専攻	8	11	1.4	11	9	9
	海上輸送システム工学専攻	4	1	0.3	1	1	—
	計	12	12	1.0	12	10	9
令和7年度	生産システム工学専攻	8	5	0.6	5	5	5
	海上輸送システム工学専攻	4	0	0.0	—	—	—
	計	12	5	0.4	5	5	5
令和6年度	生産システム工学専攻	8	12	1.5	12	10	10
	海上輸送システム工学専攻	4	5	1.3	5	4	4
	計	12	17	1.4	17	14	14

令和7年度 日本学生支援機構等奨学生状況

Scholarship in 2025



卒業生・修了生の進路状況

Situation of Course of Graduates

卒業・修了年度 Graduates	令和7年度 2025				令和6年度 2024				令和5年度 2023			
	就職者 Employment	進学者 University	その他 Others	計 Total	就職者 Employment	進学者 University	その他 Others	計 Total	就職者 Employment	進学者 University	その他 Others	計 Total
商 船 学 科	29	0	0	29	31	4	1	36	25	5	1	31
電 子 機 械 工 学 科	33	6	1	40	36	8	0	44	33	5	0	38
情 報 工 学 科	25	13	0	38	24	7	1	32	26	8	2	36
本科 計	87	19	1	107	91	19	2	112	84	18	3	105
海上輸送システム工学専攻	4	0	0	4	2	0	0	2	2	0	0	2
生産システム工学専攻	10	0	0	10	10	1	0	11	11	1	1	13
専攻科 計	14	0	0	14	12	1	0	13	13	1	1	15

大学編入学状況

Situation of Entry in University

編入学年度 Entry in University		令和8年度 2026			令和7年度 2025			令和6年度 2024		
大学名 University	学科	商 船 学 科	電 子 機 械 工 学 科	情 報 工 学 科	商 船 学 科	電 子 機 械 工 学 科	情 報 工 学 科	商 船 学 科	電 子 機 械 工 学 科	情 報 工 学 科
	国									
千葉大学 Chiba University									1	
長岡技術科学大学 Nagaoka University of Technology						2				1
豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology		4	2		3	3				
九州大学 Kyushu University										1
香川大学 Kagawa University		1			1					
広島大学 Hiroshima University							1			
名古屋大学 Nagoya University			1							
神戸大学 Kobe University		1								
私立 広島工業大学 Hiroshima Institute of Technology			1							
計 Total		1	5	4	0	6	4	0	1	2

大学院進学状況

Situation of Entry in Graduate School

入学年度 Entry in Graduate School		令和8年度 2026		令和7年度 2025		令和6年度 2024	
大学院名 Graduate School	専攻名	生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	海 上 輸 送 シ ス テ ム 工 学 専 攻	生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	海 上 輸 送 シ ス テ ム 工 学 専 攻	生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	海 上 輸 送 シ ス テ ム 工 学 専 攻
	九州工業大学大学院生命体工学研究科 Graduate School of Life Science and Systems Engineering, Kyushu Institute of Technology						
	広島市立大学大学院情報科学研究科 Hiroshima City University's Graduate School of Information Sciences						
	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術専攻 情報科学系知能ロボティクス領域 Japan Advanced Institute of Science and Technology Advanced Science and Technology Department Information Science Intelligent robotics area			1			
	長岡技術科学大学大学院工学研究科機械工学分野 Major in Mechanical Engineering, Graduate School of Engineering, Nagaoka University of Technology					1	
計 Total		0	0	1	0	1	0

学生の概況 General Situation of Students

令和7年度求人・就職状況

Job-order and Employment Situation in 2025

区 分 Division			学科等	商船学科	電子機械工学科	情報工学科	専攻科 (海上輸送システム工学専攻)	専攻科 (生産システム工学専攻)
卒業生 Graduate			数	29(2)	40(3)	38(13)	5(0)	10(2)
就職希望者 Applicants			数	29(2)	33(3)	25(9)	4(0)	10(2)
就職者 Employment			数	29(2)	33(3)	25(9)	4(0)	10(2)
求人 Job-orders			数	322	446	410	109	440
海上 Marine	求人 Job-orders		数	196	0	0	177	0
	就職者数 Employment	外 Ocean navigation	航	9(1)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)
		内 Coastwise service	航	15(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		カーフェリー Car-ferry	一	5(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		官庁 Government Office-Ship	船	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)
		水産 fishery	系	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		計 Total		29(2)	0(0)	0(0)	4(0)	0(0)
陸上 Land	求人 Job-orders		数	45	446	410	32	440
	就職者数 Employment	鉄業・非鉄金属・金属製品製造業 Iron and steel industry, nonferrous metals and metal products manufacturing		0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		はん用・生産用・業務用機械器具製造 Manufacturing of general, production, or commercial tools and machinery		0(0)	13(1)	2(0)	0(0)	2(0)
		電子部品・デバイス・電子回路製造業 Electronic components, devices, and electronic circuits manufacturing		0(0)	5(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		電気・情報通信機械器具製造 Manufacturing of electrical or information communication tools and machinery		0(0)	3(1)	2(1)	0(0)	1(0)
		輸送用機械器具製造 Manufacturing of transportation tools and machinery		0(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)
		その他の製造 Manufacture of the other machines and tools		0(0)	0(0)	3(2)	0(0)	0(0)
		電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, gas, heat supply, and water utilities		0(0)	6(1)	2(0)	0(0)	2(0)
		情報通信 Information communication		0(0)	0(0)	11(4)	0(2)	5(0)
		運輸・郵便 Transportation and postal service		0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
		その他 Others		0(0)	2(0)	1(1)	0(0)	0(0)
		計 Total		0(0)	33(3)	25(8)	0(2)	10(0)
就職希望者に対する求人倍率 Job-order magnification to applicants			11.10	13.52	16.40	27.25	44.00	
就職希望者に対する就職率 Employment magnification to applicants			100	100	100	100	100	

()内は、内数で女子を示す。

令和7年度卒業生・修了生の就職先一覧

List of Alumni Employers in 2025

	商船学科	電子機械工学科	情報工学科	海上輸送システム工学専攻	生産システム工学専攻
就職先一覧	NSユニテッド海運株式会社	アズビル株式会社	CTCテクノロジー株式会社	独立行政法人海技教育機構	CTCシステムマネジメント株式会社
	旭タンカー株式会社	大阪ガスネットワーク株式会社	株式会社LIXIL	神戸大学大学院海事科学研究科	CTCテクノロジー株式会社
	出光タンカー株式会社	大阪ガスマーケティング株式会社	NTT西日本株式会社	正栄汽船株式会社	NTTコムソリューションズ株式会社
	上野トランステック株式会社	株式会社河合電器製作所	NTTコムビジネスエンジニアリング株式会社	東慶海運株式会社	NTTコムビジネスエンジニアリング株式会社
	宇部興産海運株式会社	株式会社光電製作所	アズビル株式会社		NTT西日本株式会社
	オーシャントランス株式会社	株式会社島津アクセス	アドバンスシステム株式会社		アズビル株式会社
	川崎近海汽船株式会社	西部電機株式会社	エクシオデジタルソリューションズ株式会社		大阪ガスネットワーク株式会社
	共和産業海運株式会社	ダイキン工業株式会社	カナデピア株式会社		コニカミノルタージャパン株式会社
	栗林マリタイム株式会社	株式会社ダイコーテクノ	株式会社キャステム		ダイキン工業株式会社
	株式会社商船三井さんふらわあ	大洋電機株式会社	京セラ株式会社		東京水道株式会社
	大真船舶株式会社	株式会社田中貴金属グループ	警察庁(中国四国管区警察局)		
	津軽海峡フェリー株式会社	東京水道株式会社	コニカミノルタージャパン株式会社		
	鶴見サンマリン株式会社	日本オーチスエレベータ株式会社	コベルコソフトサービス株式会社		
	東京汽船株式会社	平田機工株式会社	神鋼テクノ株式会社		
	戸田汽船株式会社	富士電機株式会社	ダックシステム株式会社		
	日徳汽船株式会社	株式会社堀場製作所	中国電力ネットワーク株式会社		
	日本海洋事業株式会社	三浦工業株式会社	東芝ITサービス株式会社		
	備後共同汽船株式会社	三菱重工機械システム株式会社	西日本高速道路株式会社		
	三菱鉱石輸送株式会社	三菱電機プラントエンジニアリング株式会社	日本オーチスエレベータ株式会社		
	郵船クルーズ株式会社	村田機械株式会社	株式会社ハートネットワーク		
		ムラテックCCS株式会社	株式会社日立アドバンストシステムズ		
		メタウォーター株式会社	株式会社マツダE&T		
		株式会社ユーテック			



表彰 [Awardings]

学生会は、「学校の指導の下に学生の自発的な活動を通じて、その人物形成を助成し高等専門教育の目的の達成に資する」ことを目的に設けられており、全学生がその会員になっている。

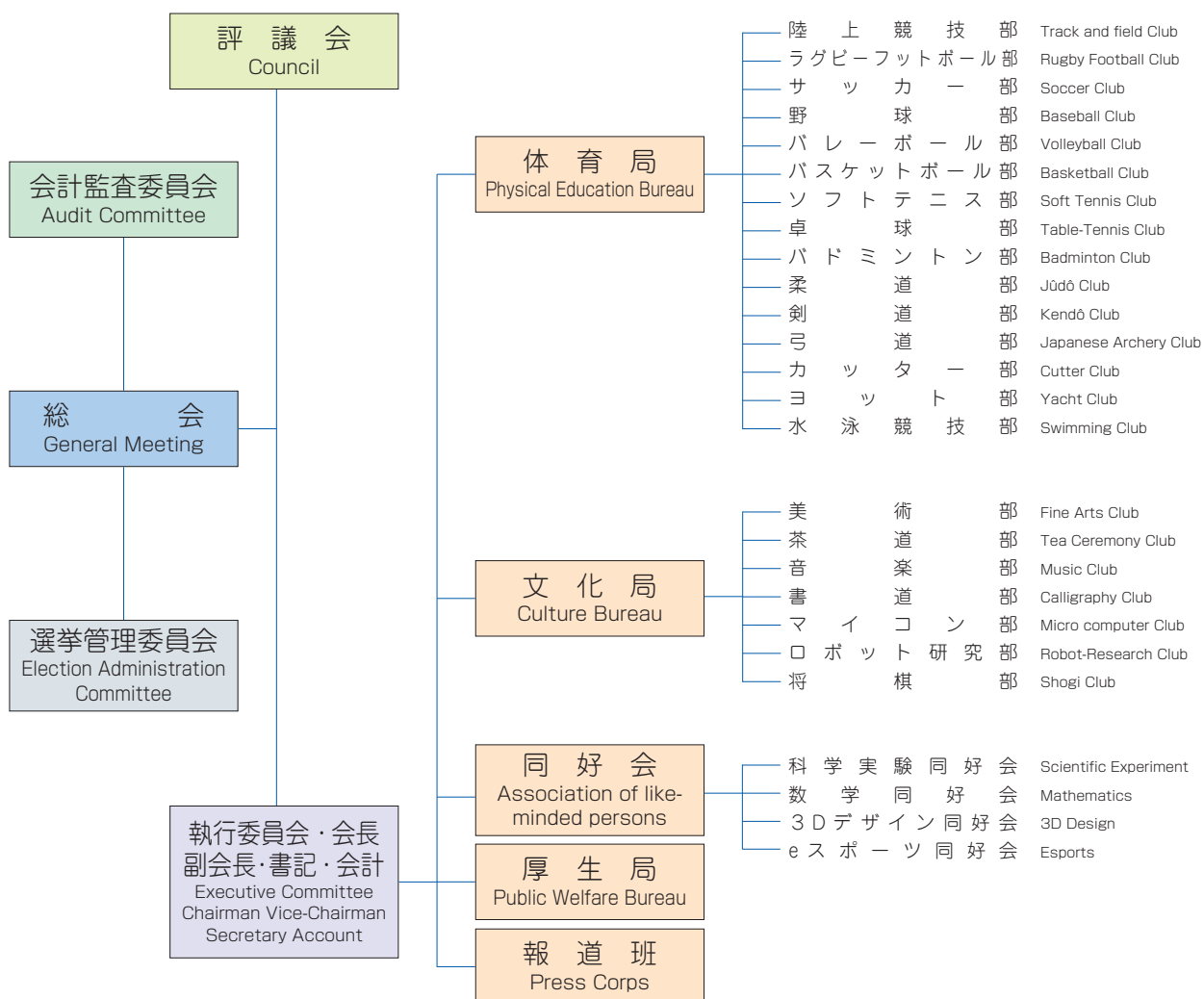
学生会はその組織をフル活用し、毎年学校の行う商船祭、校内体育大会、新入生の歓迎会などの推進母体となり、学生生活をより潤いのあるものにするよう努めている。

Student Council was formed and all the students are the member of the union. The purpose was "to support to become excellent human beings and attain highly-specialized ability through voluntary activities by the students under the appropriate guide by the teachers".

The Council also organizes school festival, sports event, welcome-party for the new students to make the school life more enjoyable.

学生会組織

Organization of Student Council



体育系

Sports Clubs

■全国大会

全国高等専門学校体育大会，全国商船高等専門学校漕艇大会

■地区大会

四国地区高等専門学校体育大会，全国高等学校野球選手権愛媛大会，瀬戸内2校定期戦，愛媛県高校総体，瀬戸内商船高等専門学校漕艇大会

■ National Athletic Meet

National institute of technology athletic meet, National institute of technology rowing meet

■ Regional Athletic Meet

Shikoku regional college of technology athletic meet, All-Japan senior high school baseball championship tournament in Ehime, Setouchi two-school routine match, Interscholastic athletic meet in Ehime, Cutter race of three colleges of Maritime Technology



陸上競技部 [Track and Field Club]



剣道部 [Kendō Club]

文化系

Culture Clubs

■全国大会

全国高等専門学校ロボットコンテスト，全国高等専門学校プログラミングコンテスト，全国高等専門学校デザインコンペティション，全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

■地区大会

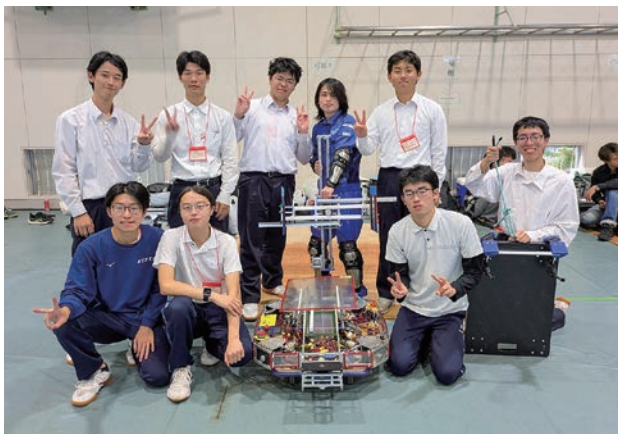
全国高等専門学校ロボットコンテスト四国地区大会，四国地区高等専門学校総合文化祭

■ Nationwide Contests

KOSEN Robot Contest, KOSEN Programming Contest, KOSEN Design Competition, The Annual English Presentation Contest for Students in KOSEN

■ Regional Contests

All Shikoku KOSEN Robot Contest, All Shikoku Kosen Cultural Festival



ロボット研究部(ロボットコンテスト)[Robot-Research Club(Robot Contest)]



マイコン部(プログラミングコンテスト) [Micro computer Club(Programming Contest)]



数学 [Mathematics]

初年次教育支援室では、1年生を対象に必要な基礎学力を補うための取組みを行っている。中学までの数学、英語、国語の学びが不足していると、専門科目を含めた高専での学びを十分に進められないことがある。本校では、不足している知識を補うために各教科の教員による学習の機会を設けている。

The aim of the First-Year Education Support Office is to support first-year students in supplementing their necessary foundational academic skills. Mathematics, English, or Japanese education up until junior high school is highly essential to maximize their learning experience in the specialized subjects in each department. In our school, we provide opportunities for students to learn from teachers in each subject area to compensate for any knowledge gaps they may have.



スマホ教室 [Smartphone Class]

地域創生推進室は、地域社会連携活動を推進し、地域社会の課題解決及び学生の地域社会における課題解決能力の育成に寄与することを目的としている。近年、学生が主体的に取り組む活動として、高齢者を対象としたスマホ教室、上島町各種イベントへのボランティア活動などを行っている。

The Regional Regeneration Promotion Office aims to promote collaborative activities with the local community and contribute to solving community issues as well as fostering students' problem-solving abilities in the local society. In recent years, we have conducted student-led activities such as smartphone classes for the elderly and volunteer work at various events in Kamijima Town.

本センターは、民間等外部の機関との連携を深め、地域産業の発展・育成に関わる技術分野について、技術相談、技術指導、共同研究等の要請に応え、かつ、リフレッシュ教育の積極的推進を図り、併せて、本校における研究水準の向上に寄与することを目的に、平成14年10月に設立した。

The Research Center was established in October 2002 in order to strengthen the collaboration between and among various private entities, to accelerate the collaborative research and technological counseling and guidance which we had had many requests, to rejuvenate the educational environment for further development of the local industries, and to contribute to the overall academic level.

センターの活動内容

Activities

地域産業界

民間企業
個人等

 弓削商船高等専門学校
地域共同研究推進センター

共同研究の実施
技術情報の提供
技術相談のイン
有設備の活用
技術教育・研修の
講演会・セミナーの
等

本校スタッフ

および連携研究機関

高専・大学
海事関係法人
試験研究機関等

公開講座

Open Class

専門的、総合的な教育機能を生涯学習に反映させるため毎年公開講座を開設し、地域社会の人々に広く活用してもらう機会を提供している。
The school prepares many educational opportunities to the public as a life-long education and provides general and specialized classes every year.

令和 7 年度公開講座一覧

Establishment of Open Class in 2025

NO	公開講座名	担当	開催日時	対象(募集人員)	参加人数
1	バスケットボール教室 第1回・第3回	水崎 一良	第1回: 6月21日(土)13:30~16:30 第3回: 12月7日(日) 9:00~12:00	小・中学生(20人程度)	第1回 7人 第3回 9人
2	第2回短距離・投てき記録会&陸上教室	佐久間一行, 村上 知弘 富永 亮	6月21日(土) 9:00~12:00	小学3年生~中学生, 高校生, 一般	24人
3	上島町夏休みチャレンジ講座 ~弓削丸に乗ってみようぜ!~	山崎 慎也(代表), 向井 利夫 栗本 裕和, 加藤 博 松永 直也, 森 瑛太郎 山下 訓史, 中根 教道 青木 康真, 大堀 伸幸 小林 由太郎, 藤原 真琴	7月29日(火) 9:30~14:30	小学4年生~中学生(20人程度)	18人
4	コーディネーショントレーニング教室 第2回・第3回	富永 亮	第2回: 10月26日(日) 9:00~11:30 第3回: 令和8年2月14日(土)9:00~11:30	小・中学生(10人程度)	第2回 12人 第3回 11人
5	サッカー教室	富永 亮	12月6日(土) 9:00~11:00	小・中学生(10人程度)	8人
6	第3回ランニングチャレンジin弓削商船高専	佐久間一行, 村上 知弘 富永 亮	12月21日(日) 9:00~12:00	小学3年生~中学生, 高校生, 一般	23人
7	簡単手作りオリブ石けん	伊藤 武志	令和8年1月31日(土) 10:00~11:30	小・中学生, 一般(高校生以上)(10人程度)	10人
8	プログラミングで遊ぼう! グラフィックス編	榎本 浩義, 田房 友典	10月4日(土) ①10:00~10:45 ②13:00~13:45	小学4年生~中学3年生(15人)	22人
9	プログラミングで遊ぼう! ロボット編	榎本 浩義, 田房 友典	10月4日(土) ①11:00~11:45 ②14:00~14:45	小学4年生~中学3年生(15人)	21人
10	アクリルを使ったオリジナルキーホルダー を製作しよう!	長井 弘志	10月4日(土) ①10:00~10:45 ②13:00~13:45	小・中学生・保護者(10人)	19人
11	家庭で出来る? 簡単実験講座 ~身近なもので染物体験~	伊藤 武志	10月4日(土) ①11:00~11:45 ②14:00~14:45	小学3年生~中学3年生・保護者(10人)	16人
12	人工知能入門 ~AIを作ろう~	益崎 智成, 梅木 陽 大森慎太郎	10月4日(土) ①11:00~11:45 ②13:00~13:45	小学5年生~中学3年生(20人)	15人
13	熱の力を体験してみよう	秋葉 貞洋	10月4日(土) 10:45~14:00	小・中学生・保護者	8人
14	電気で動く乗り物をみてみよう	瀬溝 喜信	10月4日(土) 10:45~14:00	小・中学生・保護者	25人
15	廃材をリユースして夜行灯を作ろう	長井 弘志, 森 耕太郎	10月4日(土) 10:45~14:00	小・中学生・保護者	14人
16	コンピュータでできるあんなことやこんなこと	梶田 温子, 徳田 誠	10月4日(土) 10:45~14:00	小・中学生・保護者	23人
17	進路相談	福田 英次	10月4日(土) 10:45~14:00	中学生・保護者	1組

※「バスケットボール教室 第2回(因島)」 「バスケットボール教室 第4回」 「コーディネーショントレーニング教室 第1回」 「運動能力測定会」は開催定員に満たず中止
※No.8~No.17は「チャレンジキャンパス2025」の講座

技術振興会(しまなみテクノパートナーズ)

Association for advancement of technology

技術振興会は、本校の教育研究活動に協力するとともに、相互の連携を密にして、相互研鑽を通して地域における産業技術の振興と地域社会の発展に寄与することを目的として、地域の産業界や卒業生等の皆様のご協力のもと、平成19年3月に設立された。

愛称の“しまなみテクノパートナーズ(STeP)”は、弓削商船高等専門学校がしまなみ地域における唯一の高等教育機関であり、しまなみ地域における産学官が良きパートナーとして一つにまとまることを願って名付けられた。

活動内容: 講演会や技術講習会の開催、共同研究・受託研究への支援、教員研究や人材育成プログラムへの支援等

現在の会員数: 法人会員 59, 特別会員 8, 個人会員 33

Thanks to the cooperation of the local businesses, graduates and people interested, Association for Advancement of Technology was formed in March 2007, to support the academic researches, and strengthen communications among and between the institutes, and provide opportunities for reciprocal learning, and contribute to the development of industrial technology and local communities.

This Association is casually called “Shimanami Techno Partners (STeP)”, as we are the only higher educational institute in this area in Shimanami, and we wish that the local government, business and academic circles become real partners in this community.

Contents: Hosting technical seminars & lectures, supporting collaborative researches & commissioned researches, contributing to studies among teachers & human resource training

Number of members: 56 enterprises, 8 honorable members, 35 regular members



弓削商船高専では、海外提携校との研究・教育交流、海外英語研修、海外インターンシップ、本校外国人留学生との交流活動など、世界とつながる様々な機会がある。また、国際会議、国際シンポジウムなどに参加する機会もある。

本校は、2010年3月にタイ国ナコンパノム大学、2014年9月に、モンゴル科学技術大学・動力工学学校、2015年8月には、モンゴル科学技術大学・交通機械工学学校と教育・学術交流に関する協定を結び国際交流を実施している。さらに、2025年9月には、モンゴル科学技術大学と研究・教育国際交流を新たに締結し、交流の幅をさらに広げた。また、商船学科では、フィリピンのアジア・太平洋海事大学校と国際交流を行っている。本校は、これまで16か国から75名の留学生を受け入れており、令和8年度は、6名の留学生が学んでいる。

Our students have opportunities to attend international exchange activities such as educational exchange programs, overseas English training courses and internship programs as well as international conferences and symposiums.

Our college has exchange agreements and connections with Nakhon Phanom University (NPU), Thailand since March 2010 and with Mongolian University of Science and Technology (MUST) since September 2014. Furthermore, in September 2025, we concluded a new educational and academic agreement with Mongolian University of Science and Technology (MUST), further expanding the scope of our collaboration. Also, The Department of Maritime Technology has established exchange programs with Maritime Academy of Asia and the Pacific (MAAP), Philippines. We welcomed 75 international students representing 16 other countries so far. At present 6 international students study at the college.



ナコンパノム大学での見学
[Tour at Nakhon Phanom University]



モンゴル科学技術大学での実験風景
[Experiment scene at the MUST]



アジア・太平洋海事大学校の学生との交流
[Cultural exchange with MAAP students]

学生の国際交流派遣（過去4年間）

Dispatch of our students overseas and international exchange activities (last 4 years)

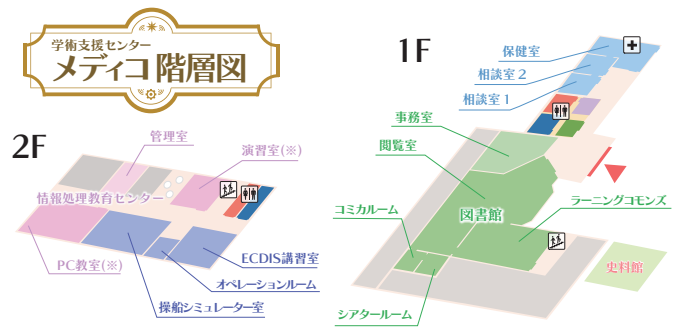
年 Year	期 間 Period	学生数 The number of students	訪問先 Destination	
令和4年 2022	9月4日～9月17日 September 4～17	5名	モンゴル Mongolia	モンゴル科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology (MUST)
令和4年 2022	12月17日～12月28日 December 17～28	5名	タイ王国 Thailand	ナコンパノム大学 Nakhon Phanom University (NPU)
令和5年 2023	9月3日～9月17日 September 3～17	3名	モンゴル Mongolia	モンゴル科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology (MUST)
令和5年 2023	12月16日～12月28日 December 16～28	8名	タイ王国 Thailand	ナコンパノム大学 Nakhon Phanom University (NPU)
令和6年 2024	8月27日～9月13日 Aug.27～Sep.13	1名	アメリカ U.S.A.	ハワイ大学 カウアイコミュニティカレッジ University of Hawaii, Kauai Community College (KCC)
令和6年 2024	9月4日～9月16日 September 4～16	4名	モンゴル Mongolia	モンゴル科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology (MUST)
令和6年 2024	12月7日～12月15日 December 7～15	3名	タイ王国 Thailand	ナコンパノム大学 Nakhon Phanom University (NPU)
令和7年 2025	9月3日～9月13日 September 3～13	2名	モンゴル Mongolia	モンゴル科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology (MUST)
令和8年 2026	2月21日～3月9日 Feb. 21～Mar. 9	1名	タイ王国 Thailand	ナコンパノム大学 Nakhon Phanom University (NPU)

学術支援センター「メディコ」は、図書館棟改修により、令和5年3月に設置された。図書館、保健室、学生相談室、情報処理教育センター、起業家工房センター、ECDIS講習室、操船シミュレータ室から成る複合施設である。

「メディコ」という名称はメディア・メディカル・コミュニティの融合を表しており、本施設は多面的に学生の学びを支え、学内外問わず地域のコミュニティ形成をサポートする。

The Academic Support Center "Medico" was established in March 2023 due to the renovation of the Library building. It is a complex facility consisting of the Library, Health Center, Student Counseling Room, Computer Education Center, Entrepreneurs' Workshop Center, ECDIS Laboratory.

The name "Medico" represents the fusion of media, medical, and community. This facility supports students' learning in multiple ways and aids in the formation of community both within and outside the college.



※起業家工房として利用

図書館

Library

図書館は一般教養図書、専門図書、参考図書(辞書・事典・年鑑等)など約75,000冊を所蔵する。そのほか新聞、各種資格試験問題集、英語多読用図書、小説、新書、DVD、雑誌などがある。図書館所蔵資料は著作権法で許される範囲において、有料で複写することができる。

開館時間は、平日は8時30分から18時、土曜日と日曜日は10時から16時である。館外貸出は、1人10冊、2週間の期限で利用できる。

地域住民へ図書館の開放を行っており、本校の学生とほぼ同じ条件で閲覧および貸出の利用ができる。

The library has about 75,000 books, such as general culture books, technical books and reference books (dictionaries, encyclopedias, almanacs, etc.). It also has newspapers, magazines, books for qualifying examinations, graded readers, novels, small-sized paperbacks, and DVDs. Students can make pay copies of library books and materials within the Copyright Act.

Opening hours are from 8:30 to 18:00 on weekdays and from 10:00 to 16:00 on weekends. 10 external lending books in two weeks are available.

The library is open to community residents and they are free to use it under conditions very similar to our students.



閲覧室 [Reading Room]



ラーニングcommons [Learning Commons]

雑誌の種類

Kinds of Magazines

雑誌 [Magazines] 19 種類

新聞 [Newspapers] 6 種類

蔵書構成 (令和8年4月1日現在)

Collection of Books (As of April 1, 2026)

	総記 General Works	哲学 Philosophy	歴史 History	社会科学 Social Sciences	自然科学 Natural Sciences	技術 Technology	産業 Industry	芸術 The Arts	言語 Language	文学 Literature	合計 Total
和漢書 Japanese	8,934	2,354	5,535	7,348	8,568	16,439	1,548	5,619	3,468	15,336	75,149
洋書 Foreign	115	21	74	293	344	484	25	66	509	382	2,313
合計 Total	9,049	2,375	5,609	7,641	8,912	16,920	1,573	5,685	3,977	15,718	77,459

図書館利用状況 (貸出冊数)

Situation of Users of College Library (Number of Lending)

年度 Year	貸出冊数 Number of Lending			
	学生 Student	教職員 Faculty	学外者 Outsider	合計 Total
令和7年 2025	1,085	549	339	1,973
令和6年 2024	1,188	522	512	2,222
令和5年 2023	1,188	498	629	2,315
令和4年 2022	改修工事のため閉館			

保健室

Health Center



学生健康診断、健康相談、学校管理下の傷病への応急処置、保健衛生の管理と学生の健康の保持増進を図るため設けられており、看護師が常駐している。

We provide physical examinations, health consultations and emergency first-aid for students' injuries during PE classes or club activities, etc. to maintain and improve the good health of students. A school nurse is stationed in the Health Center.

学校医等

School Physician

職 名			氏 名		
学	校	医	秦	信	輔
学	校	歯	科	医	林
学	校	薬	剤	師	田
				窪	孝
				之	

学生相談室

Counseling Room



学生生活を豊かで充実したものに支援するため、学生が気軽に何でも相談できるように、相談室を開設し、相談員（教職員）やカウンセラーを配置している。

To support students' lives and encourage students to consult their any concerns freely, we provide them with the counseling room, counseling staffs and counselors.

カウンセラーによる相談体制

Counseling system by counselors

曜 日		時 間	職 名	氏 名
月	毎週	15～20 時	スクールソーシャルワーカー	春 田 裕 和
火	隔週	13～19 時	カウンセラー	宇佐美 朋 子
		16～18 時		
水	隔週	12 時半～16 時半		
木	隔週	14～19 時	カウンセラー	藤 本 大 祐
金	毎週			
曜日不定	毎週	14～19 時	カウンセラー	張 領 太

情報処理教育センター

Computer Education Center



情報処理教育センター [Computer Education Center]



仮想サーバ群 [Virtual Servers]

情報処理教育センターは、昭和50年に開設され、情報処理教育、学術研究などに幅広く利用されている。

平成7年度末に構築された校内LANは、数回の更新を経て10Gビットネットワークに増強、平成20年度にはサーバの仮想化を実施し、環境問題に配慮した構成となっている。

対外接続では平成28年度にSINET愛媛DCと1G光アクセス回線で接続し大幅な増強を行った。

令和5年3月には図書館棟改修に合わせて学術支援センターメディコ2階に施設を移転し、令和5年4月から新たに運用している。

起業家工房センターとの連携やPC教室設置の教育用PC50台の更新、貸出PCとタブレットそれぞれ100台の新規配備により、学生の教育や研究を支援している。

Computer Education Center was established in 1975 and used widely for information processing education, research as well as administrative work.

The school LAN system was established at the end of 1995 and has been upgraded several times to have a gigabit-class network. In 2008, virtual servers were introduced to establish an eco-conscious network system.

In 2016, our connection with external networks was upgraded drastically by introducing a 1-gigabit line to Matsuyama DC, one of the connection points in SINET5.

In March 2023, the facility was relocated to the second floor of the Academic Support Center "Medico" as part of the library building renovation, and began operation there in April 2023.

Through collaboration with the Entrepreneurs' Workshop Center, the replacement of 50 educational PCs in the computer classrooms, and the deployment of 100 loaner PCs and 100 tablets, the center supports students' education and research activities.

起業家工房センター

Entrepreneurs' Workshop Center



起業家工房 [Entrepreneurs' Workshop]

起業家工房センターは、学生の起業や地域産業の振興のきっかけとなる教育環境を整えることを目的として設立し、「離島工学」に基づくスタートアップ人材の育成を支援している。

ものづくり教育研究棟及び学術支援センター「メディコ」に起業家工房を併設し、学生の自由な発想に基づく活動の場を提供している。

The Entrepreneurs' Workshop Center was established with the aim of creating an educational environment that fosters student entrepreneurship and promotes regional industries. It provides support for nurturing startup talent based on "Island Engineering." The Entrepreneurs' Workshop is located alongside the Manufacturing Education Research Building and the Academic Support Center "Medico," offering a platform for student activities based on free thinking.

操船シミュレータ室

Ship Handling Simulator



平成24年3月に導入した大型フルミッション操船シミュレータである。半径5mの大型円筒スクリーンに6台のプロジェクターを用いて220°の視界映像を投影している。航海計器は船舶で使用している実機を取り入れているため、本格的な操船訓練を行うことができる。また商船高専では初めて床面スクリーンを設置して下方視界映像を投影しており、国内でも数少ない離着岸訓練の行える操船シミュレータである。

The large-scale full-mission ship-handling simulator was introduced in March of the 24th in 2012. It features a massive cylindrical screen with a radius of 5 meters, where six projectors project a 220° panoramic view. By incorporating actual ship instruments, it enables realistic ship handling training. Additionally, it is the first time a floor screen has been installed in a KOSEN (NIT) of Merchant Ships, allowing for the projection of downward-view images. This simulator is one of the few in Japan capable of conducting training for docking and undocking maneuvers.

ECDIS 講習室

Electronic Chart Display and Information System Laboratory



商船学科航海コースの学生に対して、IMO Model Course 1.27 に則った ECDIS（電子海図情報表示装置）講習を実施している。ECDIS シミュレータを用いて適切な使用法や操作方法を学び、Generic コースを修了することができる。教官卓で作成した訓練シナリオを学生端末 13 台で同時に再現することができ、学生が航海計画や航路監視について学ぶことができる。また、操船シミュレータと連結しており、操船訓練を行いながら ECDIS 講習が実施できるシステムである。

For students in the Navigation Course of The Department of Maritime Technology, operation training based on the IMO Model Course 1.27 is conducted for Electronic Chart Display and Information System (ECDIS). Using ECDIS simulators, students learn proper usage and operating methods, and they can complete the Generic Course. It is capable of reproducing training scenarios created by instructors at the instructor's desk simultaneously with 13 student devices, allowing students to learn about voyage planning and route monitoring. Moreover, it is integrated with the ship-handling simulator, enabling the implementation of ECDIS training while conducting ship handling exercises.

(令和6年3月竣工 Completed in March 2024)

練習船「弓削丸」

Training Ship "YUGE MARU"



練習船 弓削丸 [Training Ship "YUGE MARU"]

弓削丸は、最新の技術を結集して建造された練習船で、運航技術を修得するための航海実習はもとより、学生及び教員の実験研究にも活用している。また、船内 LAN を陸上機器につなぎ、情報の交換や陸上より司令を出すことで船舶を管理する研究など、未来の運航技術の開発も目指している。

- 資格 近海区域・第4種船
- 主要寸法 全長56.33m、巾10.6m、深さ5.8m
- 総トン数 380.0トン
- 航続距離 約2,300海里
- 航海速度 約13.11ノット
- 主機関 ダイハツ6DEM-23、4サイクル、中速ディーゼル機関、1,471kW / 900rpm
- 主発電機 三相交流自励式 2台(960kW)
- 定員 乗組員9名、実習生48名、その他3名、計60名

航海コンソール式、機関コンソール式、
C・R・Tディスプレイ装備、
バウスラスター装備（推力）3.5トン
スタンスラスター装備（推力）3.0トン

The training ship "YUGE MARU" was built with cutting-edge technologies for navigation trainings to acquire operational technologies and experimental studies of students and teachers. We have connected the inboard LAN and onshore facilities to develop future operational technologies, such as the research of ship-management by exchanging information and commands from the office.

License: Greater coasting area・Class 4 ship
Main size: Length 56.33m. Width 10.6m. Depth 5.8m.
Gross ton: 380.0 ton
Cruising radius: About 2,300 n-miles
Sea speed: About 13.11 knots
Main engine: Daihatsu 6DEM-23, 4-stroke
Medium-speed diesel engine 1,471 kW/900 rpm
Main generator: 2 three-phase AC self-excited generators (960kW)
Capacity: 9 crews, 48 trainees, 3 others Total 60 crews
A set of navigation console, a set of engine console
C・R・T display equipment
Bow thruster equipment (thrust) 3.5 ton
Stun thruster equipment (thrust) 3.0 ton



弓削丸実習 [Training Ship Practice]

(平成12年3月竣工 Completed in March 2000)

実習船「はまかぜ」

Training Ship "HAMAKAZE"

- 主要寸法 全長16.9m、巾4.1m、深さ2.1m
- 総トン数 16.0トン
- 定員 計49名

Main size: Length 16.9m, Width 4.1m, Depth 2.1m
Gross ton: 16.0 ton
Capacity: Total 49 crews



実習船 はまかぜ [Training Ship "HAMAKAZE"]

係留場

Mooring

平成23年1月に完成した新艇庫は、国内でも珍しい海上型の建築物で、授業や部活動等で使用する救命艇やカッターなどを収容している。

The new boathouse, completed in January 2011, is an unusual building in Japan in that it is located in the sea. Lifeboats and cutters used both in classes and in club activities are stored there.

鉄骨造 Structure: Steel-frame
地上2階 Floors: 2
延べ床面積 718㎡ Total Floor: 718 sq. meters

- 主な施設・設備
カッター、舟艇、ヨット、救命艇、救命筏、ボートダビット、潮位・気象観測装置

Main facilities and equipment
Cutter, Vessel, Yacht, Lifeboat, Liferaft, Boat davit, Tidal level and meteorological observation device



艇庫 [Boathouse]

■主な設備

NC フライス盤, NC 放電加工機, NC ワイヤカット放電加工機, ボール盤, 形削り盤, 万能工作器, 旋盤, 木工旋盤, ラジアルボール盤, 溶接機, エアープラズマ切断機, 自動溶接器, メタルソー, 糸鋸盤, 精密卓上旋盤, フライス盤, ロボット (溶接), YAG レーザー切断・溶接兼用機, 冷凍・空調実験装置



実習風景 [Students in Training Workshop]

Main facilities

NC milling machine, NC electrical discharge machine, NC wire-cutting electrical discharge processor, Drilling machine, Shaper, Universal machine tool, Lathe, Wood-turning lathe, Radial drill machine, Welder, Air plasma cutting machine, Automatic welding machine, Metal slitting saw, Scroll saw, Precision bench lathe, Miller, Robot (welding), YAG laser cutting & welding combination machine and Freezing & air-conditioning test equipment



NC ワイヤカット放電加工機 (実習風景)
[NC Wirecutting Electrical Discharge Processor (Practice Scene)]

Audio & Visual Systems Facilities 視聴覚教育施設

本校の主要な視聴覚教育施設として、アセンブリホールがある。これらの教室には、カラー教材呈示装置, 高解像度テレビ, ビデオプロジェクター, BS チューナ, プレゼンテーションディスプレイパネル, 大型スクリーン等が設置され, 日常の授業に活用されている。

このほか, 図書館にはシアタールームがあり, 視聴覚資料を視聴することができる。

また, 各種教材作成用として, デジタルスキャンコンバータ, ビデオカメラ等を備えている。

Assembly Hall is our audio & visual education center and it has color material display equipment, high-resolution TV, video projector, BS tuner, presentation display panel, big screen, etc. These tools are used for everyday class activities.

In the library, there is a video section, and students can watch videos.

We also have a digital scanning converter and video cameras to make our own educational materials.



アセンブリホール [Assembly Hall]

福祉施設 Welfare Facilities

福利施設「白雲館」

Welfare Facilities "Hakuun Kan"

「白雲館」は、学生の憩いの場及び学生教職員相互のふれあいの場として親しまれ、学生食堂・売店・和室・多目的室等の施設があり、食堂の他に合宿・集会・会議等に利用している。

また、食堂にはテレビが設置されており、学生たちが食後のひとときをすごしている。



白雲館 [Hakuun Kan]



食堂 [Cafeteria]

"Hakuun Kan" is the place for students and teachers to have mutual communication, training camps, assemblies, meetings and so on. There are a dining room, a school store, Japanese rooms, a multipurpose room, etc.

Students spend the time after meals at the TV in the dining room.

史料館 College Museum of History

本校史料館は、本校ゆかりの資料の保存・展示を目的として、創基 100 周年記念の際、設置された。昭和 46 年 11 月に設置された記念館「善林堂」から引き継いだ資料を展示している。また、商船学科の前身である当時の航海学科、機関学科関連の資料に加え、昭和 60 年以後新設された商船学科、電子機械工学科（現：創造工学科）、情報工学科関連の資料を展示している。

The Historical Museum was established during the 100th-anniversary commemoration of the school with the purpose of preserving and exhibiting materials related to the school's history. It displays materials inherited from the commemorative hall "Zenrindo," which was established in November 1971. In addition to the materials related to the former Nautical Course and Marine Engineering Course, which were predecessors of the Maritime Technology Department, it also showcases materials related to The Department of Maritime Technology, The Department of Electronic Mechanical Engineering (currently: The Department of Creative Technology Engineering), and The Department of Computer Science and Engineering, which were established after 1985.



史料館入口 [Entrance to the College Museum of History]



館内 [Inside the Building]

本校における学寮は、許可入寮制であり、海事技術者及び工業技術者として必要な資質を身に付けさせることを目的とする教育施設である。

団体生活を通じて、友愛、協調と自主の精神を養い、責任と規律ある生活を体得させ、技術者としての適性を効果的に育成するものである。

Students are permitted to reside in the school dormitory and are expected to develop and acquire the skills, attitude, sense of responsibility necessary to be a maritime/industrial engineer through living together with other students.



学寮（白砂寮）[Dorm Shirasuna]



女子棟 [Women's Dormitory]

クラス別寮生数

Number of dormitory students classified into each class

(令和8年5月1日現在)

As of May 1, 2026

出身地別寮生数

Number of dormitory students from various prefectures and countries

学科／学年	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科		計
						1年	2年	
商船学科	44(6)	45(8)	36(9)	38(4)	21(5)			184(32)
創造工学科	38(3)							38(3)
電子機械工学科		31(1)	28(1)	28(2)	29(2)			116(6)
情報工学科	33(9)	18(7)	29(16)	17(5)	22(9)			119(46)
海上輸送システム工学専攻						0(0)	3(1)	3(1)
生産システム工学専攻						3(0)	4(0)	7(0)
計	115(18)	94(16)	93(26)	83(11)	72(16)	3(0)	7(1)	467(88)

()内は、内数で女子を示す。

出身地	計
茨城県	2
群馬県	1
埼玉県	5(1)
千葉県	1
東京都	9
神奈川県	7(3)
石川県	1
静岡県	1
岐阜県	2
愛知県	2(1)
三重県	2
滋賀県	5
京都府	5
大阪府	9(3)
兵庫県	13(3)
奈良県	5(1)
和歌山県	1
岡山県	24(3)
広島県	219(41)
山口県	3(1)
徳島県	5(1)
香川県	11(2)
愛媛県	114(26)
高知県	2
福岡県	3(1)
長崎県	1
熊本県	3
大分県	3
鹿児島県	1
沖縄県	1
インド	1
インドネシア	1
モンゴル	1
タイ	1
マレーシア	2(1)
計	467(88)



学寮地区全景 [Areal view of Dorm]

施設の概況 General Situation of Facilities

土地及び建物

Site and Building

(単位：㎡)

区 分	土 地	建 物 面 積		備 考
		建面積	延面積	
校 舎	74,192	11,024	19,730	
実習船係留場	0	654	738	海上構造物 1,152 浮き桟橋 (PCH600 ㎡)
寄 宿 舎	22,256	3,828	10,608	
高 専 宿 舎	12,412	662	2,844	鉄筋 52 戸
合 計	108,860	16,168	33,920	



校舎地区全景 [Areal View of the School]

建物等別内訳

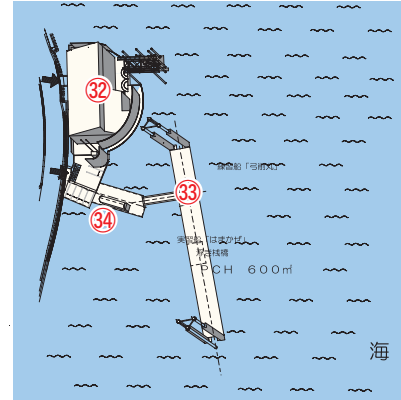
Items of Buildings

区 分	建 物 等 名 称	整備面積㎡	建設年度	区 分	建 物 等 名 称	整備面積㎡	建設年度
(1) 校舎地区	① 管理棟及び一般科目棟 Administration Office Building and General Education Building	3,919	44,45,54	(2) 実習船係留場地区	③② 艇 庫 Boathouse	718	平成 22
	② 商船学科棟 Maritime Technology Dept. Building	3,123	44		③③ 浮き桟橋 Floating pier	600	平成 27
	③ 第1体育館 1st Gymnasium	1,133	44		③④ 桟橋(固定式+可動橋) Pier	320	令和 5
	④ 第2体育館 2nd Gymnasium	879	56		計	1,638	
	⑤ 実習工場 Training shop	1,319	44	(3) 学寮地区	③⑤ 男子棟(B棟) Men's dormitory (B building)	2,280	45
	⑥ 燃料庫 Oil bunker	45	44		③⑥ 男子棟(A棟) Men's dormitory (A building)	2,300	47
	⑦ ポンプ室及び管橋作業場 Pump room and maintenance site	146	44,52		③⑦ (A・B棟) A building, B building	475	45
	⑧ 武道場 Martial Arts Hall	310	45		③⑧ 男子棟(C棟) Men's dormitory (C building)	2,373	45
	⑨ ガスタービン実験室 Gas-Turbine Engine Laboratory	100	49		③⑨ 女子棟(D棟) Women's dormitory (D building)	1,585	令和元
	⑩ 史料館 Record office	304	50		④⑩ 食堂棟 Restaurant building	883	45
	⑪ 体育器具庫 Store of Gymnastic Appliance	160	45		④⑪ ポンプ室 Pump room	10	46
	⑫ 危険薬品庫 Store of Chemicals	32	46		④⑫ 食品庫 Food storage	81	51
	⑬ 剣道場 Kendô Hall	298	47		④⑬ 福祉施設「青雲館」 Welfare Facilities "Seiun Kan"	594	56
	⑭ 屋外自家発電設備上屋 Outdoor in-house power generation shed	15	62		計	10,581	
	⑮ 内燃機関総合実験室 Experimental Rooms	140	55	(4) その他	④⑭ 高専宿舎	2,844	46,平成 8,13
	⑯ 体育器具庫 Store of Gymnastic Appliances	41	38		計	2,844	
	⑰ 学術支援センター「メディコ」 Academic support center "Medico"	1,765	48	合 計			34,341
	⑱ 福祉施設「白雲館」 Welfare Facilities "Hakuun Kan"	925	平成 12				
	⑲ 荒天航泊実験室 Experimental Water Tank with Wind Tunnel Laboratory	563	48				
	⑳ 事務・材料倉庫 Office supplies depot	142	47,48				
	㉑ 水泳プール付属建物 Swimming pool attached facilities	70	49				
	㉒ 屋外便所 Outdoor restroom	11	48				
	㉓ 技術支援センター事務室 Technical Support Center Office	53	50				
	㉔ 守衛室 Guardsmen's Post	18	52				
	㉕ 施設開放管理センター Opening facilities management center	112	54				
	㉖ ピンネス陳列場 Pinnacle showroom	79	55				
	㉗ 車 庫 Garage	75	44				
	㉘ 創造工学科棟 Creative Technology Engineering Dept. Building	1,762	61				
	㉙ 情報工学科棟 Computer Science and Engineering Dept. Building	969	平成 2				
	㉚ 弓道場 Japanese archery range	36	令和 4				
	㉛ ものづくり教育研究棟 Manufacturing Education Research Building	734	平成 19				
	計	19,278					

建物配置図

Arrangement Map of Buildings

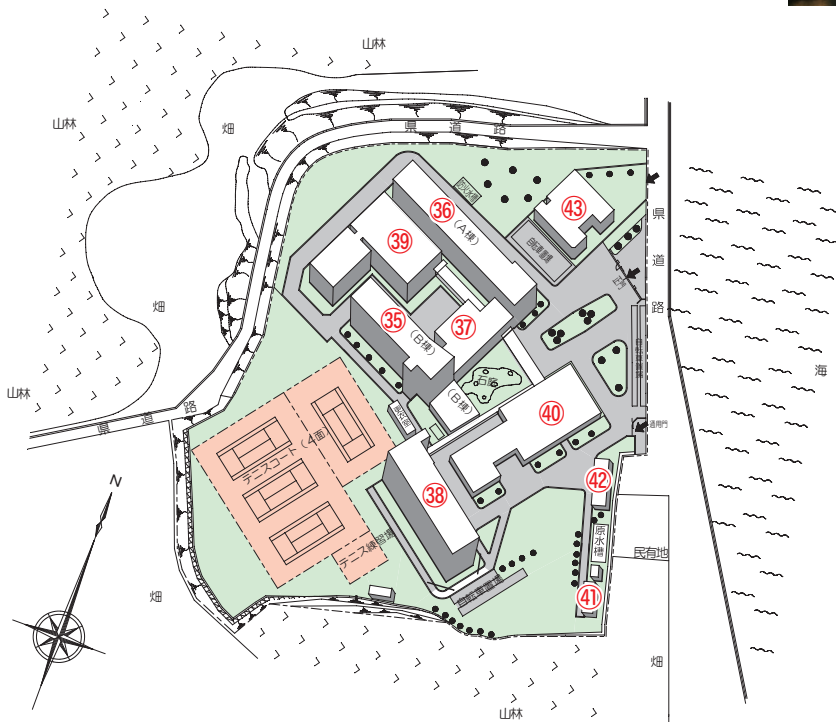
(1) 校舎地区 College buildings



(2) 実習船係留場地区 Moorings (for Training Ship)



(3) 学寮地区 Dormitories



財務状況

Finances

令和7年度 収入・支出(決算)

収入

区 分	金額 (千円)	割 合
運 営 費 交 付 金	65,170	18.6%
授 業 料 収 入	146,675	41.8%
入 学 料 収 入	11,506	3.3%
検 定 料 収 入	3,053	0.9%
そ の 他 収 入	8,229	2.3%
小 計	234,633	66.9%
産学連携等研究収入	3,254	0.9%
施 設 整 備 費	0	0.0%
そ の 他 補 助 金	112,817	32.2%
合 計	350,704	100.0%

支出

区 分	金額 (千円)	割 合
教 育 研 究 経 費	208,863	64.3%
一 般 管 理 費	29,009	8.9%
小 計	237,872	73.3%
産学連携等研究費	2,909	0.9%
施 設 整 備 費	0	0.0%
そ の 他 補 助 金	83,941	25.9%
合 計	324,722	100.0%

外部資金受け入れ状況

Grant Form Outside

令和8年度 科学研究費助成事業

Subsidies of Scientific Research

採択年度	研究種目	研究代表者	研 究 内 容	直接経費
R8	若手研究	情報工学科 本岡 孝拓	準傾理論を用いた三角圏同値の研究	¥800,000-
R7	研究活動スタート支援	商船学科 西田 充宏	量子カオスの指標を用いた船の転覆の方程式の新たな分類体系の研究	¥1,000,000-
R6	基盤研究 (C)	商船学科 村上 知弘	ガスクロミックゲル膜による水素ガス漏洩検知センサーの開発	¥400,000-
R6	基盤研究 (C)	商船学科 池田 真吾	外部刺激に対応して内部湿度を調整するフィルム材料の開発	¥400,000-
R6	基盤研究 (C)	創造工学科 伊藤 武志	国内外における竹炭プレパレートを利用した複合的生物・環境教育プログラムの構築	¥900,000-
R6	基盤研究 (C)	商船学科 雙知 延行	「かたち」に関する数学教材の開発	¥400,000-
R4	基盤研究 (C)	情報工学科 山本 健太	日本語学習者の音声習得を支援する大規模音声コーパスの構築	¥600,000-

令和7年度 研究助成金等

Research Aid

研 究 者	研 究 内 容	研究資金	相手方
商船学科 佐久間 一行	FT-IR を用いた液中プラズマによる水素同位体交換反応の検証	¥173,000-	核融合科学研究所
商船学科 佐久間 一行	大気圧プラズマによる焼却炉排気ガスの有資源化研究	¥9,600,000-	広島県
電子機械工学科 森 耕太郎	上島町における放置竹林を活用した竹炭生産の実証研究	¥755,000-	公益財団法人 日本離島センター
総合教育科 濱田 活仁	小中高等学校の外国語教科書におけるデジタル教材の拡張性に関する調査研究 ー学習者の適性に応じた主体的な活用に向けてー	¥500,000-	公益財団法人 教科書研究センター

令和7年度 共同研究費等

Joint Research with The Private Sector and Commissioned Research

区分	研 究 者	研 究 内 容	研究資金	相手方
共同研究	商船学科 佐久間 一行	大気圧プラズマによる焼却炉排気ガスの有資源化研究	¥434,545- ¥970,000-	株式会社山陽レック
共同研究	電子機械工学科 長井 弘志	ヒューマンインタフェースの研究とインタラクション教材の開発	¥30,000-	インタロペット株式会社
共同研究	電子機械工学科 長井 弘志	IT に不慣れな利用者を対象としたコンピュータ対戦型ボードゲーム支援システムの開発	¥20,000-	株式会社 STUDIO3

寄附金の推移

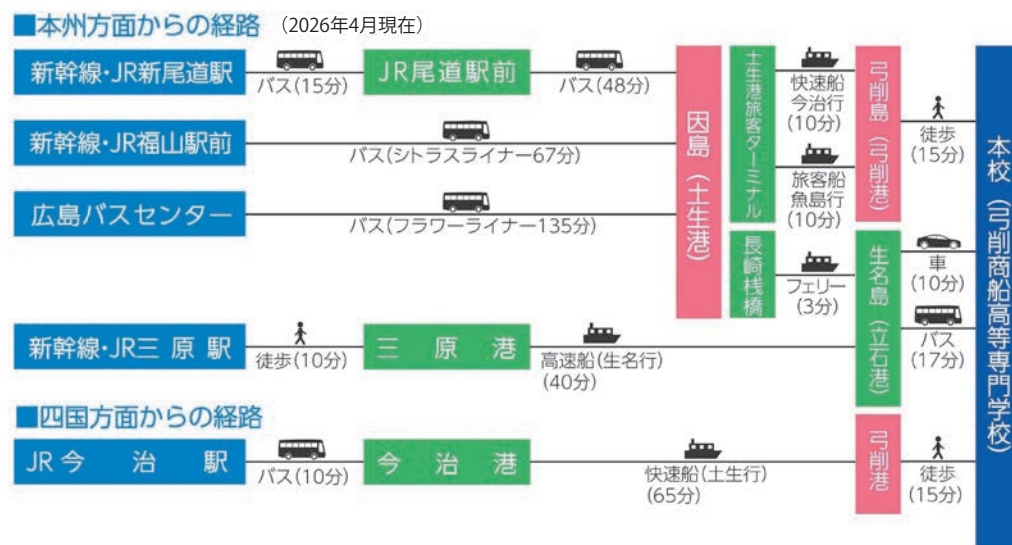
Donations

年 度	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
件 数	14	16	12	9	9
金 額 (千円)	8,451	109,875	208,355	13,462	8,358

※四捨五入 ※研究助成金を含む

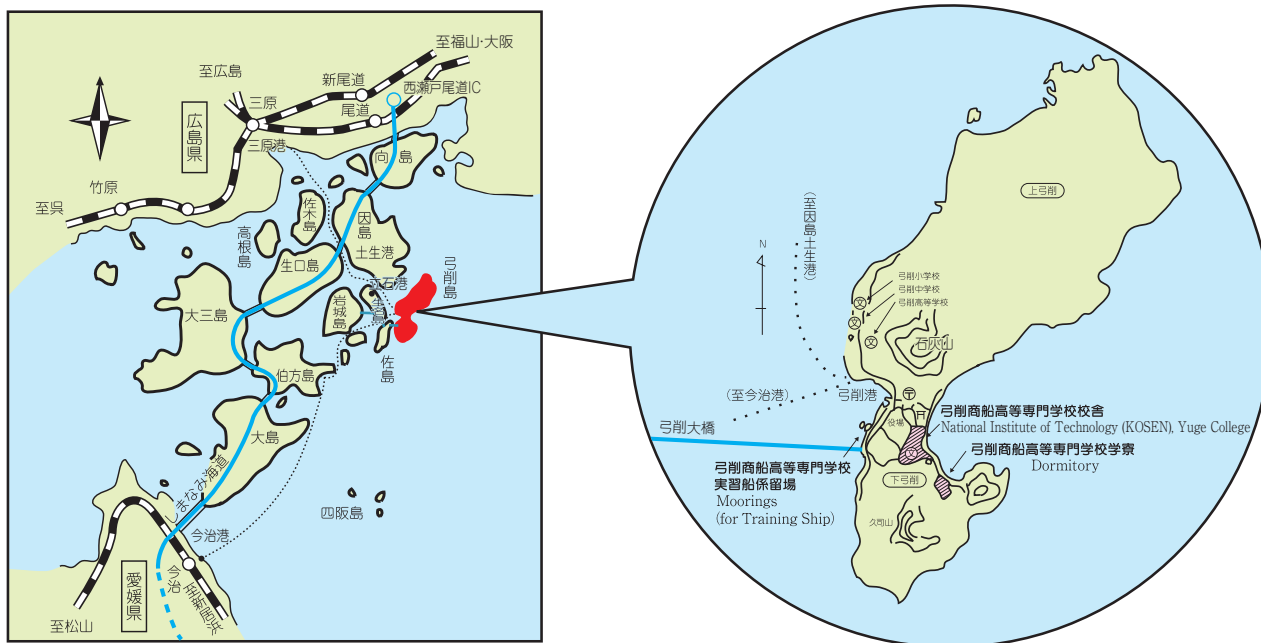
本校までの交通案内

To National Institute of Technology (KOSEN), Yuge College



本校の位置

Location of Our College



令和 8 年 7 月 発行

独立行政法人国立高等専門学校機構
弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地

ホームページ <https://www.yuge.ac.jp/>

■ 学校全般に関するお問い合わせ

総務課総務係

TEL 0897-77-4606

FAX 0897-77-4692

E-mail: soumu@yuge.ac.jp

■ 編集担当

企画広報室 情報・広報係

TEL 0897-77-4617

FAX 0897-77-4680

E-mail: joho@yuge.ac.jp



独立行政法人
国立高等専門学校機構
弓削商船高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN),
Yuge College

商船学科
The Department of Maritime Technology
創造工学科
The Department of Creative Technology Engineering
情報工学科
The Department of Computer Science and Engineering



ホームページ